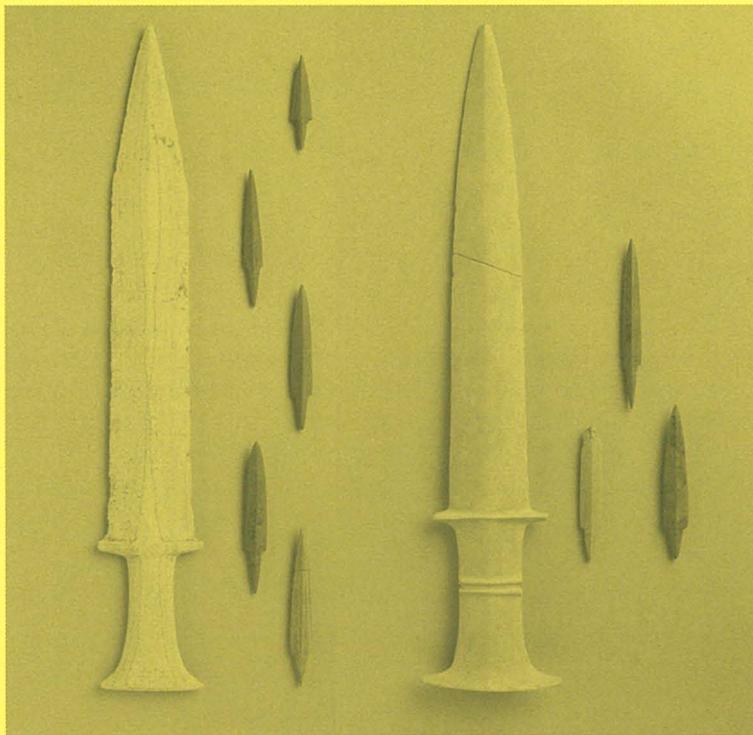


平成16(2004)年度

福岡市埋蔵文化財センター一年報

第24号



2005

福岡市教育委員会

序

アジアの玄関口である福岡市は、古来から対外交渉の門戸として栄えてきました。このことを物語るように、市内には数多くの遺跡が残されています。

これらの遺跡の中で、板付遺跡や元寇防塁・今宿古墳群をはじめとして一部の遺跡は、国の史跡として保存・整備を行い広く市民に公開しております。また、都市基盤整備や宅地造成などでやむを得ず消滅する遺跡については、事前に発掘調査を実施し、記録保存に努めております。

埋蔵文化財センターでは、これら発掘調査で出土した遺物や記録類を体系的に収蔵管理し、多くの市民に活用して頂くために、昭和57年2月に開館しました。以来二度にわたって増改築を行い、収蔵庫・展示室・研修室・保存処理室などの充実に努めてまいりました。又、第三展示室に速報コーナーを設置し、市民の方により早く正確な情報を提供しております。

今後とも、多くの市民が、当センターを利用されるようお願い申し上げますとともに、関係各位のなお一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年10月1日

福岡市教育委員会 教育長 植木 とみ子

目次

I 平成16(2004)年度の活動	1
1. 資料の収蔵・整理	1
2. 保存処理	5
3. 博多出土中世瓦の産地について(予察)	25
4. 教育普及活動	29
5. 入館者数	36
6. 平成16年度当初予算	36
II 埋蔵文化財センターの概要	37
1. 組織と職員	37
2. 施設	37
付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等	39
付2 平成16年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書一覧	裏表紙見返し

例言

1. 本書は平成16年度(2004年4月1日～2005年3月31日)の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。
2. 本書の作成は、二宮忠司、内田寿夫、瀧本正志、矢野昌治、片多雅樹、比佐陽一郎、柳田純孝、常松幹雄が担当した。

※表紙写真は雑餉隈遺跡15次調査出土磨製石剣と石鏃(弥生時代前期)

I 平成 16 (2004) 年度の活動

1. 資料の収蔵・整理

(1) 収蔵方針

昭和 44 (1969) 年、教育委員会に文化課が発足して以来、市内における緊急調査や史跡整理に伴う確認調査などで得られた出土品および写真・図面等の記録類は膨大な数量に及んでいる。これら考古資料の保存と活用をはかり、市民文化の向上に資するために、昭和 57 (1982) 年、福岡市埋蔵文化財センター（以下、センターと呼ぶ）が設立された。

現在、福岡市の文化財行政は教育委員会文化財部（組織はⅡ－1章参照）で行っている。センターは報告書が刊行された考古資料を発掘事業担当課から受入れて収蔵し、管理することを事業の柱の一つとしている。（発掘事業は行っていない）。

発掘調査で得られた考古資料は、速やかに一般公開され、広く市民や研究者に活用される事が望ましい。このため文化財部では発掘調査、整理、収蔵の一連の作業が統一性をもって円滑に遂行され、考古資料の多用で迅速な活用をはかるため、昭和 60 (1985) 年に「埋蔵文化財資料の収蔵整理要項」（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第 5 号 1985 所収）を策定した。この要項はその後実状にあわせ細部を改変したものの、策定後から要項に沿った発掘調査、整理作業が実施され、センターへの考古資料の収蔵も円滑なものとなっており、また収蔵された考古資料の活用も年々増加している（Ⅰ－4章参照）。

(2) 平成16年度の本収蔵

センターに本収蔵されている考古資料は、発掘事業担当課が報告書刊行後要項に沿った整理作業を行い搬入・収蔵したもの（埋文課と表記）と、要項策定以前に発掘調査が行われ仮収蔵されていた資料をセンターで要項に沿って整理したうゑ収蔵したもの（センターと表記）とに区

分される。

平成16年度の本収蔵は、埋文課から搬入・収蔵されたもの80遺跡、センターで収蔵したものの13遺跡のあわせて93遺跡（新規収蔵90遺跡、追加収蔵3遺跡）である。主な収蔵品は遺物がコンテナ3,275箱と甕棺51個（コンテナ換算する場合は甕棺1個を12箱とする）、写真類が22,504点、図面類が5,973点、写真カードが6,720枚である（表1）。

出土品のうち土器・石器は一般収蔵庫に、金属器・木製品・玉類は特別収蔵庫に収納する。また写真類は第一記録類収蔵庫、図面類は第二記録収蔵庫、写真カードは第一資料整理室へそれぞれ納めた。

平成16年度までにセンターに本収蔵されたのは1,145遺跡（追加収蔵まで含めた収蔵数は1,182件）で、その内訳は登録遺物711,344点、甕棺1,307個、コンテナ77,218箱、ネガフィルム281,760点、スライドフィルム336,002点、図面類123,143枚、写真カード152,063枚となっている（表2）。平成16年度までの市内での発掘調査は1,907件であり、そのうち1,145調査、全体の約60%が本収蔵され、検索が可能となった。

(3) ポジカラーフィルムのデジタル化

収蔵されているポジカラーフィルムには年月の推移とともに褪色、劣化が著しいものがある。

5年目となる16年度は、JPEGの可逆圧縮形式とTIFFの非圧縮形式でマスターデータはDVD、閲覧用データはCD-Rで保管し活用可能となった。1969年度から1995年度までの143調査について委託を行った。デジタル化にあたっては35mmを主な対象とし、報告書に用いられたカットとその他の必要なカットを遺跡調査番号ごとに選択した（表3）。

表1 平成16(2004)年度本収蔵一覧

収蔵番号	収蔵区分	調査番号	遺跡名	回数	報告書(集)	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード	調査担当者	
							壺棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物			
200401	埋文課	0212	東岡山古墳群E群	1	823	458		12	6	178	9	187		53	53	92	荒牧宏行		
200402	埋文課	0260	箱崎遺跡群	38	814	561		23	4	55		29	161	9	33	31	荒牧宏行		
200403	センター	7942	野多目遺跡	1	85	198		41	22	555	6			67	11	276	埋蔵文化財センター		
200404	埋文課	0138	羽根戸原C遺跡	5	817	457		33	3	49		54		19	30	26	蔵富士寛		
200405	埋文課	0259	飯倉B遺跡	2	785	172		5	3	56		54		19	6	32	蔵富士寛		
200406	埋文課	0320	七隈古墳群C2号墳		803		4	1	2	30		40		5	1	18	蔵富士寛		
200407	埋文課	9763	元岡遺物群	30	829	12,396		110	31	453		702	61	165	172	288	菅波正人		
200408	埋文課	9764	元岡桑原遺跡群	4	829	258		8	8	101		150	103	34	21	67	池崎譲二		
200409	埋文課	9829	元岡桑原遺跡群	8	829	52		4	4	79		74	43	9	9	44	松村道博		
200410	埋文課	9855	元岡区桑原遺跡群	11	829	91		9	2	72		34	18	5	13	40	松村道博		
200411	埋文課	0121	比恵遺跡	75	年報16				4			142		11		7	吉武学		
200412	埋文課	0150	三宅廃寺遺跡	2	826	772		89	8	214		270	42	71	122	122	吉武学		
200413	埋文課	0246	飯氏二塚古墳	2	780	38		4	7	60		7	60	199	59	34	吉武学		
200414	埋文課	0261	高畑遺跡	19	799	244		22	4	96		143	62	20	60	58	吉武学		
200415	埋文課	9910	福岡城跡	43	685-733-783	3,414		1,125	44	638		1,120	500	86	185	380	大庭康時		
200416	埋文課	0015	三苦遺跡群	5	773	5,853		183	44	137	4	894		339	211	143	本田浩二郎		
200417	埋文課	0149	博多遺跡群	136	765	170		14	4	2		92		9	11	9	本田浩二郎		
200418	埋文課	0213	有田遺跡群	203	784	125			4			76		6	5	7	本田浩二郎		
200419	埋文課	0220	博多遺跡群	138	806	1,465		222	5	10		219		30	68	12	本田浩二郎		
200420	埋文課	0235	比恵遺跡群	80	822	257		33	6	11		244		3	27	13	本田浩二郎		
200421	埋文課	8535	吉武遺跡群※	9	831	696		64		660				43	137	220	加藤良彦		
200422	埋文課	9744	羽根戸南古墳群	3	661	737	1	70	233	2,052	156	4,037		569	162	1,758	米倉秀紀		
200423	埋文課	803-931	有田遺跡群	194-195	784	182		7	7	78		86		13	11	53	米倉秀紀		
200424	埋文課	0027	井尻B遺跡	17	787	135		18	3	24	12	65	21	12	30	46	24	阿部泰之	
200425	埋文課	0119	三宅A遺跡	1	年報16	11		1	2	4		37	4	4	1	5		阿部泰之	
200426	埋文課	0157	梅林遺跡	7	790	33		2	5	39		70	21	15	5	23		阿部泰之	
200427	埋文課	0131	大橋E遺跡	8	791	16		2	2	14		26	10	15	2	11		阿部泰之	
200428	埋文課	0206	野芥遺跡群	11	804	640		16	6	44		130	26	50	13	30		阿部泰之	
200429	埋文課	0226	周船寺遺跡群	14	798	216		12	2	8		27		21	18	6		阿部泰之	
200430	埋文課	8335	吉武遺跡群※	4	831	94		27							7			阿部泰之	
200431	埋文課	8416	吉武遺跡群※	6	831	129		28							4			阿部泰之	
200432	埋文課	0027	井尻B遺跡	17	787	512	2	48	22	114		359	70	124	74	99		阿部泰之	
200433	埋文課	0308	比恵遺跡	82	832	482	1	61	26	50		600		61	103	118		岡三リビック	
200434	埋文課	0201	弥原遺跡	6	830	91	1	55	14	291		182	188	51	33	149		長家伸	
200435	埋文課	0221	博多遺跡群	139	807	2,214		201	9	144		123	123	61	178	178		長家伸	
200436	センター	7305	免遺跡群	1	37	345		6	40	39	140	333		48	13	94		埋蔵文化財センター	
200437	センター	7943	下和白塚原古墳群	1	55	102		8	8	171				24	21	90		埋蔵文化財センター	
200438	埋文課	9128	井相田D遺跡	1	701	55		2	5	78		120	102	25	1	47		佐藤一郎	
200439	埋文課	0101	比恵遺跡群	74	820	285		95	4	24		48	23	14	8	19		佐藤一郎	
200440	埋文課	0022	箱崎遺跡群	22	811	2,593		122	25	365		191	58	24	86	156	179		榎本義嗣
200441	センター	7012	和白遺跡群	1	18	40		5	19			140		21	1	33		埋蔵文化財センター	
200442	センター	7013	飛山古墳群	1	18	32		1	8	8		126		9	3	18		埋蔵文化財センター	
200443	センター	7014	上和白遺跡群	1	18	79		16	17	15		65		34	8	40		埋蔵文化財センター	
200444	センター	7015	宮の前古墳群	1	18	109		5	7	6		92		17	4	15		埋蔵文化財センター	
200445	センター	7016	高見古墳群	1	18	181		12	201			201		50	10	25		埋蔵文化財センター	
200446	センター	7017	高見窯址	1	18	1		1	2			32		4	0	3		埋蔵文化財センター	
200447	センター	7018	猿の塚古墳	1	18	145		1	1	12		87		14	6	9		埋蔵文化財センター	
200448	埋文課	0105	樋井川B遺跡	1	819	1,105		99	27	376		665	233	2	91	137		常松幹雄	
200449	埋文課	9905	那珂遺跡群	69	800	713	2	35	18	392		302	325	80	61	171		長家伸	
200450	埋文課	0233	比恵遺跡群	79	821	379		29	15	341		226	346	6	53	68	189		長家伸
200451	埋文課	0248	那珂遺跡群	86	802	457		14	9	159		160	175	4	35	32	85		長家伸
200452	センター	7710	有田遺跡群	4	470	172		12				336							埋蔵文化財センター
200453	センター	7917	有田遺跡群	22	58	12		1	5			50		18	2	8			埋蔵文化財センター
200454	埋文課	0134	橋本一丁田	4	816	1,028		69	21	228			67	120	95	142			池田祐司・阿部泰之
200455	埋文課	0205	原遺跡群	22	818	210		7	5	31			20	26	15	25			池田祐司
200456	埋文課	0211	椎原A遺跡群	2	794	696		15	8	300		301	12	45	100	105			池田祐司
200457	埋文課	0143	椎原A遺跡群	1	794	17		1	4	4					1	10			池田祐司
200458	埋文課	0056	椎原B遺跡群	1	794	16		1	4			69			1	7			池田祐司
200459	埋文課	0237	藤崎遺跡群	32	824	1,096	30	94	40	522		1,306	214	119	140	358			池田祐司
200460	センター	7504	有田遺跡群	3	155	652	14	69	91	1,577	208	1,321	11	133	104	640			埋蔵文化財センター
200461	埋文課	9818	那珂遺跡群	66	841	50		5	2	24		39	18	6	6	35			瀧本正志
			93	小計		43,743		51	3,275	1,132	10,990	535	16,483	3,117	247	3,148	2,825	6,720	
								3,887			N7/冊計	12,657		P7/冊計	9,847	図面計	5,973		

註) 数の単位は遺物壺棺(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ、4×5は枚)、図面・写真カード(枚) ※は追加分

表2 本収蔵数一覧(1986~2004年度)

年度	収蔵区分	新規遺跡数	追加遺跡数	登録遺物点数	遺物		ネガフィルム			ポジフィルム			図面		写真カード
					壺棺数	コンテナ数	35mm(本)	6×7(コマ)	4×5(枚)	35mm(コマ)	6×7(コマ)	4×5(枚)	遺構	遺物	
1986	埋文課	4	0	3,639	0	749	57	1,397	7	1,358	163	0	352	239	781
	センター	14	0	4,475	0	309	343	1,844	169	3,736	386	96	617	512	1,564
	年度合計	18	0	8,114	0	1,058	400	3,241	176	5,094	549	96	969	751	2,345
1987	埋文課	12	0	8,860	3	779	284	4,051	8	2,931	373	0	994	1,223	2,744
	センター	9	0	2,631	1	217	229	2,327	80	3,121	254	2	427	290	1,630
	年度合計	21	0	11,491	4	996	513	6,378	88	6,052	627	2	1,421	1,513	4,374
1988	埋文課	38	1	15,193	61	1,152	560	8,566	10	6,694	647	0	1,784	1,789	5,074
	センター	5	0	11,301	72	740	331	4,342	137	4,848	13	0	888	1,141	2,994
	年度合計	43	1	26,494	133	1,892	891	12,908	147	11,542	660	0	2,672	2,930	8,068
1989	埋文課	11	0	16,380	6	1,121	231	7,507	99	4,634	966	63	1,612	1,619	2,343
	センター	3	0	6,701	0	868	155	3,559	92	2,906	0	0	105	418	2,090
	年度合計	14	0	23,081	6	1,989	386	11,066	191	7,540	966	63	1,717	2,037	4,433
1990	埋文課	60	0	43,807	29	2,214	1,460	17,561	712	19,235	2,405	76	3,173	3,277	9,563
	センター	30	0	11,096	3	766	311	3,073	0	4,714	496	8	723	955	1,924
	年度合計	90	0	54,903	32	2,980	1,771	20,634	712	23,949	2,901	84	3,896	4,232	11,487
1991	埋文課	57	0	32,480	32	3,028	599	10,974	45	9,051	1,095	67	2,435	2,552	6,075
	センター	6	0	4,586	65	724	395	3,303	86	3,541	811	45	666	865	1,856
	年度合計	63	0	37,066	97	3,752	994	14,277	131	12,592	1,906	112	3,101	3,417	7,931
1992	埋文課	74	4	33,934	78	3,449	760	12,820	12	12,490	1,618	25	3,505	3,092	6,972
	センター	13	2	8,046	30	1,287	284	3,006	19	3,141	176	8	558	985	1,950
	年度合計	87	6	41,980	108	4,736	1,044	15,826	31	15,631	1,794	33	4,063	4,077	8,922
1993	埋文課	52	0	28,850	26	4,355	711	21,093	38	12,410	2,949	17	2,858	2,811	11,587
	センター	6	0	6,034	7	1,118	237	22	463	2,123	0	26	308	156	654
	年度合計	58	0	34,884	33	5,473	948	21,115	501	14,533	2,949	43	3,166	2,967	12,241
1994	埋文課	40	1	17,817	118	1,570	472	8,556	0	7,680	1,751	4	1,936	2,068	4,797
	センター	9	0	7,285	3	984	151	1,026	125	2,619	68	11	560	427	985
	年度合計	49	1	25,102	121	2,554	623	9,582	125	10,299	1,819	15	2,496	2,495	5,782
1995	埋文課	57	1	40,565	37	4,229	675	12,851	257	10,564	3,035	238	2,519	3,354	7,581
	センター	13	0	5,854	9	1,128	182	2,973	6	3,099	270	0	448	450	1,526
	年度合計	70	1	46,419	46	5,357	857	15,824	263	13,663	3,305	238	2,967	3,804	9,107
1996	埋文課	66	0	32,101	148	3,454	764	12,136	0	14,364	4,429	10	3,239	3,256	7,629
	センター	12	0	5,015	82	565	245	2,529	618	3,331	284	0	520	1,035	1,725
	年度合計	78	0	37,116	230	4,019	1,009	14,665	618	17,695	4,713	10	3,759	4,291	9,354
1997	埋文課	84	1	58,346	56	7,942	1,063	18,594	23	17,119	7,240	44	4,424	3,848	10,889
	センター	8	0	5,088	0	740	134	2,293	355	2,217	391	0	291	616	1,112
	年度合計	92	1	63,434	56	8,682	1,197	20,887	378	19,336	7,631	44	4,715	4,464	12,001
1999	埋文課	109	2	54,107	79	5,509	1,193	18,783	1,008	22,461	7,209	84	5,207	4,779	11,675
	センター	3	0	1,279	1	366	44	704	0	991	82	0	87	88	455
	年度合計	112	2	55,386	80	5,875	1,237	19,487	1,008	23,452	7,291	84	5,294	4,867	12,130
2000	埋文課	75	5	47,069	71	5,798	1,361	20,717	75	26,016	8,431	84	6,069	5,896	12,968
	センター	11	0	3,851	0	535	51	419	69	790	157	0	897	299	337
	年度合計	86	5	50,920	71	6,333	1,412	21,136	144	26,806	8,588	84	6,966	6,195	13,305
2001	埋文課	44	1	30,512	34	4,785	669	8,157	121	10,229	3,011	7	2,263	2,930	5,061
	センター	9	8	6,502	9	841	356	3,277	65	4,281	11	0	1,065	1,039	2,192
	年度合計	53	9	37,014	43	5,626	1,025	11,434	186	14,510	3,022	7	3,328	3,969	7,253
2002	埋文課	50	6	47,781	112	5,229	689	10,503	0	13,496	4,956	13	2,356	3,195	6,274
	センター	10	0	2,595	2	268	130	489	215	2,107	0	0	203	261	690
	年度合計	60	6	50,376	114	5,497	819	10,992	215	15,603	4,956	13	2,559	3,456	6,964
2003	埋文課	82	3	61,651	66	7,356	755	15,498	665	14,786	6,002	483	3,644	4,436	8,124
	センター	8	0	2,170	16	163	96	2,598	0	1,980	52	0	247	289	1,522
	年度合計	90	3	63,821	82	7,519	851	18,096	665	16,766	6,054	483	3,891	4,725	9,646
2004	埋文課	48	2	41,675	37	2,702	711	8,607	181	13,700	3,106	247	2,709	2,642	5,469
	センター	13	0	2,068	14	178	420	2,383	354	2,733	11	0	439	183	1,251
	総計	61	2	43,743	51	2,880	1,131	10,990	535	16,433	3,117	247	3,149	2,825	6,720
計	埋文課	963	27	614,767	993	65,421	13,014	218,371	3,261	219,218	59,386	1,462	51,079	53,006	125,606
	センター	182	10	96,577	314	11,797	4,094	40,167	2,853	52,278	3,462	196	9,049	10,009	26,457
	総計	1,145	37	711,344	1,307	77,218	17,108	258,538	6,114	271,496	62,848	1,658	60,128	63,015	152,063

註) 1998年度はセンターの増築・改造のため本収蔵は行われなかった。
 数の単位は遺物壺棺(個)、コンテナ(箱)、ネガフィルム35mm(本)、その他の写真(コマ、4×5は枚)、図面・写真カード(枚)

表3 フォトCD製作遺跡一覧

調査番号	遺跡名	回数	報告書	カット数	DVD	CD-R	調査番号	遺跡名	回数	報告書	カット数	DVD	CD-R
0037	井相田D遺跡群	3	701	10	1		9042	博多遺跡群	68	287	76	2	
6905	笹栗遺跡	1	1010	28			9043	比恵遺跡群	34	289	6		
7012	下和白遺跡群	1	18	24			9048	四箇古川遺跡群	1a	422	4		
7013	飛山古墳群	1	18	27			9051	板付遺跡	61	410	14		
7014	上和白遺跡群	1	18	11			9054	堅粕遺跡群	4	274	19		
7015	宮の前古墳群	1	18	27			9055	博多遺跡群	69	288	13		
7016	高見古墳群	1	18	50			9056	野方久保遺跡	3	300	16		
7017	高見窯址	1	18	12			9057	浦江B遺跡	1	422	5		
7018	猿の塚古墳群	1	18	27			9060	山ノ鼻2号墳	1	353	20		
7101	下山門遺跡	1	23	36			9061	比恵遺跡群	35	289	20		
7107	多々良込田遺跡	1	20	34	9062	博多遺跡群	70	370	73				
7108	井尻A遺跡	1	32	59	9063	飯倉C遺跡群	2	387	139				
7206	宝満尾遺跡	1	26	68	9064	比恵遺跡群	36	289	24				
7209	弥永遺跡群	1	32	71	9070	四箇古川遺跡群	1	310	13				
7210	名子条里遺跡	1	32	28	9071	四箇船石遺跡群	2	310	18				
7211	津屋条里遺跡	1	32	32	9072	清末遺跡群	2	310	69				
7212	箱崎条里遺跡	1	32	2	9073	岩本遺跡	2	343	71				
7305	免遺跡群	1	37	38	9074	入部遺跡群	1	577・613	81				
7315	多々良遺跡	1	32	32	9103	原遺跡	16	337	17				
7406	京の隈古墳経塚	1	1025	34	9104	比恵遺跡群	37	325	21				
7605	福岡城跡	2	101	32	9107	駄ヶ原古墳	1	335	31				
7615	四箇遺跡	6	172	28	9110	飯倉C遺跡群	3	336	9				
7704	神松寺遺跡	1	45	49	9111	博多遺跡群	71	450	94				
7710	有田遺跡群	4	470	78	9112	南八幡遺跡群	4	277	5				
7713	板付遺跡	20	539	15	9113	博多遺跡群	72	371	9				
7715	板付遺跡	22	49・539	9	9115	那珂遺跡群	32	365	35				
7727	四箇遺跡群	11	482	25	9116	麦野A遺跡群	3	275	35				
7803	那珂深ヲサ遺跡	1	72	58	9117	有田遺跡群	167	434	9				
7833	博多遺跡群	1b	156・193	82	9118	卯内尺古墳	1	690	25				
7839	板付遺跡	27	49・716	12	9119	飯倉G遺跡群	3	334	17				
7901	多々良込田遺跡	3	53	44	9121	野多目C遺跡群	4	333	15				
7912	次郎丸高石遺跡	1	69	25	9122	那珂遺跡群	33	364	18				
7930	博多遺跡群	4	86・543	140	9123	大原D遺跡群	1	481	30				
8017	原遺跡群	4	64	13	9124	吉塚本田遺跡群	2	320	18				
8020	那珂深ヲサ遺跡	2	82	58	9125	箱崎遺跡群	5	273	23				
8047	那珂君休遺跡	1	82	10	9126	博多遺跡群	74	395	31				
8134	福岡城跡	5	101	9	9127	熊本遺跡群	1	341	9				
8149	博多遺跡群	1h	193	3	9128	井相田D遺跡群	1	701	27				
8150	博多遺跡群	1i	193	78	9131	雀居遺跡群	2	322	87				
8331	博多遺跡群	1k	184	100	9132	有田遺跡群	168	684	24				
8339	五十川遺跡群	2	111	30	9133	四箇船石遺跡群	4	422	20				
8342	箱崎遺跡群	1	193	50	9134	比恵遺跡	39	325	46				
8345	柏原L遺跡	10	157・190	9	9135	香椎A遺跡群	2	317	17				
8346	柏原M遺跡	11	190・191	34	9136	博多遺跡群	75	331	4				
8347	柏原N遺跡	12	190	2	9144	那珂遺跡群	34	365	25				
8408	田村遺跡群	5	192・200	84	9145	那珂遺跡群	35	365	5				
8413	南八幡遺跡群	2	128	54	9147	有田遺跡	169	339	23				
8535	飯盛遺跡群	9	143・437・650	211	9160	脇山A遺跡群	6	344	45				
8658	老司古墳	4	5・209	143	9162	大門遺跡	1	344	10				
8950	福岡城遺跡	14	294	72	9163	清末遺跡群	3	424	52				
8965	有田遺跡群	155	266	5	9164	安通遺跡群	1	343	33				
8966	有田遺跡群	15	266	5	9165	東入部遺跡群	2	613・652・685	44				
9001	周船寺遺跡群	6	429	58	9201	井尻B遺跡群	3	411	33				
9004	比恵遺跡群	29	289	9	9202	鋤崎遺跡	1	388	15				
9006	入部遺跡	4	310	23	9204	野多目B遺跡群	1	413	19				
9010	堅粕遺跡	3	274	55	9205	博多遺跡群	77	394	48				
9011	拾六町平田遺跡	2	349	35	9206	席田青木遺跡群	1	356	391				
9012	比恵遺跡群	30	289	40	9208	東入部遺跡群	4	381	69				
9015	脇山A遺跡群	5	312	54	9210	席田大谷遺跡群	4	357	35				
9016	比恵遺跡群	31	289	14	9211	比恵遺跡群	41	401	46				
9017	博多遺跡群	65	329	100	9212	長尾遺跡群	1	417	30				
9022	博多遺跡群	66	330	69	9213	クエゾノ遺跡	1	420	154				
9023	名島城跡	1	318	20	9214	大原D遺跡群	2	481	31				
9025	警弥郷B遺跡群	2	278	18	9216	東入部遺跡群	3	485	79				
9026	那珂遺跡群	29	361	12	9265	大原D遺跡群	3	481	58				
9029	有田遺跡群	160	339	21	9311	都地遺跡群	5	434	18				
9030	吉塚本町遺跡群	1	319	31	9318	比恵遺跡群	49	401	16				
9032	大塚E遺跡群	3	279	13	9350	四箇船石遺跡群	6	422	12				
9035	立花寺遺跡群	2	321	16	9427	東入部遺跡群	10	485	75				
9037	比恵遺跡群	32	289	8	9434	大原E遺跡群	1	481	11				
9038	カルメル修道院内遺跡	3	299	23	9527	有田遺跡群	180	684	27				
9040	岩本遺跡	3	342	23	合計	143	143	5,553	6	3			

※ 143調査 5,553コマを製作。

2. 保存処理

(1) はじめに

当センターでは昭和58年の開館以来、市内出土埋蔵文化財のうち腐蝕や劣化により資料としての取り扱いや、通常の保管が困難なもの（主に対象となるのは木製品と金属製品）について、保存のための科学的処置を講じている。当初は直接的な処置のための限られた機器で作業を行ってきたが、平成11年度の増築により事前調査機器や大型の処理装置などが導入され、幅広い資料に対応が可能となっている。増築前後の施設の内容については、年報の第15号（増築前）、18号（増築後）をそれぞれ参照されたい。

(2) 出土木製品（有機物）

1) 処理の概要

今年度処理を行ったのは31遺跡441点で、詳細は一覧表の通りである(表4)。この内、雀居遺跡2・3・4・6・7次出土の117点は国庫補助事業によるものである。処理法は資料の形態、材質、劣化度を考慮し、PEG含浸法を中心に主に3つの処理法を用いている。PEG含浸法は一般的な小型、中型の木製品、糖アルコール含浸法は、PEG含浸法では処理が困難な漆器や墨書の施された木簡類、或いは展示など活用のスケジュールに合わせて短期間で処理が必要な資料、真空凍結乾燥法はPEGを100%含浸すると、重くて取り扱いが困難な大型材や変形を期す恐れのある広葉樹芯持ち材というように、資料の種類に応じて使い分けをしている。

なお本年度の真空凍結乾燥法はPEG予備含浸(6m槽)までにとどまり、真空凍結乾燥処理は次年度持ち越しのため点数に計上していない。

2) 処理工程

各処理法による作業は、資料の洗浄、処理前の写真撮影、処理カードの作成といった共通作業以降、次のような工程で行った。

なお処理後の資料は温湿度管理された特別収

蔵庫において保管している。

◆PEG含浸法

- ①資料の梱包…不織布で梱包し、メッシュのコンテナなどに納める。
- ②PEG含浸…専用の含浸装置に梱包した資料を入れ、注水、加熱(60℃)。温度が安定したら初期濃度20%より置換開始。PEGは処理槽の容量から算出した計画表に基づき、日々適量を投入し(写真W-1)、同時に水分蒸発により濃度上昇を図った。濃度は一週間に一度溶液を採取し、溶液の重量と水分蒸発後の重量比較により算出。工程1(3m槽:224点)は5月末に置換を開始し、約8ヶ月後の2月初めに100%に至り、その後更に数週間含浸。工程2(2m槽:180点)は2月に置換を開始し、約10ヶ月後の翌年度11月に100%に至る予定である。
- ③取り上げ…溶液から資料を取り出した後、温水で表面を洗浄し、自然乾燥(PEGの固化)。
- ④処理後観察…変形、破損の有無を点検し、処理前と比較した上で処理カードに記入。
- ⑤脱色及び表面処理…湯煎したアルコールによる表面洗浄。
- ⑥修復(破損資料のみ)…エポシキ系接着剤による折損部の接合、エポシキ系接着剤にマイクロバルーンを混入した材料による、欠損の復元。



写真W-1 PEG投入作業

◆糖アルコール(ラクチトール)含浸法

- ①溶液の準備…資料の高さに対して3倍以上の

深さを持つ容器に、初期濃度約30%のラクチオール水溶液を作製。恒温乾燥機を80℃に設定し、加熱。容器には寸法・形状の多様さからポリプロピレン製のタッパーを使用し、付属の蓋（ポリエチレン製）は80℃の熱に耐えられないことから、蓋にはアルミホイルを使用した。

②ラクチオール含浸…資料を溶液に浸し、資料が溶液の底に沈むことでその濃度が含浸されたと判断する。蓋をはずして水分蒸発により溶液濃度の上昇を図り、資料が浮いてきたら再度蓋を閉める。80℃での限界濃度(約80%)まで含浸させる。期間は小型資料で5日～2週間。

③結晶化…資料を溶液から取り出し、表面を温湯で洗浄後、余分な水分をきれいに拭き取る。表面にラクチオールの粉末をまぶし、ラクチオール結晶を核として結晶化を資料内部まで進め固化させる。資料は50℃に設定した恒温乾燥機に入れるが、この際、温風が資料に直接あたらないように注意する(過乾燥の防止)。結晶化の時間は他施設での実績や経験的なもので判断している(小型資料で1週間～10日)。

④洗浄…表面に固着しているラクチオールの結晶を筆や竹串で軽く除去した後、水で洗浄。

⑤乾燥…再び50℃の乾燥機で乾燥させる。

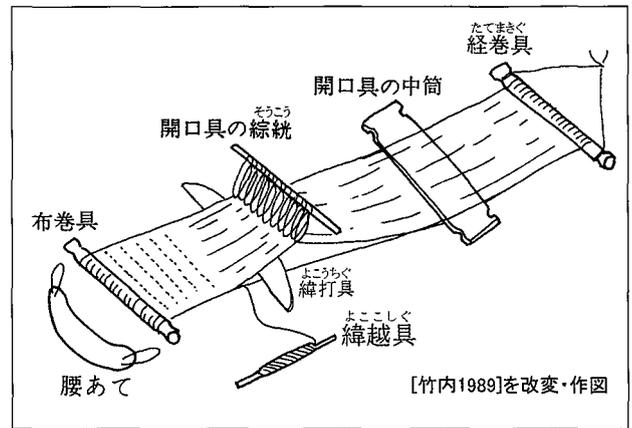
◆その他の処理法

形を維持したまま乾燥して出土した木質に対して、アクリル樹脂(パラロイドB-72/5～10%アセトン溶液)を塗布、強化した。また、木質が完全に腐朽し塗膜のみ残存した状態で土ごと取り上げてきた漆器に対して、水溶性の樹脂(バインダー17)を塗布、含浸することにより土壌ごと強化を行った。

3) 処理木製品紹介

本年度処理を行った雀居遺跡2・7次調査(各市報322・635集)出土の木製品は、写真のみの掲載にとどまり図化されておらず、報文中にも詳細な記載がなされていない。それらの資料のうち、気になった4点について図を掲載(図W-4)すると共に若干の説明を加え紹介する。

◇緯越具か [雀居2次-9131-60168(調査番号-遺物番号:以下同)]…機織具の部材は、多くはないが全国から出土しており、図W-1はそれらの出土品を元に「これなら布を織ることができる」という最低限の部材からなる原始機の推定復元図である。市内からも腰当て、布(経)巻き具、そして雀居遺跡5次調査では日本最古といわれる縄文時代晩期の緯打具が出土している(布目1995)。しかし、これらの部材がセットで出土した例はなく、また緯越具と確定された資料は全国的にもほとんど報告されていない。

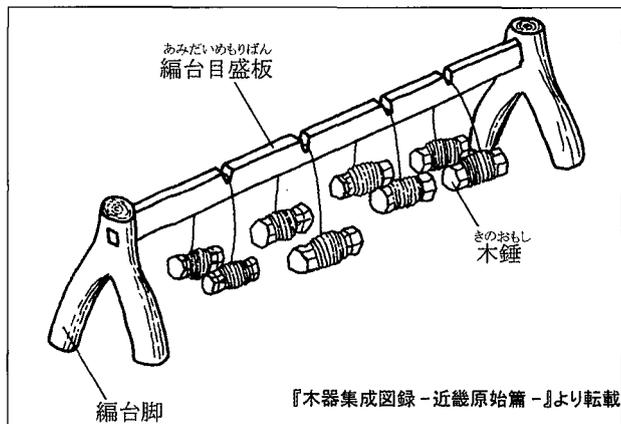


図W-1 原始機の推定復元図

図W-4-1は雀居遺跡2次調査で10C後半代の溝状遺構より出土し緯越具として収蔵された。欠損により全貌は不明だが、先端は鋭く器体は滑らかな曲線を呈し、全ての稜線は面取りされ、繊細な加工が施されている。縦に線対称な復元が考えられ、中央には緯糸を巻き・保持するための溝や穿孔などの加工が施されていたと考えられる。図W-4-補図は比恵遺跡30次調査の弥生中期末に位置づけられる井戸より出土し、不明木製品として収蔵された資料で(過年度処理済み)、報告書では糸を巻き取り保持する?の部材の可能性を指摘しているが(菅波1992)、両端を流線型に加工していることや中央にえぐりを施していることなどから、緯越具の可能性も考えられる。いずれも確定はできないが、出土例がほとんど無い中、緯越具の可能性がある希少資料といえる。

◇編台目盛板(雀居2次-9131-60171)…編台は目盛板と脚から成り、目盛板に緯糸(藁や

鞆^{あし}など)をのせ、両端を木錘^{きのおもし}に巻き付けた^{なていと}経糸で交互に振りながら緯糸を編んでいく道具である(図W-2)。緯糸の材質や経糸の間隔から、編

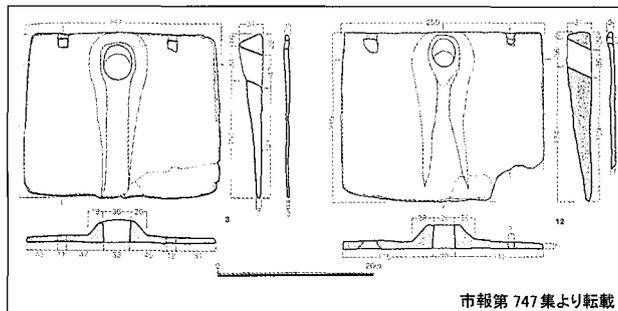


図W-2 編台使用復元図

布や俵、フゴ、ムシロ、^{すだれ}簾のようなものを作っていたと考えられる。図W-4-2は前出した雀居遺跡2次調査の緯越具と同じ遺構より出土したことから、機織具の緯打具として収蔵されていた。しかし、保存処理前の観察の結果、間隔は不規則(1.5~6.3cm)だが一辺にのみ刻み目が施してあり、両端をホゾではまる構造に加工してあることから、編台目盛板と判明した。木錘は市内各地から多数出土しているが、編台の出土例は少なく、時代は異なるが高畑遺跡4・12次調査出土品に次いで3例目となる(久保1988、山口1989)。高畑遺跡12次調査からは編台目盛板と木錘が同じ遺構より出土しており、編台と木錘がひとつの道具として構成されていたことを物語っている。現代の民具にも編台(コモダケ)は残っており、永きにわたって活躍しているようである。本資料の刻み目は不規則だが、幾つかの刻みを利用して数種類の製品を作っていたと考えられ、目盛板の長さから簾など大型品ではなく、俵やフゴを作っていたと思われる。

◇直柄横鋏(雀居7次-9435-30004)…図W-4-3は古墳時代の井戸より出土した。柄穴に柄が挿さった状態で5cmほど残る。横長な長方形を呈し刃先に向かって僅かに幅が狭まる。同じく雀居遺跡の12次調査から出土した2点の横鋏(図W-3)と類似するが、本例は隆起部が広く、

また、柄穴の両側に施された穿孔は、前述の類例2点がほぼ正方形なのに対し、横長な楕円で中央が若干狭まるアレー状を呈する。泥除け装着用と思われるが、顕著な紐擦れの痕跡は見られない。

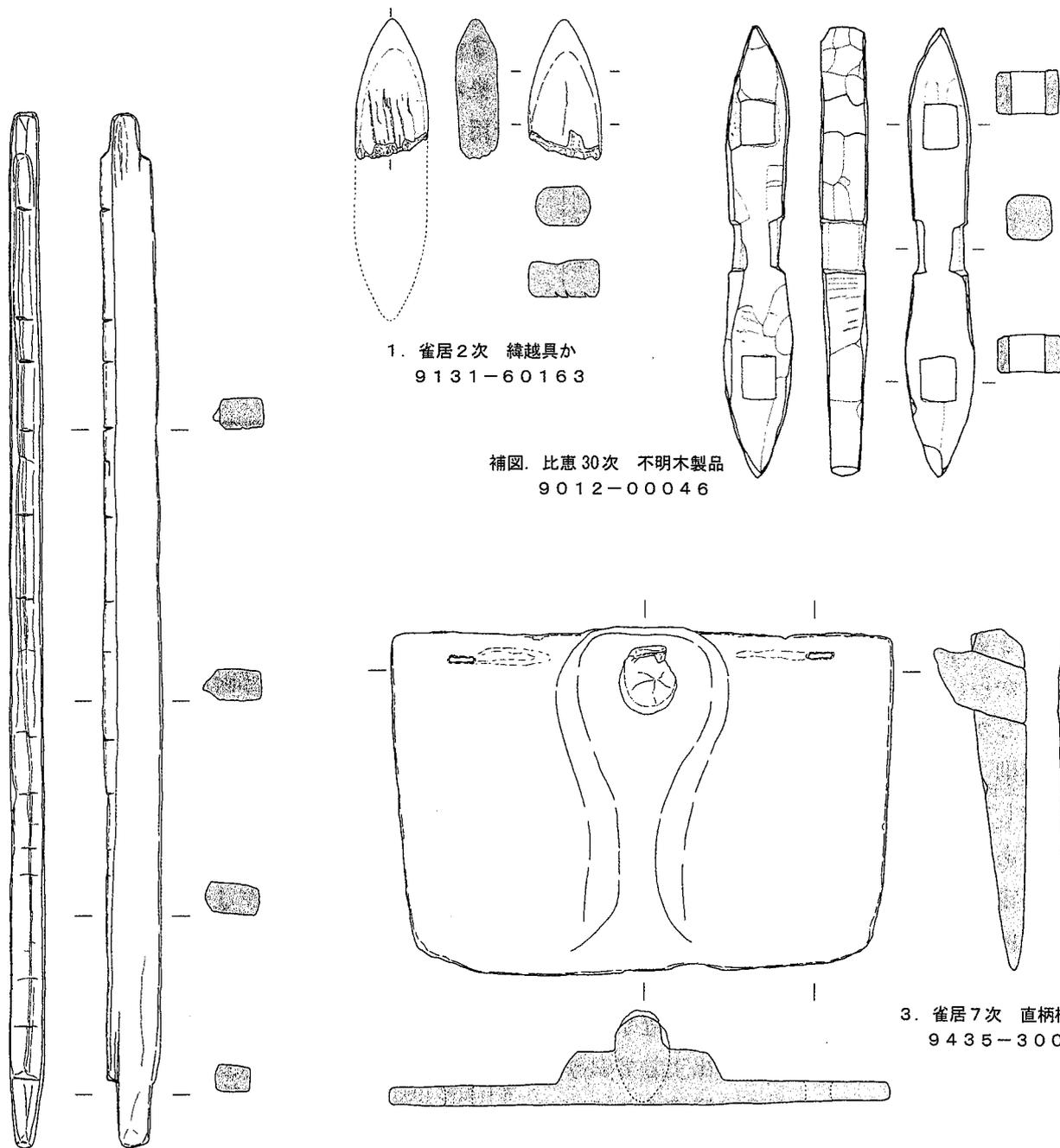


図W-3 雀居遺跡12次調査出土横鋏の実測図

◇鋤の柄(雀居7次-9435-30006)…図W-4-4は前出の横鋏とは別の古墳時代の井戸より出土した。身は欠いているが把手状に加工しているため、鋤の柄の上端部と考えられる。半月状に透かしを彫る。握り部断面は正円に近い楕円を呈するのに対し、Y部断面は長方形を呈し柄部付近を幅広に造る。強度と機能性を兼ね備えたデザインであり、丁寧な加工が施されている(片多)。

[参考文献]

- 下村智(編)1993『雀居遺跡1-第1次調査の報告-』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第322集
福岡市教育委員会
- 竹内晶子1989『弥生の布を織る-機織りの考古学-』
UP考古学選書9
東京大学出版会
- 布目順郎1995『雀居遺跡出土の縄文晩期織具』「雀居遺跡3」
福岡市埋蔵文化財調査報告書第407集
福岡市教育委員会
- 菅波正人他(編)1992『比恵遺跡群(11)』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第289集
福岡市教育委員会
- 奈良国立文化財研究所編1993『木器集成図録-近畿原始編-』
奈良国立文化財研究所史料第36冊 明新印刷
- 久保寿一郎1988『編み具の研究-福岡県における考古・民具資料を中心として-』『九州考古学』九州考古学第62号
九州考古学会
- 山口譲治(編)1989『板付周辺遺跡調査報告書(15)』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第210集
福岡市教育委員会
- 松村道博(編)2000『雀居遺跡5』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第635集
福岡市教育委員会
- 力武卓治(編)2003『雀居8』
福岡市埋蔵文化財調査報告書第747集
福岡市教育委員会



1. 雀居2次 織越具か
9131-60163

補図. 比恵30次 不明木製品
9012-00046

3. 雀居7次 直柄横鉞
9435-30004

2. 雀居2次 編台目盛板
9131-60171

4. 雀居4次 鋤の柄
9435-30007

10cm

図 W-4 雀居遺跡2・7次調査出土木製品実測図(1/4)

表4 平成16(2004)年度保存処理木製品一覽

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
松原1次(調査番号:8442 未報告)								
20439	市		建築材(扉材か)	木	古墳中～後期			PEG
20440	市		建築材(扉材か)	木	古墳中～後期			PEG
拾六町平田2次(調査番号:9011 市報349集)								
20441	市	2077	板材	木	弥生前期	-	-	PEG
20442	市	30026	柱材	木	弥生前期	-	-	PEG
那珂32次(調査番号:9115 市報365集)								
20250	市	1001	容器	木	弥生	20-62	-	PEG
雀居2次(調査番号:9131 市報322集)								
20122	補	60166	櫛	木	古代	-	50-166	PEG
20123	補	60167	有孔木製品	木	古代	-	50-167	PEG
20124	補	60168	機織具(緯越具[よここしぐ])か	木	古代末(10C後半代)	(本誌掲載)	50-168	PEG
20125	補	60169	曲物底板	木	古代	-	50-169	PEG
20126	補	60170	曲物底板	木	古代	-	50-170	PEG
20127	補	60171	編台目盛板	木	古代末(10C後半代)	(本誌掲載)	50-171	PEG
20128	補	60172	曲物底板	木	古代末(10C後半代)	-	50-172	PEG
20129	補	60173	曲物底板	木	古代	-	50-173	PEG
20130	補	60174	曲物底板	木	古代	-	50-174	PEG
20131	補	60175	曲物底板	木	古代	-	50-175	PEG
20132	補	60176	曲物底板	木	古代	-	50-176	PEG
20133	補	60177	曲物底板	木	古代	-	50-177	PEG
那珂34次(調査番号:9144 市報365集)								
20251	市	1001	容器	木	弥生	56-99	-	PEG
雀居3次(調査番号:9230 市報565集)								
20134	補	30001	蓋	木	古代	26-14	-	PEG
20135	補	30002	加工木材	木	古代	26-15	-	PEG
20136	補	30003	木鏝	木	古代	26-13	-	PEG
20137	補	30004	櫛	木	古代	26-12	-	PEG
20138	補	30005	下駄	木	古代	-	-	PEG
20139~20141	補	30006~30008	曲物側板	木	古代	-	-	PEG
雀居4次(調査番号:9241 市報748集)								
20142	補	60019	諸手鋸末製品	木	弥生後期後半	154-215	48-1540(市報406集)	PEG
20143	補	60021	停泥	木	弥生前期	127-196	48-1542(市報406集)	PEG
20144	補	60036	鼠返し	木	弥生後期後半	79-142	-	PEG
20145	補	60039	組合式案の脚	木	弥生後期後半	72-108	-	PEG
20146	補	60040	又鋸片	木	弥生後期後半	35-52	-	PEG
20147	補	60045	鋸の楔	木	弥生後期後半	77-130	-	PEG
20148	補	60048	槽	木	弥生後期後半	59-89	-	PEG
20149	補	60049	杓子型木製品か	木	弥生後期後半	58-86	-	PEG
20150	補	60053	椀	木	弥生後期後半	53-78	-	PEG
20151	補	60058	椀	木	弥生後期後半	53-77	-	PEG
20152	補	60059	加工板材	木	弥生後期後半	78-140	-	PEG
20153	補	60060	板材	木	弥生後期後半	76-128	-	PEG
20154	補	60061	杓文字	木	弥生後期後半	58-87	-	PEG
20155	補	60072	板材	木	弥生後期後半	27-39	-	PEG
20156	補	60073	板材	木	弥生	-	-	PEG
20157	補	60075	加工材	木	弥生	-	-	PEG
20158	補	60082	杓文字	木	弥生前期	90-156	-	PEG
20159	補	60097	丹塗盤	木	弥生後期後半	52-76	-	PEG
20160	補	60102	割材他	木	弥生後期後半	12-16	-	PEG
20161	補	60104	剣状木製品	木	弥生後期後半	66-96	-	PEG
20162	補	60109	加工材	木	弥生	-	-	PEG
20163	補	60116	板材	木	弥生	-	-	PEG
20164	補	60119	加工材	木	弥生前期	87-149	-	PEG
20165	補	60122	建築材	木	弥生前期	89-151	-	PEG
20166	補	60124	砧(きぬた)	木	弥生後期	87-148	-	PEG
20167	補	60127	加工材	木	弥生後期後半	76-121	-	PEG
20168	補	60130	角材	木	弥生後期後半	76-120	-	PEG
20169	補	60137	板材	木	弥生	-	-	PEG
20170	補	60143	又鋸	木	弥生後期後半	13-20	-	PEG
20171	補	60163	杓文字	木	弥生	-	-	PEG
20172	補	60164	又鋸	木	弥生前期～後期	92-160	-	PEG
20173	補	60175	板材	木	弥生前期	151-213	-	PEG
20174	補	60187	案(脚造付)	木	弥生	-	-	PEG
20175	補	60209	諸手鋸末成品	木	弥生後期後半	13-24	-	PEG
20176	補	60220	鋤	木	弥生前期～後期	96-162	-	PEG
20177	補	60222	擡状木製品	木	弥生前期～後期	98-165	-	PEG
20178	補	60225	柄	木	弥生前期～後期	103-167	-	PEG
20179	補	60228	柱	木	弥生後期後半	78-139	-	PEG
20180	補	60237	又鋸	木	弥生後期後半	36-55	-	PEG
20181	補	60246	えぶり	木	弥生後期後半	39-59	-	PEG
20182	補	60247	二又鋸	木	弥生	-	-	PEG
20183	補	60256	又鋸	木	弥生後期後半	36-57	-	PEG
20184	補	60269	杓子	木	弥生後期後半	58-88	-	PEG
20185	補	60273	鋸	木	弥生後期後半	36-53	-	PEG
20186	補	60274	加工材	木	弥生	-	-	PEG
20187	補	60278	槽	木	弥生後期後半	68-98	-	PEG
20188	補	60282	板の一部	木	弥生	-	-	PEG
20189	補	60310	把手付槽	木	弥生前期	148-210	-	PEG
20190	補	60311	加工材	木	弥生	-	-	PEG
20191	補	60324	掘棒か馬鋸の刃か?	木	弥生後期後半	66-95	-	PEG
20192	補	60330	加工材(柱の一部か?)	木	弥生前期中葉～後半	158-220	-	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
20193	補	60334	尖頭状加工板材	木	弥生	-	-	PEG
20194	補	60337	板材一括	木	弥生	-	-	PEG
20195	補	60338	横槌	木	弥生前期中葉～後半	109-177	-	PEG
20196	補	60341	鉢	木	弥生前期～後期	103-168	-	PEG
20197	補	60345	端部加工棒材	木	弥生前期中葉～後半	119-192	-	PEG
20198	補	60346	容器の一部	木	弥生	-	-	PEG
20199	補	60347	加工板材	木	弥生前期中葉～後半	117-186	-	PEG
20200	補	60349	又鋏頭部	木	弥生前期中葉～後半	104-170	-	PEG
20201	補	60354	板材(案の部材か?)	木	弥生後期後半	12-17	-	PEG
20202	補	60355	槌子(つちのこ)	木	弥生後期後半	5-4	-	PEG
20203	補	60370	板材	木	弥生	-	-	PEG
20204	補	60375	板材	木	弥生前期中葉～後半	117-187	-	PEG
20205	補	60389	諸手鋏未成品	木	弥生前期中葉～後半	156-217, 218	-	PEG
20206	補	60390	板材	木	弥生前期中葉～後半	164-226	-	PEG
20207	補	60399	板材	木	弥生	-	-	PEG
20208	補	60401	丸把手端部?	木	弥生前期中葉～後半	162-225	-	PEG
20209	補	60406	板材	木	弥生	-	-	PEG
20210	補	60407	尖頭状木器	木	弥生後期後半	6-8	-	PEG
20211	補	60409	有孔板状木製品	木	弥生前期中葉～後半	117-184	-	PEG
20212	補	60412	木製紡錘車	木	弥生後期後半	77-138	-	PEG
20213	補	60414	又鋏	木	弥生後期後半	5-1	-	PEG
20214	補	60416	鋏	木	弥生後期後半	5-2	-	PEG
20215	補	60417	加工木製品	木	弥生	-	-	PEG
20216	補	60418	槌子(つちのこ)	木	縄文晩期終末～古墳前期初頭	7-9	-	PEG
20217	補	60655	堅杵	木	弥生前期中葉～後半	108-173, 175	-	PEG
20218	補	60680	木鋏	木	弥生前期	151-211	-	PEG
20219	補	60688	棒材	木	弥生	-	-	PEG
20220	補	60689	へら状未製品	木	弥生	-	-	PEG
20221	補	60690	くさび?	木	弥生	-	-	PEG
20222	補	60691	くさび?	木	弥生	-	-	PEG
20223	補	60692	くさび?	木	弥生	-	-	PEG
那珂41次(調査番号: 9264 市報399集)								
20252	市	135	把手付容器	木	弥生後期	39-61	-	PEG
雀居6次(調査番号: 9319 市報565集)								
20224	補	30001	砧か	木	古代	-	-	PEG
20225	補	30002	下駄(未製品?)	木	古代	-	-	PEG
20226~20228	補	30003~30005	曲物底板	木	古代	-	-	PEG
20229	補	30006	板材	木	古代	-	-	PEG
比恵51次(調査番号: 9334 市報452集)								
20253	市	20002	椀	木	弥生後期	29	-	PEG
雀居7次(調査番号: 9435 市報635集)								
20230	補	30001	柄?	木	古墳	27-99	66-3	PEG
20231	補	30002	二又鋏	木	古墳	21-17	66-1	PEG
20232	補	30003	鋏	木	古墳	27-98	66-2	PEG
20233	補	30004	直柄横鋏	木	古墳	(本誌掲載)	66-4	PEG
20234	補	30005	杭	木	古墳	-	-	PEG
20235	補	30006	鋤の柄	木	古墳	(本誌掲載)	66-5	PEG
20236	補	30007	ヒョウタン	植物遺体	古墳	-	-	PEG
20237	補	30008	鋏の刃部	木	古墳	-	-	PEG
20238	補	30009	木鋏	木	古墳	-	-	PEG
雀居8次(調査番号: 9453 市報565集)								
20239	市	30001	蓋	木	古代	43-19	-	PEG
雀居9次(調査番号: 9506 市報635集)								
20240	市	30001	杭	木	古墳	-	66-6	PEG
20241	市	30002	底板	木	古墳	-	-	PEG
20242~20245	市	30003~30006	柱	木	古墳	-	-	PEG
20246	市	30007	ヒョウタン	植物遺体	古墳	-	-	PEG
20247	市	30008	槽(破片)	木	古墳	-	-	PEG
20248	市	30009	杭の先端部	木	古墳	-	-	PEG
20249	市	30010	削り屑	木	古墳	-	-	PEG
立花寺B2次(調査番号: 9511 市報523集)								
20443~20446	市	90026~90029	井戸柱材	木	中世	-	-	PEG
20447~20449	市	90030~90032	井戸杵(柱材)	木	中世	-	-	PEG
那珂君休7次(調査番号: 9612 市報587集)								
20450~20452	市	40070・72・75	杭	木	弥生終末～古墳初頭	-	-	PEG
香椎B2次(調査番号: 9623 市報621集)								
20254	市	30072	折敷底板	木	中世	128	177	PEG
20255	市	30073	折敷	木	中世	128	177	PEG
20256	市	30074	柄の一部	木	中世	130	178	PEG
20257	市	30075	斎串	木	中世	131	180	PEG
20258	市	30076	木槌	木	中世	130	178	PEG
20259	市	30077	紡錘車	木	中世	124	176	PEG
20260	市	30078	下駄	木	中世	126	179	PEG
20261	市	30079	打痕を有する板	木	中世	131	180	PEG
20262	市	30080	傘の轆轤?	木	中世	130	176	PEG
20263	市	30081	加工部材	木	中世	130	-	PEG
20264	市	30082	小刀模造品	木	中世	131	180	PEG
20265	市	30083	下駄	木	中世	122	174	PEG
20266	市	30084	編錘	木	中世	-	-	PEG
20267	市	30085	下駄	木	中世	133	174	PEG
20268	市	30088	桜皮	木	中世	-	-	PEG
20269	市	30089	曲物底板	木	中世	127	177	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
20270	市	30092	加工部材	木	中世	-	178	PEG
20271	市	30093	加工部材	木	中世	128	177	PEG
20272	市	30141	折敷	木	中世	128	177	PEG
20418	市	30161	木簡	木・墨書	中世	151	173	糖アルコール
20419	市	30170	木簡	木・墨書	中世	151	173	糖アルコール
20273・20274	市	30209・30210	木片	木	中世	-	-	PEG
20403	市	30211	漆器	漆・土	中世(11C後半)	-	-	バインダー17
20420・20421	市	30212・30213	漆器	木・漆	中世(11C後半)	-	-	糖アルコール
井相田D2次(調査番号:9637 市報610集)								
20453~20455	市	20001~20003	杭	木	弥生	-	-	PEG
20456	市	20004	板材	木	弥生	-	-	PEG
20457	市	21002	杭	木	弥生	35-41	90-41	PEG
20458	市	21003	板材	木	弥生	35-43	-	PEG
20459	市	21004	板材	木	弥生	35-42	-	PEG
20460	市	21101	鋤	木	弥生後期	36-44	89-44	PEG
20461	市	21102	鋤の柄	木	弥生後期	38-49	89-49	PEG
20462	市	21103	建築材	木	弥生後期	37-47	-	PEG
20463	市	21104	鋤	木	弥生後期	36-45	89-45	PEG
20464	市	21105	石斧の柄	木	弥生後期	38-48	-	PEG
20465	市	21106	魚形?(頭部)	木	弥生後期	38-50	89-50	PEG
20466	市	21107	杭	木	弥生後期	41-64	-	PEG
20467	市	21108	杭	木	弥生後期	41-69	-	PEG
20468	市	21109	杭	木	弥生後期	39-53	90-53	PEG
20469	市	21110	杭	木	弥生後期	40-58	-	PEG
20470	市	21111	杭	木	弥生後期	39-55	-	PEG
20471	市	21112	杭	木	弥生後期	41-67	-	PEG
20472・20473	市	21113・21114	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20474	市	21116	板材	木	弥生後期	37-46	-	PEG
20475	市	21118	建築材	木	弥生後期	-	-	PEG
20476	市	21119	杭	木	弥生後期	41-65	-	PEG
20477	市	21120	杭	木	弥生後期	40-61	90-60	PEG
20478	市	21121	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20479	市	21125	杭	木	弥生後期	41-66	-	PEG
20480	市	21127	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20481	市	21130	建築材	木	弥生後期	42-78	-	PEG
20482	市	21131	杭	木	弥生後期	41-68	-	PEG
20483	市	21134	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20484	市	21135	建築材	木	弥生後期	42-77	-	PEG
20485	市	21136	杭	木	弥生後期	39-56	90-56	PEG
20486~20489	市	21139~21142	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20490	市	21143	杭	木	弥生後期	41-71	-	PEG
20491	市	21144	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20492	市	21145	農具片か	木	弥生後期	41-74	-	PEG
20493	市	21146	矢板片か	木	弥生後期	41-75	-	PEG
20494	市	21147	杭	木	弥生後期	39-57	-	PEG
20495	市	21148	板材	木	弥生後期	41-73	-	PEG
20496・20497	市	21149・21150	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20498	市	21151	杭	木	弥生後期	41-70	-	PEG
20499	市	21152	杭	木	弥生後期	42-76	90-76	PEG
20500	市	21153	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20501	市	21201	杭	木	弥生後期	42-79	-	PEG
20502	市	21301	杭	木	弥生後期	-	-	PEG
20503	市	21302	杭	木	弥生後期	43-84	-	PEG
20504	市	21303	杭	木	弥生後期	43-85	-	PEG
20505	市	21304	杭	木	弥生後期	43-83	-	PEG
20506	市	21305	杭	木	弥生後期	43-82	-	PEG
20507	市	21307	平鍬	木	弥生後期	43-80	89-80	PEG
博多102次(調査番号:9752 市報706集)								
19597	市	3024	鞘	木	中世	71-312	-	糖アルコール
19598	市	3025	鞘	木	中世	71-311	-	糖アルコール
香椎B6次(調査番号:9806 市報621集)								
20275	市	30094	柄	木	中世	245	189	PEG
20276	市	30095	加工部材	木	中世	-	189	PEG
20277	市	30096	櫛	木	中世	245	189	PEG
20278	市	30097	下駄	木	中世	244	188	PEG
20279	市	30098	下駄	木	中世	244	188	PEG
20280	市	30099	加工部材	木	中世	245	189	PEG
20281	市	30100	下駄	木	中世	244	188	PEG
20282	市	30101	加工部材	木	中世	245	189	PEG
20283	市	30102	加工部材	木	中世	245	189	PEG
20284	市	30103	加工部材	木	中世	245	189	PEG
20285	市	30142	加工部材	木	中世	245	189	PEG
20286	市	30211	木片	木	中世	-	-	PEG
高畑17次(調査番号:9833 市報676集)								
20287	市	2001	鏝(こて)	木	古代(8~10C)	22-98	-	PEG
20288	市	2004	曲物側板	木	古代(8~9C)	21-91	-	PEG
20289	市	2008	曲物底板	木	古代(8~9C)	21-95	-	PEG
20290	市	2011	部材	木	古代(8~9C)	22-99	-	PEG
20291	市	2012	曲げ物底板(転用組)	木	古代(8~9C)	21-94	18-94	PEG
20292	市	2013	曲物側板	木	古代(9C)	21-92	-	PEG
20293	市	2014	曲物底板	木	古代(8C)	21-93	18-93	PEG
20294	市	2015	曲物底板	木	古代(8C)	21-96	-	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
20295	市	2016	曲物側板	木	古代(8C)	21-90	-	PEG
20296	市	2024	鍬先	木	古代~中世	31-51	-	PEG
20297	市	2025	柄?	木	古代~中世	-	-	PEG
20298	市	2026	浮子	木	古代~中世	31-50	-	PEG
20299	市	2027	陰卵下駄の歯	木	中世(11~14C)	39-7	-	PEG
20300	市	2028	陰卵下駄	木	中世(11~14C)	39-6	-	PEG
20301	市	2029	板草履	木	中世(11~14C)	39-5(右)	43-5(右)	PEG
20302	市	2030	板草履	木	中世(11~14C)	39-5(左)	43-5(左)	PEG
20303	市	2037	曲物底板	木	古代(9~10C)	-	-	PEG
20304	市	2038	鎌の柄	木	古代(9~10C)	-	-	PEG
20305	市	2039	曲物底板	木	古代(9~10C)	-	-	PEG
20306	市	2040	折敷底板	木	古代(9~10C)	-	-	PEG
20307	市	2043	ヒョウタン	植物遺体	古代(9C)	-	-	PEG
20308~20314	市	2044~2061	板材(7点)	木	古代(9C)	-	-	PEG
比恵68次(調査番号:9912 市報793集)								
20315	市	2001	板材(折敷底板)	木	近世	7-30	-	PEG
20316	市	2002	竪櫛	木	近世	7-32	3-32	PEG
20317	市	2003	荷札	木	近世	7-31	3-31	PEG
立花寺B6次(調査番号:9915 市報702集)								
20508	市	40001	うちわ状	木	中世	-	-	PEG
20509	市	40002	板材	木	中世	-	-	PEG
20510	市	40003	有効建築材	木	中世	-	-	PEG
20511	市	40004	板材	木	中世	-	-	PEG
20512	市	40005	有効板材	木	中世	-	-	PEG
20513	市	40006	板材	木	中世	-	-	PEG
20514	市	40007	板材(井戸枠)	木	中世	-	-	PEG
20515	市	40012	板材	木	古墳後期	-	-	PEG
20516	市	40013	礎盤?	木	古墳後期	-	-	PEG
20517	市	40014	ナスビ型	木	古墳後期	-	-	PEG
20518	市	40015	把手付容器	木	古墳後期	-	-	PEG
20519	市	40016	有孔板材	木	古墳後期	-	-	PEG
20520	市	40017	有効建築材	木	古墳後期	-	-	PEG
20521	市	40018	把手付容器	木	古墳後期	-	-	PEG
20522	市	40020	有孔板状木製品	木	古墳後期	-	-	PEG
20523	市	40021	棒材	木	古墳後期	-	-	PEG
20524	市	40022	曲げ物側板片	木	古墳後期	-	-	PEG
20525	市	40023	杭	木	古墳後期	-	-	PEG
20526~20528	市	40026~40028	板材	木	中世	-	-	PEG
20529	市	40029	曲げ物底板	木	中世	-	-	PEG
20530~20537	市	40030~40037	板材	木	中世	-	-	PEG
20538~20540	市	40038~40040	杭	木	中世	-	-	PEG
20541・20542	市	40044・40045	曲げ物	木	中世	-	-	PEG
20543	市	40046	板材	木	中世	-	-	PEG
20544	市	40047	杭	木	中世	-	-	PEG
20545・20546	市	40048・40049	箸	木	中世	-	-	PEG
20547~20549	市	40050~40052	板材	木	中世	-	-	PEG
20550	市	40053	杭	木	中世	-	-	PEG
20551	市	40054	有効板材	木	中世	-	-	PEG
20552	市	40055	板草履片	木	中世	-	-	PEG
20553	市	40056	くさび	木	中世	-	-	PEG
20554	市	40057	板草履片	木	中世	-	-	PEG
20555	市	40058	箸	木	中世	-	-	PEG
20556	市	40059	加工材(糸巻き?)	木	中世	-	-	PEG
20557~20567	市	40060~40070	箸	木	中世	-	-	PEG
20568	市	40071	小型角材(容器の底?)	木	中世	-	-	PEG
20569・20570	市	40072・40073	板草履片	木	中世	-	-	PEG
20571・20572	市	40074・40076	板材	木	中世	-	-	PEG
20573	市	40077	馬具?	木	中世	-	-	PEG
20574	市	40078	鍬の柄	木	中世	-	-	PEG
20575	市	40079	鍬の刃	木	中世	-	-	PEG
20576	市	40080	板材	木	中世	-	-	PEG
20577	市	40081	火鑢白(破片)	木	中世	-	-	PEG
20578	市	40082	球状	木	中世	-	-	PEG
20579	市	40083	有孔木製品	木	中世	-	-	PEG
20580	市	40084	棒材	木	中世	-	-	PEG
20581・20582	市	40085・400896	板材	木	中世	-	-	PEG
20583	市	40090	柱	木	中世	-	-	PEG
井尻B14次(調査番号:9958 市報736集)								
20318	市	11	取っ手	木	古墳初頭	7-011	4-011	PEG
20319	市	70005	杭先	木	不明	-	-	PEG
那珂74次(調査番号:9961 市報673集)								
20320	市	30002	木片	木	古代(8C後半)	-	-	PEG
元岡20次(調査番号:200001 市報743集)								
19592	市	20009	木簡「山口郷」	木・墨書	古代	9-9	22-9	糖アルコール
19593	市	20010	木簡「口建マ根足」	木・墨書	古代	9-10	22-10	糖アルコール
19594	市	20011	木簡「口壬…」	木・墨書	古代	9-11	-	糖アルコール
19595	市	20012	木簡「<南無千手陀羅尼…」	木・墨書	古代	9-12	22-12	糖アルコール
19596	市	20013	木簡「×道塞」	木・墨書	古代	9-13	22-13	糖アルコール
20422	市	20014	木簡「…伎俗…」	木・墨書	古代	9-14	-	糖アルコール
20404	市	20015	木簡「…難波…」	木・墨書	古代	9-15	-	糖アルコール
20405	市	20016	木簡「久米ア大伴ア□」	木・墨書	古代	9-16	-	糖アルコール
20406	市	20017	木簡「□□」	木・墨書	古代	10-17	-	糖アルコール

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

処理番号	区分	遺物番号	資料名	材質	時代	報告書Fig	報告書PL	処理方法
20407	市	20018	木簡(墨痕のみ)	木・墨書	古代	10-18	-	糖アルコール
20423	市	20019	木簡「…二〇〇…」	木・墨書	古代	10-19	-	糖アルコール
20408	市	20020	木簡「×〇〇〇粗官」	木・墨書	古代	10-20	22-20	糖アルコール
20409	市	20021	木簡「〇〇〇〇〇」	木・墨書	古代	10-21	-	糖アルコール
20410	市	20022	木簡「〇百十五文 己酉7田麻呂西…」	木・墨書	古代	10-22	22-22	糖アルコール
20411	市	20023	木簡「〇三月六日…」	木・墨書	古代	10-23	-	糖アルコール
20412	市	20024	木簡「多加」	木・墨書	古代	10-24	-	糖アルコール
20413	市	20025	木簡「〇〇〇〇」	木・墨書	古代	10-25	-	糖アルコール
20414	市	20026	木簡「献上…延暦四年十月十四日真成」	木・墨書	古代	10-26	22-26	糖アルコール
20415	市	20027	木簡「〇〇〇」	木・墨書	古代	10-27	-	糖アルコール
20416	市	20028	木簡「四」	木・墨書	古代	10-28	-	糖アルコール
20417	市	20029	木簡「『志』中臣マ刀良…」	木・墨書	古代	10-29	22-29	糖アルコール
20424	市	20030	木簡「葛野ア…」	木・墨書	古代	10-30	-	糖アルコール
20425	市	20031	木簡「〇例可充従人志麻」	木・墨書	古代	10-31	22-31	糖アルコール
20426	市	20032	木簡「登志郷」	木・墨書	古代	10-32	22-32	糖アルコール
20427	市	20033	木簡「郷明」	木・墨書	古代	10-33	22-33	糖アルコール
20428	市	20034	木簡「〇〇〇」	木・墨書	古代	10-34	22-34	糖アルコール
20429	市	20035	木簡「明」	木・墨書	古代	10-35	22-35	糖アルコール
20430	市	20036	木簡「寺カ」	木・墨書	古代	10-36	-	糖アルコール
20431	市	20037	木簡「四百五十…」	木・墨書	古代	10-37	22-37	糖アルコール
笠扱1次(調査番号:200021 市報752集)								
20321	市	10001	三又鍬	木	弥生中期～後期	63-1	22-1-1	PEG
20322	市	10002	三又鍬	木	弥生中期～後期	63-2	22-1-2	PEG
20323	市	10003	三又鍬	木	弥生中期～後期	63-3	22-1-3	PEG
20324	市	10004	二又鍬	木	弥生中期～後期	64-4	22-1-4	PEG
20325	市	10005	杭	木	弥生中期～後期	64-5	23-2-5	PEG
20326	市	10006	鋤	木	弥生中期～後期	65-6	23-2-6	PEG
20327	市	10007	鋤	木	弥生中期～後期	65-7	23-2-7	PEG
20328	市	10008	鋤柄	木	弥生中期～後期	65-8	23-2-8	PEG
20329	市	10009	鍬	木	弥生中期～後期	65-9	22-1-9	PEG
20330	市	10010	木柄	木	弥生中期～後期	66-10	23-2-10	PEG
20331	市	10011	木柄	木	弥生中期～後期	66-11	23-2-11	PEG
20332	市	10012	木柄	木	弥生中期～後期	66-12	23-2-12	PEG
20333	市	10013	鋤	木	弥生中期～後期	66-13	22-1-13	PEG
20334	市	10014	組合せ部材?	木	弥生中期～後期	67-14	24-3-A-14, B-14	PEG
20335	市	10015	枕または判り物腰掛け	木	弥生中期～後期	67-15	24-3-A-15, B-15	PEG
20336	市	10016	祭祀用木剣	木	弥生中期～後期	67-16	24-3-16	PEG
20337	市	10017	弓?棒状製品	木	弥生中期～後期	67-17	24-3-17	PEG
20338	市	10018	丸木弓	木	弥生中期～後期	67-18	24-3-18	PEG
20339	市	10019	竪杵	木	弥生中期～後期	68-19	25-4-19	PEG
20340	市	10020	孔を持つ舟形板材	木	弥生中期～後期	68-20	25-4-20	PEG
20341	市	10021	建築材のち転用杭か	木	弥生中期～後期	69-21	25-4-21	PEG
20342	市	10022	鼠返し	木	弥生中期～後期	69-22	25-4-22	PEG
20343	市	10023	建築材?	木	弥生中期～後期	70-23	26-5-23	PEG
20344	市	10024	柱材	木	弥生中期～後期	70-24	25-4-24	PEG
20345	市	10027	扉	木	弥生中期～後期	71-27	26-5-A, B, C-27	PEG
箱崎22次(調査番号:200022 市報811集)								
20369	市	774	銅鏡付着木質	木	中世(12C後半)	-	-	アクリル樹脂
浦江5次(調査番号:200144 市報863集)								
20402	市		漆膜	漆・土	中世	-	-	バインダー-17
比恵79次(調査番号:200233 市報821集)								
20584	市	61	杭	木	弥生中期後半	23-61	-	PEG
20585	市	93	曲物底板	木	中世(12C中頃～後半)	28-93	-	PEG
20586	市	94	曲物底板	木	中世(12C中頃～後半)	28-94	52-94	PEG
20587	市	95	折敷底板	木	中世(12C中頃～後半)	28-95	-	PEG
20588	市	96	曲物側板	木	中世(12C中頃～後半)	28-96	-	PEG
20589	市	97	曲物側板	木	中世(12C中頃～後半)	28-97	52-97	PEG
20590	市	108	蓋	木	中世(11C後半代)	29-108	-	PEG
20591	市	127	組合式案の栓	木	弥生後期前半～中頃	32-127	52-127	PEG
20592	市	128	組合式案の栓?	木	弥生後期前半～中頃	32-128	-	PEG
比恵80次(調査番号:200235 市報822集)								
20593	市	40001	三又鍬	木	弥生前期	15-151	18-151	PEG
20594	市	40002	杭	木	弥生前期	15-155	18-155	PEG
20595	市	40003	杭	木	弥生前期	15-154	-	PEG
20596	市	40004	農具?(縄縛痕有)	木	弥生前期	16-160	-	PEG
20597	市	40005	平鍬の一部	木	弥生前期	15-150	18-150	PEG
20598	市	40006	三又鍬	木	弥生前期	15-152	18-152	PEG
20599	市	40007	柄の一部	木	弥生前期	15-156	-	PEG
20600	市	40008	鋤の一部	木	弥生前期	15-153	-	PEG
20601	市	40009	板材(方形孔有)	木	弥生前期	16-157	18-157	PEG
20602	市	40010	平鍬か鋤の一部	木	弥生前期	16-158	18-158	PEG
20603	市	40011	平鍬か鋤の一部	木	弥生前期	16-159	18-159	PEG
20604	市	40012	平鍬か鋤の一部	木	弥生前期	16-161	18-161	PEG
20605	市	40013	泥除けの一部か	木	弥生前期	16-162	-	PEG
比恵81次(調査番号:200239 市報782集)								
20606～20608	市	30001～30003	木片	木	弥生後期～古墳前期	-	-	PEG
20609	市	30004	鍬	木	弥生後期～古墳前期	32	29	PEG
20610	市	30005	鉢か大型椀	木	弥生後期～古墳前期	-	29	PEG
20611～20613	市	30006～30008	コック型	木	弥生後期～古墳前期	31	29	PEG
20614～20617	市	30009～30012	建築材	木	弥生後期～古墳前期	-	-	PEG

[区分の補は国庫補助事業、市は市単費による]

(3) 金属製品・その他の遺物

今年度、木製品以外で何らかの作業を行った資料は、28遺跡410点である。その内容は別表に示す。金属器類の保存処理は一部例外を除き、概ね以下の工程により行っている。

事前調査：肉眼による表面観察の他、実体顕微鏡による付着物等の確認、透過X線による内部構造、劣化状況の把握等。

クリーニング：埋土や余分な腐食層の除去を目的とする。鉄製品はグラインダーやエアブラシを使用。銅、青銅製品の一部やこれを基調とする金銅製品、ガラス製品など、表面層のデリケートな資料は、顕微鏡下でのアルコール洗浄やメス等を用いたクリーニングを行っている。

安定化：表中のデータには記していないが、主に銅・青銅製品について、ベンゾ・トリ・アゾールによる塩類の不活性化を図っている。鉄製品については、内部にメタルが残存し全てが錆に置き換わっていない資料について、水酸化リチウムのアルコール溶液に長時間漬け込む方法により脱塩処理を行う場合がある。

樹脂含浸：いずれもアクリル樹脂を使用しているが、塗膜の厚さ等を考慮し、鉄製品にはパラロイドNDA-10を、銅・青銅製品にはパラロイドB-72を用いている。内部まで樹脂を浸透させる必要がある資料については50 cmHg程度の減圧含浸を実施。

修復：特に強度を必要としないものはセルロース系、強度を要する場合はエポキシ系の接着剤を使用。処理後の資料については特別収蔵庫にて保管している他、必要に応じて特殊な材質の袋に脱水、脱酸素の機能を持った薬剤と共に資料を封入する方法(三菱ガス化学：RPシステム)での保管も行っている。

ここ数年、古墳時代後期群集墳の調査、報告が相次いでおり、そこから出土する多くの金属製品を保存処理する機会が多い。今年度も九州大学移転予定地内の後期群集墳である元岡古墳群E群(元岡13次)、同N群(同29次)、同O群(同37次)、桑原古墳群A群(同25次)の他、金武地区圃場整備に関係する浦江1号墳(浦江7次)などの出土遺物について作業を行った。

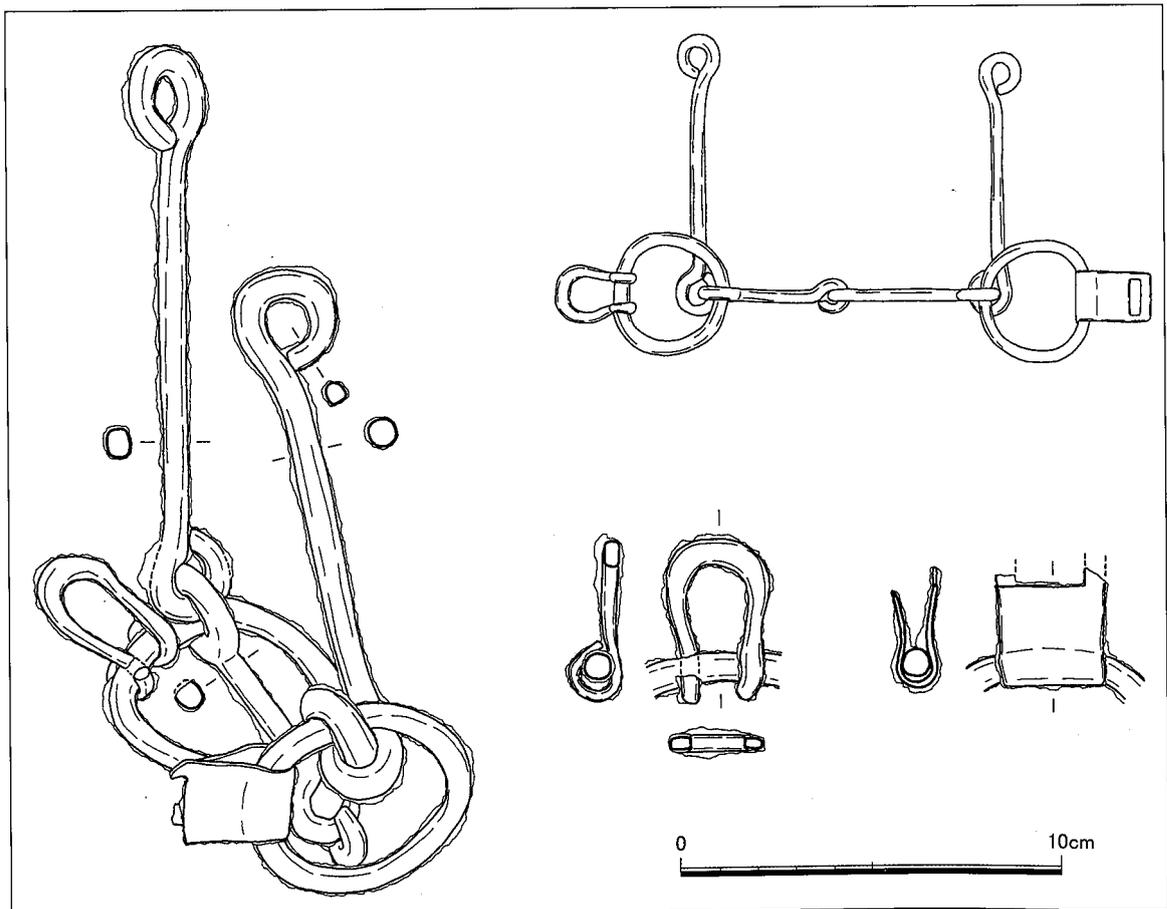


図-1：元岡37次墳

元岡E-2号墳では大型の袋状鉄斧や鎌、U字形鋤先などの農工具類の優品、元岡O-3号墳ではほぼ完形に近い轡と雲珠の馬具のセット、桑原A-2号墳では鍛冶工具のセット（鉗・金槌）や金製細型耳環など貴重な資料が多数含まれている。鍛冶工具は桑原A-4号墳でも鉗の破片が出土している他、過去に調査、保存処理が行われた、谷を挟んで隣接する桑原石ヶ元12号墳でも鉗、金槌、金床のセットが出土するなど、当該地域での集中が認められる。同様にこの地域に集中する遺物としては、金製細型耳環が桑原石ヶ元古墳群の4、8、9号墳、あるいは大分以前に発掘調査が行われた桑原古墳群（未報告のため詳述は避ける）で発見されており、福岡市内でも特に密度の高い分布を示す。

元岡O-3号墳で出土した馬具の轡は、その特殊な構造が注目される。この資料では、轡を馬の顔に固定するための革紐を通す「立聞」が、左右で異なる構造を呈している。片方は太さ数mmの鉄角棒を楕円形の環状にしたもの、もう一方は幅2.5cmほどの帯状の鉄板でそれぞれ鏡板環を巻くように挟んでいる（図-1）。詳細は発掘調査報告にも記しているが、左右の構造や寸法、デザインなどが異なる馬具は、修理の痕跡と捉えられる研究があり（栗林1999）、本資料も今のところこれに準じた解釈が適当と思われる。いずれにしても珍しい資料である。

なお元岡E-1号墳では方格T字鏡が出土しているが、この資料については1999年度に既に保存処理を行っている。

浦江1号墳でも馬具のセット、鉄鎌、大型の銅芯金薄板巻耳環など多くの金属器類が出土している。馬具は轡2セット、鐙吊金具、辻金具、鉄地金銅張雲珠、同杏葉などで、雲珠や杏葉は小片であるが市内でもセット関係が分かる資料として貴重である。その質は大型で装飾を持つ古墳に相応しい内容といえる。特に注目すべきは辻金具で、現状では鉄錆に覆われ中央が円形に開いている一見地味な資料である。中央の空間には、類例からイモガイの輪切りが嵌め込ま

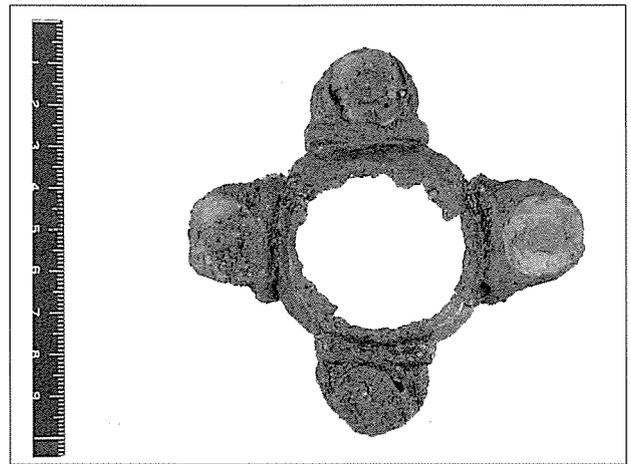


写真-1：浦江1号墳辻金具

れていたと考えられ、それ自体も希少であるが、何より4本ある脚それぞれには、脚とほぼ同大の径を持つ何らかの物質がボタン状に嵌め込まれていた痕跡を示している（写真-1）。このような事例は白木原宜氏らによって佐賀県鳥栖市永田古墳群の出土例など数例が紹介されているが（白木原他1998）市内では初出であり、その系譜が注目される。また嵌め込まれていた物質であるが、既に腐食により失われ、そのた部分を覆うように固着した錆の薄皮の形状や、それが破れた円形の窪みをもって外形を知る以外に手掛かりは少ない。永田古墳群例などでは木製品の組織痕が確認されているが、浦江1号墳例では特徴的な痕跡は確認できない。木製品以外にも貝などの可能性も考えられるかもしれない。

また古墳時代の金属器に関しては、今年度の作業には含んでいないが西区長垂山7号墳（長垂大谷遺跡1次調査）でも興味深い知見が得られている。この古墳は調査時点で既に盗掘により大規模に破壊されており、墳丘は全く残存せず、石室も一部の腰石が残る程度であった。そこからは土器類の出土はほとんど無く、粉々に粉砕されたような鉄片が大量に出土するのみであった。当初はそれらが何の器物であるが判別できなかったが、細かい観察や透過X線観察によって、甲冑の部材などの存在が明らかになった。更に調査を進めた結果、驚くべき事に衝角付冑の破片やその付属具である三尾鉄（写真-2）、あるいは鐙轡の部材（写真-3）なども含まれて

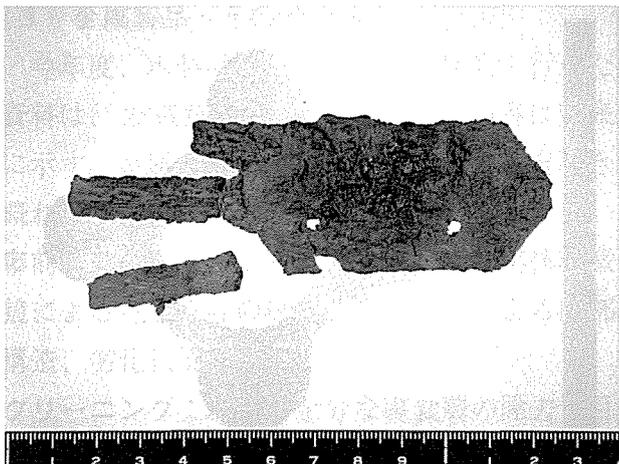


写真-2：長垂山7号墳三尾鉄

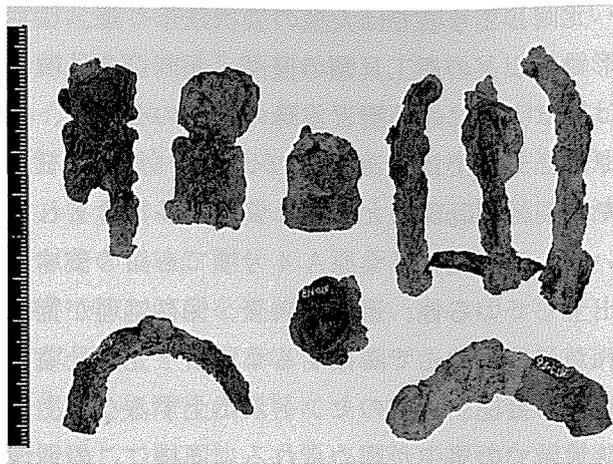


写真-3：長垂山7号墳馬具

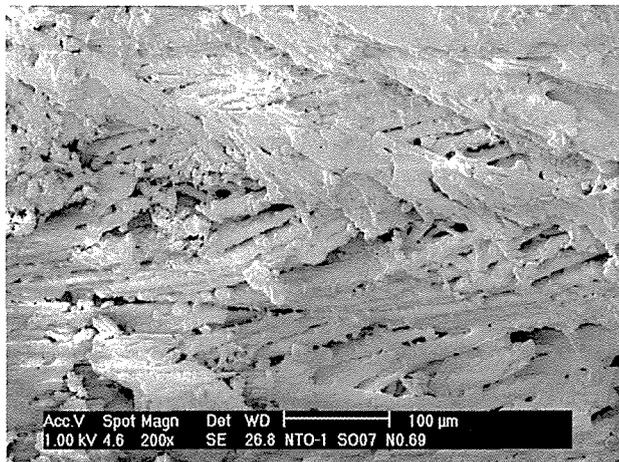


写真-4：三尾鉄羽毛痕①

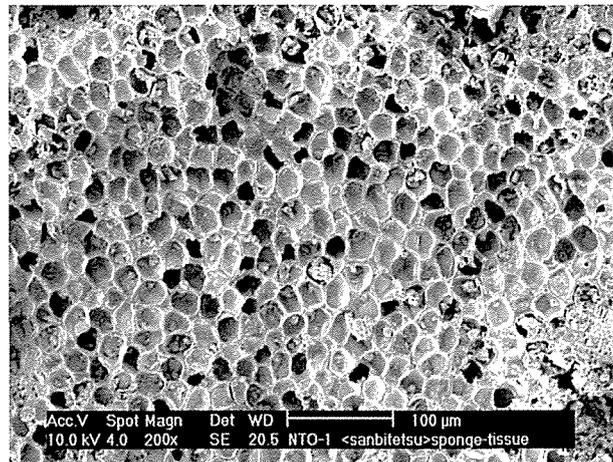


写真-5：三尾鉄羽毛痕②

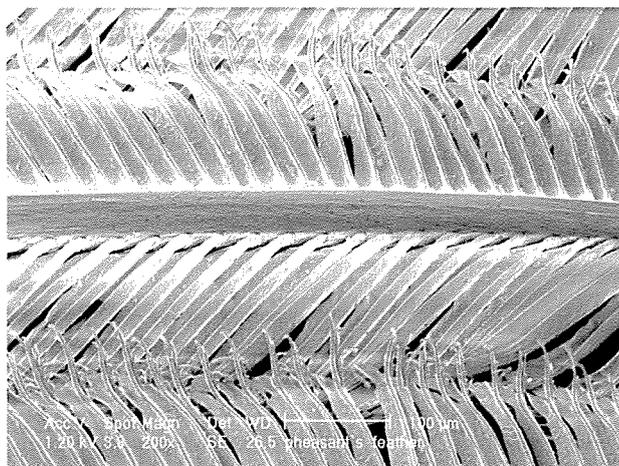


写真-6：現生鳥の羽①

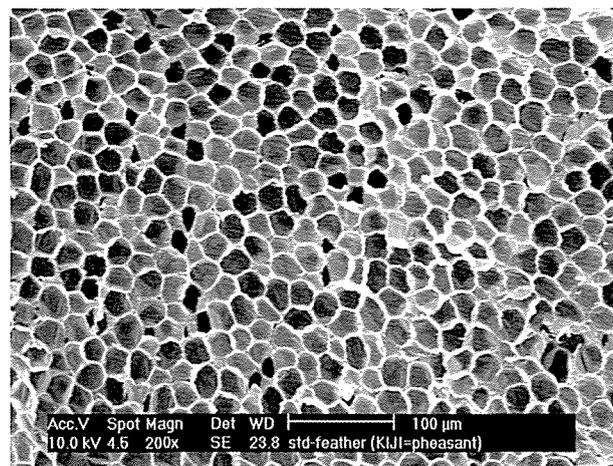


写真-7：現生鳥の羽②

いることも判明。甲冑や馬具の形式からは須恵器編年のTK-216段階に平行する5世紀中葉と考えられ、馬具については市内最古段階に遡る可能性が示された。また三尾鉄も市内では老司古墳に次いで2例目であるが、全国的に見ても19例しかなく、何よりその出土は畿内有力古墳や、地方でも老司古墳のように豪壮な副葬品を有する古墳に限られる貴重品である。この三尾

鉄には3本の脚のうち2本が残存し、そこに有機物の痕跡が比較的良好に残存している。これらを実体顕微鏡や電子顕微鏡により観察したところ、鳥の羽とよく似た組織が観察された。写真-4の矢羽根状組織や写真-5のスポンジ状の組織について、現生の鳥の羽における同一組織部分を示す(写真-6・7)。また鳥の羽を脚に固定する際には組紐状のものが用いられ、こちらも

顕微鏡観察で絹であることが確認された。

三尾鉄は衝角付冑の頂部に取り付けられる装飾的部材として、末永雅雄氏により鳥の羽やスキなどの植物を取り付けた装飾案が提示されていたが(末永1981)、過去、科学的調査による裏付けがないままに、この「鳥の羽」案が多くの場合で採用されていたようである。今回、顕微鏡レベルでの観察と現生資料との比較によって、初めて三尾鉄装飾の実態に迫る貴重な成果が得られたといえる。

また考古学的に見ると、当該地域には4世紀後半の若八幡宮古墳始まり、4世紀末の鋤崎古墳、5世紀後半の飯氏B-1号墳(兜塚古墳)など甲冑副葬古墳が連綿と存在しており、長垂山7号墳もその間をつなぐ古墳として位置付けられる他、初期馬具も重要な存在として注目される。

この様に驚くべき内容を多分に含んだ古墳であるが、遺物の詳細判明と報告書作成期日が合わなかったこともあり、これらはその一部が報告されたのみで、このため報告書では当年報での詳報を望んでいる。しかし現時点では全容解明のための整理も十分ではなく、保存処理作業としても事前調査のみに止まっているため、今年度は見送らざるを得ない。考古学的にも重要な意味合いをもつ資料であり、性急な作業は避け慎重に調査すべきと考える。今回はその端緒を記すに止め、次年度以降、十分な精査と併せ本格的な保存処理作業を行った上で、改めて報

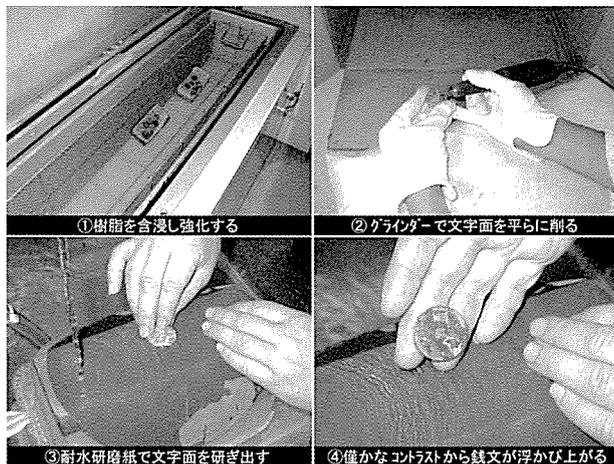


写真-8：銅銭の研ぎ出し工程

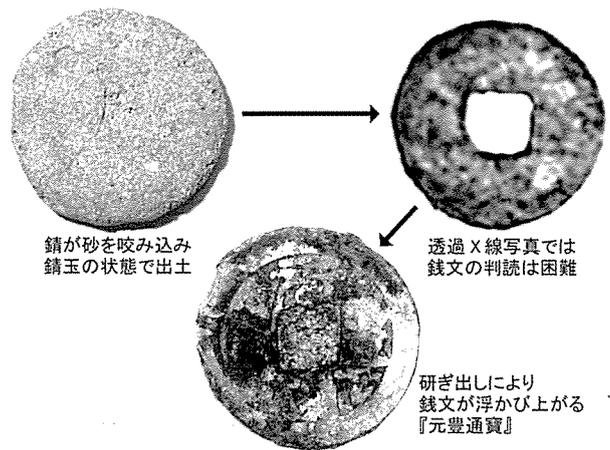


写真-9：銅銭の研ぎ出し結果

告したい。

金属製品では他に、中世の資料も数多く取り扱っている。特に銅銭について、文字判読を主目的とした新たな処理法を試み、良好な結果が得られている。銅銭は博多遺跡群など中世の遺跡において時に多量に出土する。ところがこれらは多くの場合、腐食生成物に覆われ銭銘の判読が困難である。過去、透過X線撮影による簡易な判読法について報告を行ったが(片多他2000)、腐食が著しい資料の場合、銅銭本体と腐食生成物の密度が近くなり、この方法でも判読が困難なものも少なくない。このような資料について、砥石や耐水研磨紙を用いて平滑な面を研ぎ出すことによって、浮かび上がる文字と錆、あるいは噛み込んだ砂などの異物との僅かなコントラストの違いから、銭文の判読が可能であった(写真-8・9)。作業方法の詳細は市報850集を参照されたい。今回は博多遺跡群出土の約160点について作業を行い、うち約100点の腐食の著しい資料に対して、この研ぎ出しによる判読を試みたところ、9割以上に関して銭銘の判読に成功した。ただし、この手法は、研磨が資料本来の面まで達するという破壊的要素を含んでおり、積極的に推奨すべきものではない。背景となる銭の絶対数や出土する遺跡、銅銭のもつ歴史的意義、資料そのものの腐食状態など多くの要素を多角的に判断した上で実施されるべきであり、あくまでも現状では救いようのない資料に付加価値を与えるための試行的なもので

あることをお断りしておく。その一方で、出土
銭貨研究の多くの部分を銭銘判読が占めている
現状もあり、その意味では条件付きながらも有
効な手段であるといえよう。

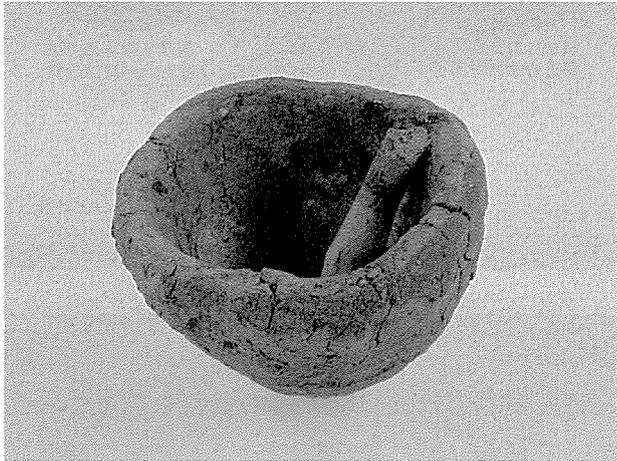


写真-10：比恵87次ガラス加工具

この他に注目すべき資料として、比恵遺跡87
次調査出土のガラス加工具が挙げられる（写真-
10）。本資料は井戸からの出土であるが、供伴
する土器は弥生時代から古代のものまで幅があ
るものの量が少なく、肉眼観察のみでは用途も
含めて不明な部分が多かった。しかし内部に残
留するガラス状物質の蛍光X線分析を行った結
果、これが鉛バリウムガラスであることが判明。
このガラスは弥生時代に盛行する種類のもので
あることから、弥生時代のガラス加工具である
ことが確認された。詳細は報告書に譲るが、ほ
ぼ完形品ということもあり弥生時代のガラス器
製作を考える上で重要な資料になるものと期待
される。

金属器以外の無機物として、今年度は土器の
保存修復も行った。土器類は通常、粘土鉱物を
高温で焼成したもので化学的に安定したものが
多い。しかし雑餉隈遺跡15次調査で出土した弥
生前期の壺2点は、出土時、劣化により非常に
脆弱となっており、取り扱いが困難な状況であ
った。この原因としては土器そのものの焼成が
不十分であったことや、埋土の酸性度が高かつ
たことなどが考えられる。これら2点の土器は
いずれも弥生前期の木棺墓の副葬品で、1点は
有柄式磨製石剣と磨製石鏃を供伴。また検出状



写真-11：雑餉隈15次修復着手前



写真-12：雑餉隈15次修復後

況から復元すれば完形に近いことが分かってお
り、実測などの資料化や、活用の便宜を図るた
めの保存処理が求められていた。資料は当初、
土ごと取り上げられ埋蔵文化財センターに持ち
込まれたものの、土から取り外す以前に全体が
細かく割れ、更に胎土そのものが脆弱化してい
たために、通常の接合は不可能であった（写真-
11）。そこで事前に表面から扱える部分をでき
る限りクリーニングした後、アクリル樹脂を塗布
して強化した破片を順次取り外して並べ裏側を
クリーニング。更に、比較的丈夫な破片はアク
リル樹脂のアセトン溶液中に浸漬、脆弱なもの
は筆で樹脂を塗布してそれぞれ強化。その上で
接合を行った。しかし作業中にもブロック状に
崩壊する部分が相次ぎ、作業は困難を極めた。
接合はセルロース系接着剤（セメダインC）を
使用。その後、欠損部を補填したが、広範囲に
及ぶ部分は芯にエポキシ樹脂FRPの薄板を入れ

たうえて、粘土状のエポキシ樹脂を充填。狭い部分は直接樹脂を補填。最後に補填部表面の仕上げを行い、水溶性アクリル絵の具での補彩を施して完成した(写真-12)。なお、修復においては、過去筆者が発表した実物部分と補填部分が「違和感なく判別できる」方法を採用、実践している(比佐1997)。

今回の作業は、文章で表すとそれほど特殊な作業には見えないかもしれない。しかし、細片となった破片は膨大な数に及び、それらの接合作業といった労力や技術的な細部は文字に表すことが難しく、隔靴搔痒の感はぬぐえない。不十分な文章と写真から、それが伝わることを願うものである。また作業に当たっては、細片のクリーニングや取り外しなど手間のかかる部分で、当センター臨時職員木村絹子氏の手を大いに煩わせた。ここに記して感謝申し上げるとともに、その労をねぎらいたい。

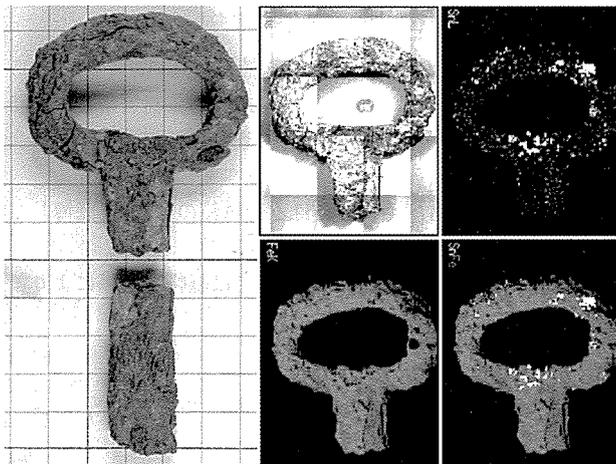


写真-13: 津屋崎環頭外観・全体マッピング

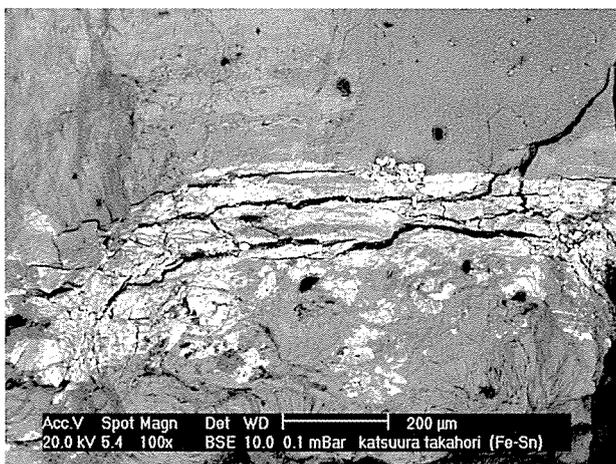


写真-14: 津屋崎環頭SEM反射電子像

(4) その他の作業について

埋蔵文化財センターでの作業の他、発掘調査現場での保存科学的作業も行っている。今年度は遺物の取り上げや出土遺物の応急処置に関する問い合わせの対応など、小規模なものを中心となった。

(5) 外部からの施設利用

平成11年度に導入された様々な文化財用事前調査機器類は、保存処理の事前調査のみならず考古学的に有益な情報が得られる装置としても有効である。これらを備えた埋蔵文化財関連施設は九州地域にほとんど無く、周辺地域自治体等を中心に利用の問い合わせが多く寄せられてきたため、利用基準(巻末参照)を定め、この範囲内で施設使用を許可する事としている。

今年度は福岡県では九州歴史資料館や、春日市、大野城市、福津市、筑紫野市の各教育委員会、佐賀県鳥栖市教育委員会、長崎県政策調整局、同高島町教育委員会、熊本県合志町教育委員会、熊本大学、山口県埋蔵文化財センターなど九州及び周辺各地の自治体、関係機関からの利用があった。

上記利用のうち、福津市教育委員会による勝浦高堀遺跡出土古墳時代環頭大刀の調査では、鉄製と見られていた素環頭部分の透過X線撮影や蛍光X線分析で錫による装飾の存在が確認され、更に電子顕微鏡による観察では、部分的に錫が100~200 μ の厚さで層を成している状況が見られた(写真-13・14)。鉄に錫を装飾する素環頭大刀については先学の研究(永嶋1991)でその存在が指摘されていたものの、詳細は明らかにされていなかった。錫は腐食しやすい金属で、今回の資料などでは肉眼では全くその存在が認められず、透過X線などでも余程注意しないと見過ごすほどの残存状態である。素環頭大刀は弥生時代から古墳時代中期にかけて全国で出土し、福岡市でも老司古墳、鋤崎古墳など有力古墳からの出土が見られる。このような事例がどの程度の頻度で存在するかによっては、肉眼観察

のみで安易に鉄製と判断されている資料も少なくないこととなろう。また、これらは不用意に保存処理を行えば、エアブラシ、グラインダーなどで錫の痕跡が失われる危険を孕んでおり、事前調査の重要性、有効性が如実に示されるとともに、この様な事例を広く提示することで注意を喚起できればと考える(比佐他 2005)。

考古学的に見ると、弥生～古墳時代の錫製品のうち単体での使用による装身具については、過去この年報でも報告を行っているが、それ以外にも錫利用の範囲は大きな広がりを見せつつある。古代の非鉄金属としては特殊な素材である錫の流通、利用に関する研究は、今後、益々有意義なテーマになるものと考えられる。

この他にも八女市鶴見山古墳出土鏡片の調査では、様々な表面付着物の中にヒメクロバエの蛹痕が発見された。田中良之氏は愛媛県葉佐池古墳出土人骨に付着したヒメクロバエの蛹の調査を行い、ある程度腐敗した死肉にたかり、暗闇では繁殖しないというこのハエの性質から、殞を示す痕跡との結論を導き出しており(田中 2003)、本例も同様の事を示すものとして注目される(比佐 2005)。

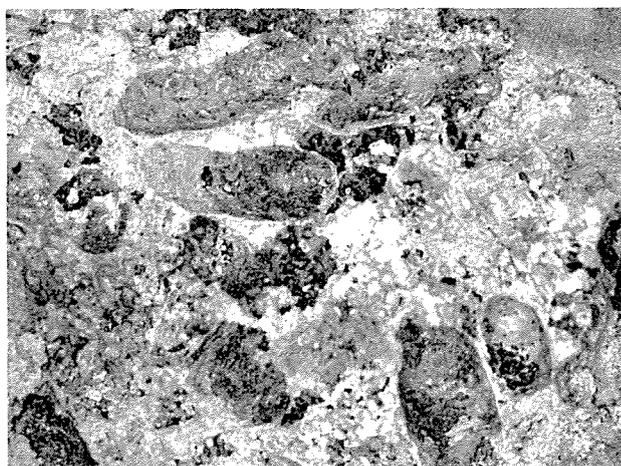


写真-15：鏡片上に残るハエの困蛹殻

この様に外部利用は単に施設、機器使用というその場限りの一方通行的作業に止まらず、その際には資料に関する様々な情報や、作業に伴って生じるデータを得ることができる利点がある。文化財は現行の行政区分とは結びつかずに流通、使用されていたものであり、本市の文化

財を理解するためには自治体の枠を超えての情報交換が必要となるものである。今後も当センターの業務に支障を来さぬ範囲で外部からの利用を受け入れて行きたいと考える(比佐)。

【参考文献】

- 片多雅樹・比佐陽一郎 2000 「博多113次調査出土銅銭の透過X線撮影」『博多73博多遺跡群第113次調査の概要』福岡市埋蔵文化財調査報告書第631集福岡市教育委員会
- 栗林誠治 1999 「馬具の修理痕—山田古墳群(A) SM 1001出土馬具の再検討—」『真朱』徳島県埋蔵文化財センター
- 白木原宜・谷畑美帆・羽山隆・宮代栄一 1998 「木製の「座金」を伴う雲珠・辻金具—佐賀県鳥栖市永田古墳群出土例をめぐって—」『日本考古学協会第64回(1998年度)総会研究発表要旨』日本考古学協会
- 末永雅雄 1981 『増補日本上代の甲冑』木耳社
- 田中良之 2003 「人骨および付着ハエ困蛹殻からみた殞について」『葉佐池古墳』松山市文化財調査報告書92松山市教育委員会
- 比佐陽一郎 1997 「埋蔵文化財の修復に関する一試案(土器類を中心として)」『日本文化財科学会第114回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会
- 比佐陽一郎 2005 「鶴見山古墳出土金属器の保存科学的調査について」『鶴見山古墳2』八女市文化財調査報告書第72集八女市教育委員会
- 比佐陽一郎・今西寿光・塚本敏夫・植田直見・池ノ上宏 2005 「錫で装飾された古墳時代の環頭大刀—福岡県福津市勝浦高堀出土資料の保存科学的調査—」『日本文化財科学会第22回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会
- 永嶋正春 1991 「古墳時代における金属錫の利用」『歴博』第49号 国立歴史民俗博物館
- (市内遺跡の発掘調査報告書については紙幅の関係により割愛させていただいた)

表5 平成16(2004)年度保存処理金属器一覽

遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
弥永原3次(調査番号:6601 市報1006集)					
処 16866	仿製内行花文鏡	銅・青銅	弥生後期	16	クリーニング・安定化・樹脂含浸
広石古墳群(調査番号:7502 市報41集)					
7045	須恵器(長頸壺)	その他	古墳後期	88-42	修復等
多々良込田6次(調査番号:8326 市報121集)					
処 20632	小銅鏡	銅・青銅	(古墳後期〜) 古代	85-7	クリーニング・安定化・樹脂含浸
重留古墳群A-1号墳(調査番号:8338 市報1036集)					
処 20633	耳環	鉄	古墳後期	23	クリーニング・安定化・樹脂含浸
三苫京塚古墳(調査番号:8860 市報243集)					
1101	三累環頭	銅・青銅	古墳後期	15-1101	クリーニング・安定化・樹脂含浸
博多48次(調査番号:8915 市報282集)					
2045・2049	銅銭(五銖)	銅・青銅	中世	47-818・819	クリーニング・安定化・樹脂含浸・接合
雀居9次(調査番号:9506 市報635集)					
1022	小銅鏡	銅・青銅	古墳?	140-32	クリーニング・安定化・樹脂含浸
博多111次(調査番号:9836 市報711集)					
30008	メダイ	銅・青銅	中世末	74-10	クリーニング・安定化・樹脂含浸
元岡13次(元岡古墳群E群)(調査番号:9903 市報861集)					
処 20640	U字形鋤先	鉄	古墳後期	14-95	クリーニング・樹脂含浸・接合
処 20641~20643	鎌	鉄	古墳後期	14-90・91	クリーニング・樹脂含浸・接合
処 20644・20645	袋状鉄斧	鉄	古墳後期	14-93・94	クリーニング・樹脂含浸・接合
処 20646~20648	刀子	鉄	古墳後期	14-84~86	クリーニング・樹脂含浸・接合
処 20649~20651	鉄鎌	鉄	古墳後期	14-87~89	クリーニング・樹脂含浸
処 20652	鉄剣片	鉄	古墳後期	14-92	クリーニング・樹脂含浸
処 20653	鉄鎌片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・樹脂含浸
元岡15次(調査番号:9923 市報860集)					
処 20639	鋳造鉄斧	鉄	弥生後期?	1-26	クリーニング・樹脂含浸
今山8次(調査番号:9951 市報835集)					
処 20654	刀子	鉄		未図化	クリーニング・樹脂含浸
処 20655・20656	不明鉄板	鉄		未図化	クリーニング・樹脂含浸
三苫5次(調査番号:0015 市報773集)					
70154	鋤先	鉄	近世?	未図化	クリーニング・安定化・樹脂含浸
70148	鏝	鉄	近世?	未図化	クリーニング・安定化・樹脂含浸
元岡25次(桑原古墳群A群)(調査番号:0052 市報861集)					
61	耳環(金製細型)	その他金属	古墳後期	35-61	アルコール洗浄
62	鉗	鉄	古墳後期	36-62	クリーニング・樹脂含浸
63	金槌	鉄	古墳後期	36-63	クリーニング・樹脂含浸
64	刀子	鉄	古墳後期	36-64	クリーニング
99	耳環(銅心銀薄板巻鍍金)	銅・青銅	古墳後期	42-109	アルコール洗浄・樹脂含浸
110	鉄鎌(長頸頭部片)	鉄	古墳後期	42-110	クリーニング
111~113	鉄刀片	鉄	古墳後期	42-111~113	クリーニング・樹脂含浸
114	袋状鉄斧	鉄	古墳後期	42-114	クリーニング・樹脂含浸
115・116	不明鉄器(馬具?)	鉄	古墳後期	42-115・116	クリーニング
177~181	鉄鎌(圭頭)	鉄	古墳後期	54-177~181	クリーニング
182	不明棒状鉄器(鉗の握り?)	鉄	古墳後期	54-182	クリーニング・樹脂含浸・接合
183	鍛冶工具(鉗)	鉄	古墳後期	54-183	クリーニング
184~190	鉄鎌	鉄	古墳後期	54-184~190	クリーニング
318~320	鉄鎌	鉄	古墳後期	61-318~320	クリーニング・樹脂含浸
321	刀子?	鉄	古墳後期	61-321	クリーニング
339~343	不明鉄器(ヤス?)	鉄	古墳後期	71-339~343	クリーニング・樹脂含浸・接合
365	鉄鎌片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
366	不明鉄片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1001	不明鉄片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1002	鉄鎌(茎部片)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1003	鉄刀片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1005	鉄鎌片一括	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
浦江5次(調査番号:0144 市報863集)					
処 20698・20699	赤色顔料	その他	弥生中期中葉	未図化	材質調査
浦江7次(調査番号:0263 市報862集)					
1002	馬具(環状鏡板付轡) a	鉄	古墳後期	20-2	クリーニング・接合・樹脂含浸
1003	馬具(環状鏡板付轡) b	鉄	古墳後期	20-3	クリーニング・接合・樹脂含浸
1004・1005	馬具(轡片) b?	鉄	古墳後期	20-11・5	クリーニング・接合・樹脂含浸
1006	馬具(環状鏡板付轡引手片) b	鉄	古墳後期	20-6	クリーニング・接合・樹脂含浸
1007・1008・1010	馬具片?	鉄	古墳後期	20-7・8・10	クリーニング
1013	馬具(鉄地金銅張椀形杏葉片)	鉄	古墳後期	21-1	クリーニング・接合
1014	馬具(鉄地金銅張杏葉吊金具?)	鉄	古墳後期	21-2	クリーニング・樹脂含浸
1015	馬具(鉄地金銅張方形帯金具)	鉄	古墳後期	21-3	クリーニング・樹脂含浸
1016	馬具(鉄地金銅張雲珠脚片)	鉄	古墳後期	22-1	クリーニング
1018	馬具(鉄製イモガイ嵌込辻金具)	鉄	古墳後期	22-3	クリーニング・接合・樹脂含浸
1019・1020	馬具(鉄製イモガイ嵌込辻金具脚片)	鉄	古墳後期	22-4・5	クリーニング
1021	馬具(鉄地金銅張菱形帯金具)	鉄	古墳後期	22-6	クリーニング・接合・樹脂含浸
1022・1023	馬具(シオデ)	鉄	古墳後期	23-1・2	クリーニング・接合・樹脂含浸
1024~1026	馬具(鑑吊金具上半)	鉄	古墳後期	23-3~5	クリーニング・接合・樹脂含浸
1027	馬具(鑑吊金具片)	鉄	古墳後期	23-7	クリーニング
1028	馬具(鑑吊金具下半)	鉄	古墳後期	23-6	クリーニング・接合・樹脂含浸
1029~1031	鉄鎌(短頸三角)	鉄	古墳後期	24-1~3	クリーニング・接合
1032・1033	鉄鎌(長頸柳刃)	鉄	古墳後期	24-4・5	クリーニング・接合
1034	鉄鎌片	鉄	古墳後期	24-6	クリーニング・接合
1035~1037	鉄鎌(長頸鎌頭部)	鉄	古墳後期	24-7~9	クリーニング・接合
1038	鉄鎌(短頸鎌片)	鉄	古墳後期	24-10	クリーニング・接合
1039~1046	鉄鎌(長頸鎌片)	鉄	古墳後期	24-11~18	クリーニング・接合
1047	鉄刀茎片?	鉄	古墳後期	24-19	クリーニング
1048~1050	刀子片	鉄	古墳後期	24-20~22	クリーニング
1051	袋状鉄斧	鉄	古墳後期	24-23	クリーニング・接合・樹脂含浸
1052	U字形鋤先片	鉄	古墳後期	24-24	クリーニング
1053	小型鏝+不明鉄器	鉄	古墳後期	24-25	クリーニング

遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
1057・1058	鉄釘	鉄	古墳後期	26-1・2	クリーニング
1059・1060	不明鉄板	鉄	古墳後期	26-3・4	クリーニング
1061・1062	馬具(環状鏡板付轡片) b	鉄	古墳後期	29-1・2	クリーニング・接合・樹脂含浸
1065	馬具片?	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1066	馬具(シオデ)	鉄	古墳後期	29-6	クリーニング・接合・樹脂含浸
1067	鉄鏃(長頸鏃頭~茎部)	鉄	古墳後期	24-7	クリーニング・接合
1068	鉄鏃(茎部)	鉄	古墳後期	29-8	クリーニング
1069	鉄鏃(長頸鏃頭~茎部)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合
1071	刀子片?	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1072	鉄鏃(短頸三角)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング・接合
1073	馬具(鉄地金銅張不明片)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1074	馬具(鎧兵庫鎖片)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1075	不明鉄器(雲珠片?)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1076	刀子片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1077	不明鉄板	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1078	不明鉄器(方形板鋤先?)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1079~1081	不明鉄器	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング

元岡29次(元岡古墳群N群)(調査番号:0204 市報861集)

11~14	刀子	鉄	古墳後期	82-11~14	クリーニング・樹脂含浸
15~19	鉄刀片	鉄	古墳後期	82-15~19	クリーニング・樹脂含浸・接合
20	鉄鏃片?	鉄	古墳後期	82-20	クリーニング
21	鏝?※新しい?	鉄	古墳後期?	82-21	クリーニング・樹脂含浸・接合
22	鉄環(馬具轡?)	鉄	古墳後期	82-22	クリーニング・樹脂含浸
23	指輪?	銅・青銅	古墳後期	82-23	クリーニング・樹脂含浸・安定化
31	刀子片	鉄	古墳後期	85-31	クリーニング
32・33	鉄刀片	鉄	古墳後期	85-32・33	クリーニング
34	鉄鏃(短頸?三角)	鉄	古墳後期	85-34	クリーニング
35	不明鉄器	鉄	古墳後期	85-35	クリーニング
57・58	耳環(銅芯金薄板被せ中空)	銅・青銅	古墳後期	92-57・58	アルコール洗浄
59	鉄刀片	鉄	古墳後期	92-59	クリーニング・樹脂含浸
60	鉄鏃(短頸?三角)	鉄	古墳後期	92-60	クリーニング
61	馬具(鉸具)	鉄	古墳後期	92-61	クリーニング・樹脂含浸・接合
84・85	鉄刀片	鉄	古墳後期	95-84・85	クリーニング
86・87	鏃	鉄	古墳後期	95-86・87	クリーニング
88	鉄鏃(頸部片)	鉄	古墳後期	95-88	クリーニング
89	不明棒状鉄器	鉄	古墳後期	95-89	クリーニング
109	刀子茎片	鉄	古墳後期	100-109	クリーニング
147~150	鉄鏃束	鉄	古墳後期	105-147~150	クリーニング・樹脂含浸
151~157	鉄鏃(長頸片)	鉄	古墳後期	105-151~157	クリーニング・樹脂含浸・接合
158	刀子片?	鉄	古墳後期	105-158	クリーニング
159	鉄刀茎片	鉄	古墳後期	105-159	クリーニング・樹脂含浸
160・161	袋状鉄斧	鉄	古墳後期	105-160・161	クリーニング・樹脂含浸
162	ヤリガンナ?	鉄	古墳後期	105-162	クリーニング・樹脂含浸
163・164	鉄釘	鉄	古墳後期	105-163・164	クリーニング
165~168	不明鉄器(棒状)	鉄	古墳後期	105-165~168	クリーニング・樹脂含浸
169・170	不明鉄器(板状)	鉄	古墳後期	105-169・170	クリーニング
178・179	耳環(銅芯表装不明)	銅・青銅	古墳後期	110-178・179	クリーニング・樹脂含浸・安定化
184~189	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	110-184~189	アルコール洗浄
191	刀子	鉄	古墳後期	114-191	クリーニング
192	袋状鉄斧	鉄	古墳後期	114-192	クリーニング・樹脂含浸
193	鏃基部	鉄	古墳後期	114-193	クリーニング
194	鏝?※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	114-194	クリーニング・樹脂含浸・接合
202	鉄鏃?	鉄	古墳後期	118-202	クリーニング
205	銅銭(寛永通寶)	銅・青銅	近世	118-205	アルコール洗浄
1003	不明鉄器	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1004	不明鉄器※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	未図化	クリーニング・樹脂含浸
1005	鏝?※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	未図化	クリーニング・樹脂含浸
1006	鏃※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	未図化	クリーニング・樹脂含浸
1007	不明鉄器	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1008	鏝?※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	未図化	クリーニング
1010・1011	鉄鏃片	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1012	不明鉄器(角棒状)	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1013	鉄鏃茎片一括	鉄	古墳後期	未図化	クリーニング
1015	不明環状品(取っ手?) ※新しい?	鉄	古墳後期?(~近世)	未図化	クリーニング・樹脂含浸
1020	含鉄鉄滓	鉄滓	古墳後期	未図化	クリーニング

箱崎39次(調査番号:0302 市報854集)

4004	鏃	鉄	古代末~中世(11~12C)	23-263	クリーニング・樹脂含浸・接合
4006	刀子	鉄	古代末~中世(11~12C)	28-378	クリーニング・樹脂含浸・接合
4001	具	鉄	古代末~中世(11~12C)	28-377	クリーニング・樹脂含浸
4005	短刀	鉄	古代末~中世(11~12C)	25-341	クリーニング・樹脂含浸・接合
4003	紡錘車	鉄	古代末~中世(11~12C)	22-252	クリーニング・樹脂含浸・接合
4002	杓子	鉄	古代末~中世(11~12C)	20-210	クリーニング・樹脂含浸・接合

西新町16次(調査番号:0322 市報846集)

処	20855	不明鉄器	鉄	弥生中期前半?	19-50	クリーニング
---	-------	------	---	---------	-------	--------

蒲田郡木原7次(調査番号:0328 市報836集)

2001	石製勾玉(翡翠)	その他	弥生中期前半	15-19	アルコール洗浄・材質調査
------	----------	-----	--------	-------	--------------

博多143次(調査番号:0333 市報849集)

3501	洪武通寶	銅・青銅	中世	48-1	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3502	×聖元×	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3503	永樂通寶	銅・青銅	中世	48-3	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3504	至道元寶	銅・青銅	中世	48-4	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3505	□×××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3506	洪武通寶	銅・青銅	中世	48-6	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3507	永××寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3508	皇宋通寶	銅・青銅	中世	48-8	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読

遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法
3509	永樂通寶	銅・青銅	中世	48-9	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3510	××元寶	銅・青銅	中世	48-10	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3511	天聖元寶	銅・青銅	中世	48-11	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3512	□□□□	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3513	宋(通元)寶	銅・青銅	中世	48-13	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3514	×熙元寶	銅・青銅	中世	48-14	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3515	××通寶	銅・青銅	中世	48-15	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3516	治(平)元寶	銅・青銅	中世	48-16	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3517	元豐通寶	銅・青銅	中世	48-17	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3518	永樂通寶	銅・青銅	中世	48-18	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3519	××元×	銅・青銅	中世	48-19	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3520	元××寶	銅・青銅	中世	48-20	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3521	元豐通寶	銅・青銅	中世	48-21	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3522	永樂(通)寶	銅・青銅	中世	48-22	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3523	元豐通寶	銅・青銅	中世	48-23	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3524	開元通寶	銅・青銅	中世	48-24	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3525	(開)元通(寶)	銅・青銅	中世	48-25	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3526	□□××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3527	×聖(元寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3528	太(平通寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3529	熙寧?元寶	銅・青銅	中世	48-29	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3530	元符通寶	銅・青銅	中世	48-30	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3531	×道(元寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3532	熙寧元寶	銅・青銅	中世	48-32	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3533	咸平元寶	銅・青銅	中世	48-33	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3534	元豐通寶	銅・青銅	中世	48-34	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3535	元祐通寶	銅・青銅	中世	48-35	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3536	×××寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3537	××通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3538	□×××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3539	開元通寶	銅・青銅	中世	48-39	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3540	(皇)宋(通)寶	銅・青銅	中世	48-40	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3541	開×通寶	銅・青銅	中世	48-41	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3542	熙寧通寶	銅・青銅	中世	48-42	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3543	天禧通寶	銅・青銅	中世	48-43	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3544	永樂通寶	銅・青銅	中世	48-44	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
3603	不明青銅器	銅	中世	未図化	クリーニング

博多144次 (調査番号: 0334 市報850集)

822~824	ガラス小玉	ガラス	中世	83-822~824	アルコール洗浄・材質調査
251	ガラス片	ガラス	中世	34-251	アルコール洗浄・材質調査
1038・1039	鉄鏃	鉄	中世	94-1038・1039	クリーニング、樹脂含浸・接合
1034・1035・1037	釣り針	鉄	中世	94-1034・1035・1037	クリーニング、樹脂含浸・接合
1033	不明鉤状	鉄	中世	94-1033	クリーニング、樹脂含浸・接合
1036	釘	鉄	中世	94-1036	クリーニング
1060	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1060	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1061	太平通寶	銅・青銅	中世	96-1061	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1062	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1062	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1063	□□□□	銅・青銅	中世	96-1063	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1064	紹定通寶	銅・青銅	中世	96-1064	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1065	皇××寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1066	治平元寶	銅・青銅	中世	96-1066	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1067	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1067	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1068	聖宋元寶	銅・青銅	中世	96-1068	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1069	祥符××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1070	熙寧元寶	銅・青銅	中世	96-1070	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1071	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1071	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1072	元豐通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1073	開元(通)寶	銅・青銅	中世	96-1073	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1074	太(平)通(寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1075	政和通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1076	皇カ××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1077	政和通寶	銅・青銅	中世	96-1077	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1078	開元通寶	銅・青銅	中世	96-1078	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1079	聖宋元寶	銅・青銅	中世	96-1079	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1080	治××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1081	寛永通寶	銅・青銅	中世	96-1081	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1082	□□□□	銅・青銅	中世	96-1082	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1083	治平元寶	銅・青銅	中世	96-1083	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1084	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1084	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1085	皇宋通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1086	天聖元寶	銅・青銅	中世	96-1086	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1087	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1087	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1088	皇宋通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1089	元豐通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1090	祥符元寶	銅・青銅	中世	96-1090	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1091	景祐(通寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1092	元祐通寶	銅・青銅	中世	96-1092	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1093	開元通寶	銅・青銅	中世	96-1093	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1094	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1094	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1095	開元通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1096	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1096	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1097	宋通元寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1098	太平通寶	銅・青銅	中世	96-1098	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1099	(皇)宋(通寶)	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読
1100	紹聖元寶	銅・青銅	中世	96-1100	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読

遺物No.	資料名	材質	時代	報告書Fig	処理方法	
1101	元祐通寶	銅・青銅	中世	96-1101	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1102	至和元寶	銅・青銅	中世	96-1102	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1103	××通×	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1104	熙寧元寶	銅・青銅	中世	96-1104	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1105	聖宋元寶	銅・青銅	中世	96-1105	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1106	嘉泰通寶	銅・青銅	中世	96-1106	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1107	淳祐元寶	銅・青銅	中世	96-1107	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1108	淳化元寶	銅・青銅	中世	96-1108	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1109	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1109	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1110	聖宋元寶	銅・青銅	中世	96-1110	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1111	開元(通)寶	銅・青銅	中世	96-1111	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1112	祥符通寶	銅・青銅	中世	96-1112	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1113	寬永通寶	銅・青銅	中世	96-1113	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1114	祥符元寶	銅・青銅	中世	96-1114	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1115	治平元寶	銅・青銅	中世	96-1115	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1116	熙寧元寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1117	皇宋(通)寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1118	(治)平元寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1119	紹聖元寶	銅・青銅	中世	96-1119	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1120	開元通寶	銅・青銅	中世	96-1120	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1121	大觀通寶	銅・青銅	中世	96-1121	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1122	紹聖元寶	銅・青銅	中世	96-1122	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1123	聖宋元寶	銅・青銅	中世	96-1123	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1124	元祐通寶	銅・青銅	中世	96-1124	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1125	××通×	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1126	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1126	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1127	元×通寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1128	無文錢カ	銅・青銅	中世	96-1128	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1129	××通×	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1130	元符(通)寶	銅・青銅	中世	96-1130	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1131	洪武通寶	銅・青銅	中世	96-1131	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1132	熙寧元寶	銅・青銅	中世	96-1132	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1133	元豐通寶	銅・青銅	中世	96-1133	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1134	政(和)通(寶)	銅・青銅	中世	96-1134	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1135	元祐通寶	銅・青銅	中世	96-1135	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1136	太平通寶	銅・青銅	中世	96-1136	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1137	無文錢カ	銅・青銅	中世	96-1137	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1138	淳熙元寶	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1139	××通×	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1140	熙寧重寶	銅・青銅	中世	96-1140	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1141	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1141	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1142	永樂通寶	銅・青銅	中世	96-1142	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1143	永樂通寶	銅・青銅	中世	96-1143	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1144	皇宋通寶	銅・青銅	中世	96-1144	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1145	永樂通寶	銅・青銅	中世	96-1145	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1146	開元通寶	銅・青銅	中世	96-1146	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1147	大觀通寶	銅・青銅	中世	96-1147	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1148	×宋××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1149	□×××	銅・青銅	中世	未図化	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1150	無文錢カ	銅・青銅	中世	96-1150	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
1151	乾元重寶	銅・青銅	中世	96-1151	研ぎ出しましたは透過X線による文字判読	
博多145次(調査番号:0342 市報851集)						
処	21006	青銅製容器	銅・青銅	中世	56-418	クリーニング・接合
処	21007	刀子	鉄	中世	12-26	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21008	紡錘車	鉄	中世	12-23	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21010・21011	短刀	鉄	中世	31-197・198	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21012	鎌状	鉄	中世	31-201	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21013	不明鉄器	鉄	中世	31-202	クリーニング
処	21014・21015	短刀	鉄	中世	31-199・200	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21016・21017	釘	鉄	中世	31-203・204	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21018	不明鉄器(板)	鉄	中世	31-206	クリーニング
処	21019	不明鉄器(棒)	鉄	中世	31-205	クリーニング
処	21020	刀刃部	鉄	中世	12-24	クリーニング
処	21009	切羽	銅・青銅	中世	56-419	アルコール洗浄・樹脂含浸
箱崎41次(調査番号:0343 市報854集)						
	3010	短刀	鉄	中世	48-145	クリーニング・樹脂含浸・接合
維新隈15次(調査番号:0349 未報告)						
処	21021・21022	弥生土器	その他	弥生前期		樹脂含浸・修復
久保園3次(調査番号:0350 市報837集)						
処	21023	袋状鉄斧刃部片	鉄	弥生後期	9-36	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21024	棒状鉄器	鉄	弥生中期中頃	39-221	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21025	ヤリガンナ	鉄	弥生後期後半	16-90	クリーニング・樹脂含浸・接合
処	21026	短刀	鉄	中世(12C中頃〜後半)	67-381	クリーニング・樹脂含浸・接合
比恵87次(調査番号:0353 市報857集)						
	5001	ガラス加工具	ガラス	弥生中期?	46-1	クリーニング・材質調査
比恵88次(調査番号:0354 埋年報18集)						
	1046	不明鉄器	鉄	弥生後期中葉〜後葉	未図化	クリーニング・樹脂含浸・接合
元岡37次(元岡古墳群O群)(調査番号:0365 市報861集)						
	183・184	刀子	鉄	古墳後期	133-183・184	クリーニング・樹脂含浸・接合
	185~187	耳環	銅・青銅	古墳後期	133-185~187	クリーニング・樹脂含浸
	188	不明鉄器(鉸片?)	鉄	古墳後期	133-188	クリーニング・樹脂含浸
	189	馬具(鉄製環状鏡板付轡)	鉄	古墳後期	134-189	クリーニング・樹脂含浸・接合
	190	馬具(鉄地金銅張半球状雲珠)	鉄	古墳後期	134-190	クリーニング・樹脂含浸・接合

3. 博多出土中世瓦の産地について（予察）

(1) はじめに

博多遺跡群で出土する多量の貿易陶磁は、中世の交易拠点としての繁栄を裏づける資料として1970年代後半以来、注目されてきた。2005年現在、地下鉄や道路建設のほか民間受託の緊急調査も150次をこえ、遺構や遺物に関する膨大なデータが蓄積されてきた。また発掘された道路の方向性から都市計画の変遷も明らかになってきた。しかしながら博多遺跡群は、弥生時代から近現代までの複合遺跡であるため建物の配置や構造の把握は困難な状況にある。

屋根瓦は、建物の存在を傍証するという性格上、歴史の解明において重んじられてきた。博多遺跡群をはじめ福岡平野の中世の遺跡では12世紀から15世紀の遺構にともなって波状押圧文のある軒平瓦と草花文を配する軒丸瓦がまともに出土しており、次第に瓦葺建物の存在が有望視されるようになった。またそれら軒平瓦の製作技法や文様構成は、これまでの中世瓦と系譜を離れた趣を呈していることから東アジアのなかでの位置づけが課題とされるようになった。

小文は、考古学報に掲載された国寧寺(浙江省寧波市)出土瓦との比較をとおして、軒平瓦と草花文を配する軒丸瓦の産地について考証するものである。

(2) 研究史

これまで筆者は、博多遺跡群で多く出土する波状押圧文のある軒平瓦の製作技法について問題を提起し、その祖型を高句麗や北魏の造瓦技術に求め、渤海、遼・金、宋、元代の瓦に継承されたと論じた(常松1987)。これは軒平瓦の製作にあたって回転台をもちいて瓦当部を成形した後、篋による調整や下顎部に押圧文を加えたのちに分割するもので、いわゆる桶巻技法の応用による手法が採用されている。

その後の調査によって瓦当部に草花文を配する軒丸瓦との共伴事例が知られるようになり、押圧文軒平瓦と草花文軒丸瓦の分類・集成を行なった(常松1992)。

その間、栗原和彦氏は、太宰府を含む福岡平野を対象に中世瓦磚の系譜を説き造瓦組織と流通について整理をおこなった(栗原1989)。佐藤一郎氏は、博多遺跡群出土軒丸瓦の瓦当文様と黄釉鉄絵盤にみられる草花文様や中国の瓦当に共通する属性に着目し、比較研究をすすめた(佐藤1993)。佐藤氏はその後も博多出土の資料のなかで、鷗尾の一種である鷗吻の存在を指摘した(佐藤1994a)。

上原真人氏は、瓦全般をとりあげた概説書で「宋の影響による組合せの軒瓦」として押圧文瓦と草花文瓦を紹介し、博多出土瓦を東アジアの瓦文化のなかで評価を加えた(上原1997)。

山崎信二氏は、国内の中世瓦を地域ごとにまとめた著作「中世瓦の研究」において「博多に運ばれた中国産の瓦」の項目を設け、これまでの研究を総括的に整理した(山崎2000)。

まず軒瓦の呼称について、軒丸瓦は、「花卉文」の卉の文字は一般になじみが薄いことから「草花文軒丸瓦」とし、軒平瓦は、押し引きの重弧文が基本となることから、技法・文様をあわせて「波状重弧文軒平瓦」とする案を示した。

軒丸瓦の文様構成にそって7型式ほどに分類されるが、扇状にオシベを配するタイプに限っても12種類以上の範の存在を想定している。

またその生産地について、1)胎土が水篋された粘土を用いていること、2)桶巻作りとしての製作技法が見事で、ムダがないことを理由に中国からの搬入品とする考えを示している。

さらに山崎氏は「将来瓦の生産地や系譜を論じる場合、波状重弧文軒平瓦では、中国での類縁関係を指摘することは困難であり、さしあたって草花文軒丸瓦から焦点をしぼる必要がある」と述べ軒丸瓦の文様の詳細な検討が生産地の同定に有効と述べた。

瓦の系譜について、筆者は「瓦当面の文様構成は、河南省嵩岳寺と同様であることから、さきの北方系造瓦技法が南下し、日宋貿易の往来とともに北部九州にもたらされた」と予察をおこなった(常松1987)。つづいて栗原氏は、12世

紀代における宋人商客来航の記録に着目し、宋との関係に注意した(栗原1989)。

2000年までに検証されたのは、これら博多遺跡群を主体として分布する瓦の製作時期がおおよそ12世紀代に求められ、日宋貿易によって泉州や寧波などを中継地としてもたらされたであろうとするものである。課題としては、山崎氏が指摘するように中国で酷似する文様の草花文軒丸瓦を確認に集約される。

(3) 文様の比較

中国で酷似する文様の草花文軒丸瓦は、2000年3月までの奥付のある国内出版物では指摘されていない。筆者は考古学報に掲載された寧波唐国寧寺の発掘報告(周1997)において、共通の属性をもつ軒丸瓦の存在を知りえたのでここに紹介するものである。

国寧寺(天寧寺)は、寧波市街の月湖の北に位置している。1995年2月から4月にかけての中山路の拡幅にともなって寧波市文物考古研究所を主体として東塔址の緊急調査が行なわれた。国寧寺は、唐の大中5(851)年の創建とされ、塔址では咸通3(862)年や4年銘のある瓦磚が出土している。南宋・元・明代にかけて修重されている。

今回注目したのは、図25・26に紹介された宋代の軒丸瓦および軒平瓦である。何れも拓影のみが掲載されており、このほか内面に布圧痕のある厚さ1.6cmの筒瓦(丸瓦)と同様に布圧痕のある厚さ1.3cm板瓦(平瓦)、垂獸とされる棟飾り3点の破片が出土している。

軒丸瓦は9点出土しており、そのうち遺存度の良いもの8点について位置を変えて示す。4型式に分類されたなかで、博多出土の草花文軒丸瓦と関連がうかがえるものを以下に示す。

I式：側面からみた菊紋、縁辺部は凹凸がある。(図1-1~4)

II式：草地菊紋、縁辺部の凹凸は比較的少ない。(図1-5)

III式：牡丹紋で、文様には多様性がある。(図

1-6~8)

I式は、かつて筆者がA類(常松1992)としたもので、山崎氏の指摘をもとに用語を修正すると、弁端に珠文を配するのを特徴とし、弁を扇状に配するものと半円形の範囲に長短の弁を配する(佐藤1993・本田1998)二種に大別される。

国寧寺では、何れも弁を扇状に配しており、1と2には圈線がみられない。2左下半部のカールする文様表現は、本例だけに認められる特徴である。II式の枝葉を葉脈まで写實的に表現するものはC類に相当し、博多遺跡群35次調査出土例が類似する(加藤1995)。III式の牡丹文に相応する資料は、博多ではみられない。6は浙江省杭州の牡丹文軒丸瓦と同じ系譜に分類されよう(上原1997)。8の内区の文様は琉球の中近世瓦との類似性がうかがえる。

国寧寺の波状重弧文軒平瓦の文様構成は、博多出土と同様の特徴が認められ、以前筆者が類例としてあげた、河南省嵩岳寺の瓦当(張・呂1965)にくらべ類似性はたかいといえよう。

(4) まとめ

博多を中心に分布する中世の瓦について、これまでの研究成果や瓦当部拓本との比較を通して得られた結論は以下のとおりである。

国寧寺の資料は、博多出土の草花文軒丸瓦と比較する時、同範関係は認められないが、中国で酷似する文様の草花文軒丸瓦として位置づけることができる。一連の瓦類を搬入品と考えるとき、瓦窯は、消費地である寧波に供給ルートが開かれた地域に築窯されたと推定される。

博多と寧波との交流の歴史は古く、寧波は、明州や慶元とよばれた遣唐使の時代から日中交易の門戸であった。寧波市に現存する「日本国太宰府博多津居住…」にはじまる三つの宋人刻石には、寺院に礼拝するための道路の舗装費用として太宰府博多津に移り住む宋人三名が錢10貫文を喜捨するという内容が刻まれている(高倉1998)。碑文は、庶民層の華僑のささやかな功德

を示すと同時に、乾道3(1167)年という年号から「太宰府」の表記のみならず、彼らが居留したであろう博多宋人街への心象的なイメージをふくらませるのに十分な光彩を放っている。

国内に禅宗を伝えた明庵栄西は仁安3(1168)年4月に入宋し、この時明州に着岸したとある。建久5(1194)年に安国山聖福寺を建立するまでの間、建久3(1192)年には、香椎宮の側に建久報恩寺を建立している。香椎周辺では博多遺跡群と同類の瓦が報告されており(瀧本2000)、続風土記に三百六十僧房と記された西油山天福寺跡(竹岡1934)においても件の瓦当は確認されて

いる。

こうした一連の動向が瓦の搬入に作用したと考えるとき、その時期は宋人の往来がさかんになり、栄西が中心となった禅宗の導入期とも重なる12世紀の第3四半期から第4四半期が有力視される。さらに草花文軒丸瓦の分布を博多遺跡群から周辺域という時系列として捉えれば、その間における型式的な変遷を把握することもできよう。

国寧寺の資料については、瓦の技法や胎土について資料調査を実現し、日宋交易の一つの局面を明らかにしたいものである。



図1 寧波国寧寺と博多遺跡群出土の瓦当(縮尺1/6)

周氏報告の計測値は、挿図の(3/10)に従った場合整合しないため、小稿では考古学報の挿図にあわせて縮尺率を調整した。国寧寺の軒丸瓦の拓本については、天地を一部改変した。

論文・単行本

上原真人	1997	「瓦を読む」歴史発掘 ⑩			講談社
栗原和彦	1989	「福岡平野における中世瓦磚の需要について」		『生産と流通の考古学』	横山浩一先生退官記念事業会
佐藤一郎	1993	「宋代の陶磁と瓦の文様 一博多出土の軒丸瓦と黄釉鉄絵盤の花弁文をめぐって一」		『法哈嗒 第2号』	博多研究会
佐藤一郎	1994a	「博多出土の瓦製鳥吻について」		『法哈嗒 第4号』	博多研究会
佐藤一郎	1994b	「博多出土の桶巻作りの平瓦について」 『法哈嗒 第3号』		博多研究会	
高倉洋彰	1998	「寧波市現存の太宰府博多津宋人刻石について」		『福岡平野の古環境と遺跡立地』	九州大学出版会
常松幹雄	1987	「造瓦技法に関する一研究 一平瓦、軒平瓦における押圧技法の分布と展開一」		『東アジアの考古と歴史 上』	同朋社出版
常松幹雄	1993	「博多出土古瓦に関する一考察」		『法哈嗒 第1号』	博多遺跡研究会
山崎信二	2000	「中世瓦の研究」		『奈良国立文化財研究所学報第59冊』	奈良国立文化財研究所

調査報告:中国

張家泰・呂品	1965	「在嵩岳寺旧址発現的瓦片」		『文物 1965-7期』	文物出版社
周慶南	1997	「浙江寧波唐国寧寺東塔遺址発掘報告」 『考古学報 1997年第1期』		中国社会科学院考古研究所	

調査報告:福岡

荒牧宏行	2001	「吉塚遺跡群第8次調査(9981)」		『福岡市埋蔵文化財年報 VOL.14』	福岡市教育委員会
池崎讓二	1988a	「博多一高速鉄道関係調査(4)」	福岡市高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告Ⅶ	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第193集』	福岡市教育委員会
池崎讓二	1988b	「博多」	(都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅰ)	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第183集』	福岡市教育委員会
池崎讓二	1997	「博多60」	博多遺跡群8次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第543集』	福岡市教育委員会
池崎讓二・森本朝子	1983	「福岡市立歴史資料館所蔵の高野コレクション」	福岡市高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告Ⅲ	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第101集』	福岡市教育委員会
井沢洋一	1987	「博多Ⅱ」	博多遺跡群28次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第147集』	福岡市教育委員会
榎本義嗣	2000	「博多71」	博多遺跡群109次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第629集』	福岡市教育委員会
榎本義嗣	2001	「箱崎10」	箱崎遺跡群18-19次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第664集』	福岡市教育委員会
榎本義嗣	2005	「箱崎22」	箱崎遺跡群22次調査発掘調査報告(2)	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第852集』	福岡市教育委員会
大塚紀宜	2005	「博多102」	博多遺跡群142次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第848集』	福岡市教育委員会
大庭康時	1991a	「博多14」	博多遺跡群39次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第229集』	福岡市教育委員会
大庭康時	1991b	「博多21」	博多遺跡群50次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第249集』	福岡市教育委員会
大庭康時	1993	「香椎A」	博多遺跡群62次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第317集』	福岡市教育委員会
大庭康時	1995	「博多48」	博多遺跡群62次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第397集』	福岡市教育委員会
大庭康時	2002	「博多80」	御供所疎開跡地道路関係埋蔵文化財調査報告書	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第706集』	福岡市教育委員会
小畑弘己	1992	「博多27」	博多遺跡群48次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第282集』	福岡市教育委員会
折尾宇・池崎讓二	1982	「博多Ⅱ」	博多遺跡群50次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第386集』	福岡市教育委員会
加藤良彦	1987	「博多IX」	博多遺跡群30次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第149集』	福岡市教育委員会
加藤良彦	1988	「博多11」	博多遺跡群33次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第176集』	福岡市教育委員会
加藤良彦	1988	「博多12」	博多遺跡群35次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第177集』	福岡市教育委員会
加藤良彦	1995	「博多47」付編	博多遺跡群35次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第396集』	福岡市教育委員会
上角智希	2003	「博多91」	博多遺跡群130次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第762集』	福岡市教育委員会
久住猛雄	2001	「博多76」	博多遺跡群117次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第667集』	福岡市教育委員会
栗原和彦・浜田信也	1987	「箱崎遺跡」	博多遺跡群45次調査発掘調査報告	『福岡県文化財調査報告書第79集』	福岡県教育委員会
小林義彦	1991	「博多20」	博多遺跡群45次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第248集』	福岡市教育委員会
狭川真一	1988	「瓦について」	(太宰府天満宮所収)	『太宰府天満宮境内地発掘調査報告書第1集』	太宰府天満宮
佐藤一郎	1993	「博多37」	博多遺跡群65次調査発掘調査概報	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第329集』	福岡市教育委員会
佐藤一郎	1998	「博多62」	博多遺跡群90次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第557集』	福岡市教育委員会
佐藤一郎	2003	「博多88」	博多遺跡群125次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第759集』	福岡市教育委員会
佐藤一郎	2005	「箱崎23」	箱崎遺跡群26次調査発掘調査報告(2)	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第853集』	福岡市教育委員会
菅波正人	1991	「博多24」	博多遺跡群61次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第252集』	福岡市教育委員会
瀧本正志	1992	「博多28」	博多遺跡群77次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第283集』	福岡市教育委員会
瀧本正志	2000	「香椎B遺跡」	香椎住宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第621集』	福岡市教育委員会
竹岡勝也	1934	「西油山天福寺」		『史蹟名勝天然記念物調査報告書第9輯』	福岡県
田中寿夫	1990	「戸原麦尾遺跡(Ⅲ)」		『福岡市埋蔵文化財調査報告書第217集』	福岡市教育委員会
田中寿夫	1992	「箱崎3」	箱崎遺跡群5次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第273集』	福岡市教育委員会
中村啓太郎・上角智希	2004	「箱崎18」	箱崎遺跡群27次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第812集』	福岡市教育委員会
濱石哲也・菅波正人	1992	「博多31」	博多遺跡群78次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第286集』	福岡市教育委員会
濱石哲也・菅波正人	1993	「博多34」	博多遺跡群56次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第326集』	福岡市教育委員会
本田浩二郎	1998	「箱崎遺跡5」	箱崎遺跡群9次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第550集』	福岡市教育委員会
本田浩二郎	2004	「博多97」	博多遺跡群138次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第806集』	福岡市教育委員会
松村道博	1989	「博多」	(都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅳ)	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第205集』	福岡市教育委員会
山口讓治	1991	「博多16」	博多遺跡群37次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第244集』	福岡市教育委員会
山口讓治	1993	「博多36」	博多遺跡群59次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第328集』	福岡市教育委員会
吉留秀敏	1992	「博多26」	博多遺跡群46次調査発掘調査報告	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第281集』	福岡市教育委員会
力武卓治・大庭康時	1988	「博多」	(都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅱ)	『福岡市埋蔵文化財調査報告書第184集』	福岡市教育委員会

4. 教育普及活動

(1) 展 示

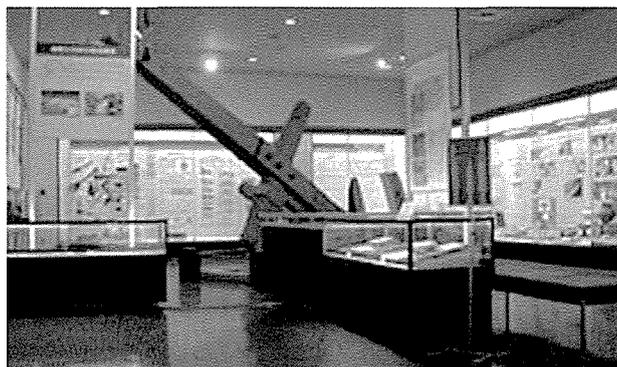
1) 常設展示

当センターでは「埋蔵文化財の保存・保護」と、本市の都市像のひとつである「海と歴史を抱いた文化都市」に則した「弥生以来の海外交易の拠点都市」を展示の主テーマとしている。

第1展示室では、埋蔵文化財の保護と保存をテーマに、発掘調査から遺物・記録類が収蔵、管理・活用されるまでの一連の流れと、木器・金属器等の科学的保存処理の過程と成果を展示している。さらに、市内の遺跡から出土した資料を用いて旧石器時代から縄文時代の説明を行っている。

第2展示室では、江戸時代に鎖国するまで日本の玄関口であり続けた本市の特徴をとりあげ、最も脚光を浴びた「奴国の時代」の弥生時代と国内最大の国際貿易港であった「中世都市博多」の時代に焦点をあて、それぞれ「奴国の拠点集落那珂・比恵遺跡」・「奴国以前」・「大型建物」・「環濠・大溝・条溝」・「墳丘墓」・「交流と交易」・「争う」・「祭る」・「装う」・「つくる」・「まかなう」と「日本の玄関・博多」・「匠」・「鴻臚館の時代」・「海外との交易」・「国内の交易」・「中世博多の情景」・「戦乱」・「たしなむ・あそぶ」の項目でテーマ展示を行っている。

第3展示室は、部門展示室として短期展示を行っており、考古学講座に合わせた企画展・発掘調査速報展・特別展などを実施している。2004年度は下表のとおり5回の展示会を実施した。



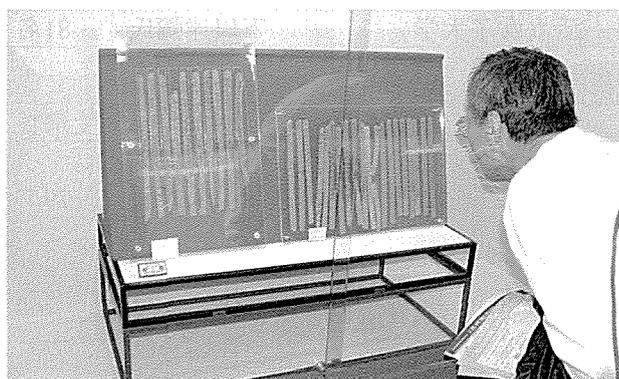
第1展示室



第2展示室

〈第3展示室展示会一覧〉

種 別	名 称	期 間
企画展	「祈りの文化史」前期（縄文～古墳時代）展	2004. 4. 23～2004. 9. 12
	「祈りの文化史」後期（古代～近世）展	2004. 11. 19～2005. 4. 10
特別展	「甦る出土遺物—平成15年度保存処理成果—」展	2004. 9. 17～2004. 11. 14
	「平成16年度市指定文化財資料」展	2005. 3. 19～2005. 3. 27
速報展	「鴻臚館跡」出土遺物展	2004. 12. 25～2005. 1. 23



「祈りの文化史—後期—」展



「甦る出土遺物—平成15年度保存処理成果—」展

2) 館外展示（出前展示）

埋蔵文化財保護行政を多くの人々に理解して頂くを目的として、当センターが主体となり公共施設の一部に出土品を展示する出前展示を始めた。

設置場所

市長応接室／市議会議長・副議長室／教育長室



資料展示状況（教育長室）

(2) 講座

考古学講座は、2004年度のテーマを「祈りの文化史」として、太古より人々が自然現象や病気などに対して畏敬や恐怖の念を抱いてささげてきた「祈りや信仰」がわが国の歴史の中で重要な役割を果たしてきたことを、発掘調査をもとに掘り下げるべく、それぞれの研究者を招いて7回の講座を開催した。

発掘調査速報講座は、本年度に発掘調査が行われた遺跡のうち重要と思われるものについて速報講演を実施しているが、本年度は紙面を賑わすような発見が少なく、大規模かつ長期調査の総括発表という形で、下月隈C遺跡、金武遺跡群、福岡城跡、鴻臚館跡、元岡桑原遺跡群と、年度末恒例の市内遺跡調査総まくりおよびインドネシア派遣調査を含めた計6回の講演を行った。

特別講座は、当センターが実施した平成15年度の保存処理業務における成果を主体とした「甦る出土遺物」と埋蔵文化財課との共催で「福岡市・釜山広域市文化財担当者交流事業報告」の2回の特別講座を実施した。



考古学講座風景（水野先生）



考古学講座風景（高倉先生）

考古学講座一覧

	年月日	講演内容	講師	受講数
第1回	H16. 5. 8(土)	歴史に見るまじないと信仰	奈良大学 水野正好氏	173名
第2回	H16. 6. 26(土)	稲作と神々	西南学院大学 高倉洋彰氏	153名
第3回	H16. 7. 17(土)	鏡・玉・剣	いのちのたび 藤丸詔八郎氏	109名
第4回	H16. 10. 16(土)	大王の祈りとまつり	佐賀大学 佐田 茂氏	86名
第5回	H16. 11. 20(土)	都びとのくらしと祈り	奈良文化財研究所 金子裕之氏	112名
第6回	H16. 12. 18(土)	中世博多のくらしと祈り	九州大学 佐伯弘次氏	72名
第7回	H17. 2. 19(土)	キリシタンの祈り	活水女子大学 下川達彌氏	81名

発掘調査速報講座一覧

	年月日	講演内容	講師	受講数
第1回	H16. 5. 29(土)	大規模調査に見る —下月隈C遺跡・金武遺跡群—	福岡市教育委員会 阿部泰之・山崎龍雄	79名
第2回	H16. 7. 3(土)	鴻臚館跡調査の歩み —発見から今日まで—	福岡市教育委員会 大庭康時	140名
第3回	H16. 9. 4(土)	中世の宮崎宮周辺を探访 —箱崎遺跡調査から—	福岡市教育委員会 佐藤一郎	97名
第4回	H16. 11. 6(土)	甦る福岡城 —福岡城復元整備調査から—	福岡市教育委員会 榎本義嗣	140名

	年月日	講演内容	講師	受講数
第5回	H17. 1. 22(土)	元岡・桑原遺跡調査10周年記念 元岡桑原地区の古代を探る	福岡市教育委員会 菅波正人	74名
第6回	H17. 3. 19(土)	平成15年度遺跡調査総まとめ —市域内の調査から— バンテン王国とブトン王国 —インドネシア派遣調査から—	福岡市教育委員会 田中壽夫 瀧本正志	71名

特別講座一覧

	年月日	講演内容	講師	受講数
第1回	H16. 9. 18(土)	甦る出土遺物 —平成15年度保存処理成果について—	福岡市教育委員会 比佐陽一郎	72名
第2回	H16. 11. 27(土)	平成16年度福岡市・釜山広域市 文化財担当者交流事業報告	福岡市教育委員会 井上繭子・星野恵美	85名



発掘調査速報講座風景



特別講座風景

(3) 教育

1) 出前授業

福岡市の教育指針では、「学ぶことに興味を持ち、未知のものを知る感動を味わい、自由な発想を持って様々な事を構想するなど、知的探求心を高めることや郷土福岡を誇りとする気持ちを育むこと」が重視されている。そこで当センターでは上記の趣旨を生かし、あわせて義務教育学校における郷土の歴史学習の充実と拡大を図るための具

体的施策として当センターより依頼のあった学校へ文化財専門家の講師を派遣し、出土考古品に直接触れる体験を授業の骨格とする「出前授業」を平成17年度から本格的に実施することとした。このため、平成16年度は教校において試験的に出前授業を実施し、本格的「出前授業」の開始に向けた教材や指導案などの向上を図った。

年月日	学校名	受講生徒数	授業名	担当者
H16. 6. 24(木)	周船寺小学校	137名	大昔の道具「石のナイフと鉄のナイフ」	瀧本・柳田
H16. 6. 30(水)	周船寺小学校	137名	大昔の暮らし「祈りとまじない」	常松・瀧本
H16. 7. 6(火)	周船寺小学校	137名	大陸とのまじわり「鴻臚館とシルクロード」	瀧本・柳田
H17. 1. 21(金)	三筑小学校	106名	大昔の暮らし「祈りとまじない」	瀧本・柳田
H17. 2. 2(水)	今津養護学校	6名	大昔の暮らし「火起こしと土器の文様」	瀧本



周船寺小学校授業風景



周船寺小学校授業風景



今津養護学校授業風景



今津養護学校授業風景

(4) 資料提供

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は大きく館内利用と館外利用（貸出）に分けられる。館内利用件数は456件で、その内訳は考古資料の閲覧・実測・撮影などが160件5,965点、記録類・

図書の閲覧が296件2,864点である。

館外利用（貸出）件数は213件で、考古資料は2,896点、記録類等は834点の利用がそれぞれあった。利用内訳は、1年以上の長期貸出が36件、博物館などの展示のための短期貸出が177件である。

館内利用

利用種別	件数	点数
考古資料	161	9,418
写真・記録類	8	82
図書	253	1,290
計	422	10,790

館外利用

貸出種別	件数	点数		
		考古資料	写真他	合計
長期貸出	36	2,094	24	2,118
短期貸出	177	802	810	1,612
計	213	2,896	834	3,730

(5) 研究会等の利用

部内および対外の当館施設利用は9件あった。

年月日	団体名	利用内容	人数
H16. 4. 11	東アジア考古学研究会	例会	20名
H16. 6. 12	西日本古瓦研究会	例会	15名
H16. 6. 12	三月の会	例会	5名
H16. 7. 11	俳句の会『円』	例会	35名
H16. 9. 18	東アジア考古学研究会	例会	20名
H16. 11. 13	国立歴史民俗博物館	研究会	71名
H16. 12. 22	鴻臚館跡調査研究指導委員会	指導委員会	39名
H17. 1. 28	福岡県教育庁文化財保護課	文化財行政担当者会議	30名
H17. 2. 15	バンテン遺跡研究会	報告会	48名

(6) 図書の閲覧

1階図書コーナーに一般から小学生向けの歴史・考古学関係の図書約470冊を揃えている。この閲覧は自由である。2階図書室では市内及び全国の発掘調査報告書と歴史・考古学専門書を主に図書約49,000冊を揃えており、253件の利用があった。

年9月28日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。

- 『見学のしおり』（展示案内パンフレット）
B4版3つ折り6ページ。入館者に無料配布。
- 『平成17年度考古学講座案内』A3版2ページ。
文化財関係機関・図書館などや入館者に無料配布。

(7) 刊行物

- 『福岡市埋蔵文化財センター年報』第23号
平成15(2003)年度 A4版36ページ。平成16

(8) 博物館実習

博物館実習生受入れの依頼をうけて、以下の要領で実習を行った。

- ①実習期間：平成16年8月17日～8月28日までの2週間
- ②実習生：13名（福岡女学院大学・九州産業大学
福岡大学・東海大学・西南学院大学・
福岡女子短期大学・筑紫女学園大学）
- ③実習内容：オリエンテーション(1日)・保存処理(1日)・
収蔵資料の活用と表現(1日)・施設見学(1日)・
グループ別実習(5日)(展示企画2班・
出前授業アイテム検討1班)

グループ別実習の展示企画班は、博多駅Fギャラリーで「中世の遊び」と「博多人形の変遷」をテーマに当センターの収蔵資料を用いて展示を行った。出前授業アイテム検討班は、火起こしの製作を行ない、活動報告会では摩擦熱による発火実験を成功することができた。

(9) 図書関係

①平成16年度図書受入状況

購入161冊(一般9・雑誌152)・受贈2,353冊(一般2,168・雑誌185)
計2,514冊(一般2,177・雑誌337)

(10) 団体見学

年月日	団体名	人数
H16. 4. 6	大阪南部老人大学18期歴史考古学科	10名
H16. 4. 16	福岡市立月隈小学校	22名
H16. 4. 20	遺跡探査会	10名
H16. 4. 23	福岡市立堤小学校	120名
H16. 5. 9	稲沢歴史を学ぶ会	29名
H16. 5. 12	西区よかところ歴史案内グループ	12名
	福岡市立春吉小学校	40名
H16. 5. 27	福岡市立吉塚小学校	61名
	福岡市立席田小学校	59名
H16. 5. 30	別府大学博物館学芸員資格取得課程生	13名
H16. 6. 6	吉井町郷土史会	18名
H16. 6. 8	油谷町郷土分科会	22名
H16. 6. 11	福岡市立西高宮小学校	145名
H16. 6. 18	福岡市立三筑小学校	108名
H16. 6. 13	福岡市立西高宮小学校	153名
H16. 6. 24	福岡市立警固小学校	23名
H16. 6. 29	福岡市立板付中学校	38名
H16. 7. 1	福岡市立板付中学校	73名
H16. 7. 2	福岡市立板付中学校	70名
H16. 7. 6	福岡市立板付中学校	38名
H16. 7. 8	福岡市立板付中学校	73名
H16. 7. 9	福岡市立板付中学校	70名

②平成16年度末蔵書数

49,077冊(購入8,470・受贈40,607)

③定期受入雑誌

一部受贈を含めて以下の35種である。

(国内発行) URC資料季報・貝塚・古代文化・季刊考古学・月刊考古学ジャーナル・古代学研究・ふるさとの歴史と自然・月刊文化財発掘情報・古代学研究所研究紀要・物質文化・考古学雑誌・古文化談叢・文化庁月報・考古学研究・古文化総論・Museum Kyusyhu・古代学研究・カノレテベイト・日本研究・信濃・文明のクロスロード・ユネスコ世界遺産・CSN西日本文化・博物館研究・みぞほ・九州考古学

(国外発行) 朝鮮考古研究・考古学報・考古・考古与文物・故宫博物院院刊・四川文物・中原文物・農業考古・文物

④横山浩一氏所蔵図書の寄贈

元福岡市博物館長の横山浩一氏より同氏所蔵図書の寄贈を受けた。

年月日	団体名	人数
H16. 8. 1	大橋温泉ディサービスセンター	20名
H16. 8. 4	Atlantic Prodakution ロケ隊	10名
H16. 8. 6	老人健康センターささおか	28名
H16. 8. 7	深江町教育委員会	29名
H16. 9. 10	老司の歴史を語ろう会	16名
H16. 9. 16	福岡市長	10名
H16. 9. 19	歴史と自然を守る会	19名
H16. 10. 23	韓国伝統文化学校	27名
H16. 11. 7	田川市奈良子供会	53名
H16. 11. 10	クラブツーリズム	22名
H16. 11. 18	福岡市立青葉小学校	47名
H16. 11. 19	福岡市立板付中学校	22名
H16. 11. 21	清寿会	16名
H16. 11. 25	フリースクールゆうゆう	9名
H16. 12. 5	三筑校区青少年育成連合会	40名
	別府大学史学科	20名
H16. 12. 11	かながわ考古学財団	22名
H17. 1. 10	平洋クラブ	9名
H17. 2. 20	大橋温泉ディサービスセンター	22名
H17. 3. 12	舞松原校区やる気事業団	16名
H17. 3. 25	別府一町内会	20名

2004年度資料貸出等一覧

件数	受付月日	申請者	区分	資料名	点数			貸出日	備考
					遺物	写真	他		
1	20040316	福岡市博物館	A	城ノ原他	1196	0	0	1196	20040401 常設展示
2	20040310	国立歴史民俗博物館	A	板付・有田・三筑	25	0	0	25	20040401 常設展示
3	20040310	大阪府立弥生文化博物館	A	今山・藤崎・有田他	24	0	0	24	20040401 常設展示
4	20040302	広島県立歴史博物館	A	博多陶磁器	6	0	0	6	20040401 常設展示
5	20040330	埼玉市歴史民俗資料館	A	藤崎58号壺	2	0	0	2	20040401 常設展示
6	20040225	新宮町教育委員会	A	石丸古川・飯氏ノウサ土器	3	0	0	3	20040401 町立歴史資料館内常設展示
7	20040608	リコーテクノシステムズ九州支社	A	比恵25次土器	3	0	0	3	20040401 ロビー常設展示
8	20040427	グランドホームサンケア和自	A	唐漆土器	6	0	0	6	20040401 ロビー常設展示
9	20040427	グランドホームサンケア和自	A	展示台	0	0	4	4	20040401 ロビー常設展示
10	20040410	粕屋町教育委員会	A	戸原菱尾六花鏡・陶磁器	44	0	0	44	20040401 町立歴史資料館内常設展示
11	20040319	菊池市教育委員会	A	博多人骨・陶磁器他	150	0	0	150	20040401 菊池神社歴史館内常設展示
12	20040319	東京国立博物館	A	鴻臚館陶磁器	23	0	0	23	20040401 平成館考古展示室常設展示
13	20040331	市立賀茂小学校	A	鶴町土器・石器	36	0	0	36	20040401 校内常設展示
14	20040331	市立馬出小学校	A	箱崎馬出土器	6	0	0	6	20040401 校内常設展示
15	20040331	市立三苫小学校	A	三苫土器・石器	69	0	0	69	20040401 校内常設展示
16	20040331	市立三苫小学校	B	写真	0	3	0	3	20040401 校内常設展示
17	20040331	市立三苫小学校	C	ケース	0	0	2	2	20040401 校内常設展示
18	20040225	市立野多目小学校	A	野多目土器	47	0	0	47	20040401 校内常設展示
19	20040518	市立名島小学校	A	蒲田・海の中道他	28	0	0	28	20040401 校内常設展示
20	20040331	市立東箱崎小学校	A	箱崎・板付他	7	0	0	7	20040401 校内常設展示
21	20030315	博多区総務部振興課	A	博多土器・陶磁器他	25	0	0	25	20040401 まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
22	20030315	博多区総務部振興課	B	博多土器・陶磁器他	0	12	0	12	20040401 まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
23	20030315	博多区総務部振興課	C	ケース	0	0	2	2	20040401 まちかど文化ひろば「えふギャラリー」展示
24	20030315	福岡市交通局	A	藤崎3次壺	4	0	0	4	20040401 藤崎駅常設展示
25	20040518	文化財整備課	A	鴻臚館跡出土陶磁器など	113	0	0	113	20040401 鴻臚館展示室
26	20040518	文化財整備課	A	金隈遺跡出土土器	61	0	0	61	20040401 金隈遺跡展示室
27	20040518	文化財整備課	A	野方遺跡出土土器	42	0	0	42	20040401 野方遺跡展示室
28	20040518	文化財整備課	A	板付遺跡出土土器	71	0	0	71	20040401 板付遺跡展示室
29	20040511	群馬県立歴史博物館	A	藤崎50号壺	2	0	0	2	20040401 館内常設展示
30	20040409	神戸市教育委員会	A	有田64次壺	3	0	0	3	20040401 埋蔵文化財センター内常設展示
31	20040611	高口箱屋ビル	A	博多126次白磁他	7	0	0	7	20040401 エントランス常設展示
32	20040518	市立板付北小学校	A	板付土器	10	0	0	10	20040401 校内常設展示
33	20040330	市立市川考古博物館	A	西新町2次12号壺	2	0	0	2	20040401 館内常設展示
34	20030326	今宿横浜地区すみよい町づくりの会	A	今山石斧・土器	18	0	0	18	20040401 自治会館内常設展示
35	20040402	古賀市教育委員会	A	藤崎2次40号壺	2	0	0	2	20040401 古賀市歴史資料館常設展示
36	20040402	古賀市教育委員会	C	土器台	0	0	1	1	20040401 古賀市歴史資料館常設展示
37	20040401	東北歴史博物館	A	有田7次弥生壺	1	0	0	1	20040401 館内常設展示
38	20040331	西南学院大学	A	羽根戸原C須恵器	20	0	0	20	20040401 博物館実習教材
39	20040331	福岡市博物館	A	藤崎・徳永他土器	10	0	0	10	20040401 博物館体験学習
40	20040402	(株)学習研究社	D	市内遺跡出土石包丁	0	0	0	0	— ニューメディア問題集「中学社会」
40	20040415	福岡市博物館	A	唐原遺跡第1次調査出土刀子	10	0	0	10	20040415 博物館学習の資料として
41	20040414	市立城原小学校	A	板付町ツツジ遺跡出土土器	5	0	0	5	20040414 6学年社会科歴史学習資料として
42	20040414	文書社	B	板付遺跡8次出土石包丁	1	0	0	1	20040420 「NHKにんげんの日本史+見解」
43	20040414	国立歴史民俗博物館	D	博多遺跡墨書陶磁器・白磁一括廃棄状況	0	0	0	0	— 「歴博」124号
44	20040423	(株)クワパロ	D	拾六町遺跡出土漆塗木製筒輪	0	0	0	0	— 「文化財の保存と修復」一科学で探る先達の知恵
45	20040423	NHK松江放送局	E	板付遺跡・有田遺跡出土弥生土器	0	0	0	0	20040426 5月15日放映予定の「サイエンスZERO」
46	20040423	埋蔵文化財センター	B	箱崎遺跡外	18	0	0	18	20040423 大学講義資料
47	20040424	埋蔵文化財センター	C	金武古墳群外	1	0	0	1	20040424 調査資料
48	20040428	小郡市教育委員会	C	日本列島の縄文期「縄文時代」	1	0	0	1	20040428 小郡市教育委員会主催の市史講座で使用
49	20040511	吉川弘文館	B	博多遺跡群出土メダリ・鏡型集合写真	2	0	0	2	20040512 「本報」第52号
50	20040515	(株)小学館	B	博多遺跡第59次出土鉄鏡写真	54	0	0	54	20040601 考古資料大観 第10巻「弥生・古墳時代 遺跡・遺構」
51	20040518	(財)放送大学教育振興会	D	鴻臚館跡・博多遺跡35次・14次出土土器	0	0	0	0	— 教材「東アジアのなかの日本文化」
52	20040521	埋蔵文化財センター	B	井尻B遺跡外	22	0	0	22	20040521 大学講義資料
53	20040525	文化財整備課	B	箱崎遺跡外	25	0	0	25	20040525 講座資料
54	20040525	(株)クワパロ	B	雀屋遺跡出土土器集合写真	1	0	0	1	20040527 「科学が解き明かす古代の歴史」
55	20040527	(財)仙台市民文化事業団	B	東入部遺跡第2次壺形蓋127号銅鏡	3	0	0	3	20040601 「石と鉄の考古学 石器の終わり」と鉄鏡の始まり
56	20040527	(財)仙台市民文化事業団	A	比恵遺跡第51次出土土器造形群	37	0	0	37	20040615 「石と鉄の考古学 石器の終わり」と鉄鏡の始まり
57	20040528	文化財整備課	A	京ノ原遺跡出土品	13	0	0	13	20040624 平成16年度第1回文化財保護審議会の説明資料
58	20040528	埋蔵文化財センター	B	野多目遺跡外	8	0	0	8	20040528 大学講義資料
59	20040529	埋蔵文化財センター	D	飯塚D遺跡・井尻B遺跡遺物出土状況写	0	0	0	0	— 清水康二編「鏡の研究」
60	20040601	京都造形大学芸術学部	A	博多遺跡第60次出土銅鏡	14	0	0	14	20040620 「日本中世における同族の金属生産とその流通に関する研究」
61	20040602	文化財整備課	B	京ノ原遺跡	16	0	0	16	20040602 文化財保護審議会資料
62	20040604	埋蔵文化財センター	B	板付遺跡外	22	0	0	22	20040604 大学講義資料
63	20040605	佐賀県立古唐城博物館	A	名古屋城跡出土横文軒丸瓦など	10	0	0	10	20040715 「九州の城—大名のまちづくり」展
64	20040605	佐賀県立古唐城博物館	B	博多遺跡群第68次調査井尻SE04金貨	1	0	0	1	20040608 平成16年度テーマ展「九州の城—大名のまちづくり」
65	20040609	福岡市博物館	B	井尻B遺跡第3次調査出土軒丸瓦	1	0	0	1	20040623 「秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の王たち—」
66	20040609	福岡市博物館	A	井尻B遺跡第3次調査出土軒丸瓦	1	0	0	1	20040623 「秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の王たち—」
67	20040609	前原市教育委員会・伊都歴史資料館	B	野方中原遺跡出土土器	12	0	0	12	20040707 「楽浪交流展」
68	20040609	前原市教育委員会・伊都歴史資料館	A	野方中原遺跡出土土器	14	0	0	14	20041001 「楽浪交流展」
69	20040611	埋蔵文化財センター	B	鉾崎古墳外	20	0	0	20	20040611 大学講義資料
70	20040618	(株)新学社・(有)新創社	B	板付遺跡板付	1	0	0	1	20040627 「フジ版歴史資料集」
71	20040622	(株)学習研究社	D	板付遺跡出土石包丁	0	0	0	0	— 中学校会年表ワーク
72	20040622	大坂歴史博物館・北九州市立自然史・歴史博物館	A	三宅庵寺出土遺物・那珂遺跡出土遺物	11	0	0	11	20041010 「古代都市歴史—飛鳥時代の仏教と国づくり—」
73	20040619	福岡市博物館	A	吉武古墳群S部9号墳出土遺物	42	0	0	42	20040623 「元岡の歴史—2ヶ元古墳群を中心にして—」
74	20040625	大阪府立弥生文化博物館	E	那珂八幡古墳出土三角縁神鏡など	0	0	0	0	20040707 「3・4世紀の倭人社会(仮称)」
75	20040704	埋蔵文化財センター	C	名島城跡外	24	0	0	24	20040704 調査資料
76	20040706	大阪府立弥生文化博物館	A	藤崎遺跡第6号方形溝出土三角縁神鏡など	55	0	0	55	20040914 「3・4世紀の倭人社会(仮称)」
77	20040716	鴻臚館跡	B	鴻臚館跡	1	0	0	1	20040716 資料貸出し(吉川弘文館)
78	20040716	鴻臚館跡	B	鴻臚館跡	1	0	0	1	20040716 資料貸出し(大坂弘生博)
79	20040629	太宰府市史編集委員会	B	比恵遺跡第13次調査遺物など	2	0	0	2	20040701 「太宰府市史」通史編
80	20040630	大分市美術館	A	博多遺跡第111次調査出土メダリなど	1	0	0	1	20040801 「ザビエル・宗臨・キリスト教 南蛮文化の精華」展
81	20040630	大分市美術館	B	博多遺跡第111次調査出土メダリなど	2	0	0	2	20040707 「ザビエル・宗臨・キリスト教 南蛮文化の精華」展
82	20040702	(株)学習研究社	D	板付遺跡出土石包丁	0	0	0	0	— ソノオ・スゴ
83	20040706	NHK仙台放送局	E	博多遺跡出土白磁壺	0	0	0	0	20040701 テレビ番組「奥州藤原氏」
84	20040714	(株)雄山閣	D	雀屋遺跡出土夜臼式壺・板付式壺	0	0	0	0	— 「聖刊考古学」第88号
85	20040714	竹大和男	D	博多遺跡第1072号土壺出土土書習字	0	0	0	0	— 「小さな壺」9号「金林堂の壺」
86	20040714	(株)学生社	D	拾六町ツツジ遺跡出土ヘラ木製品	0	0	0	0	— 「考古学の世界」
87	20040722	大分県歴史資料館	A	今宿五郎江遺跡第2次出土小銅鏡など	3	0	0	3	20041015 「古の響き—時代を彩った楽器—」
88	20040727	(有)海鳥社	B	博多遺跡出土墨書磁器	2	0	0	2	20040717 読売新聞西武本社編「博多商人」
89	20040723	(株)小学館	B	鉾崎古墳石室遺物	1	0	0	1	20040727 「考古資料大観 第10巻 弥生・古墳時代 遺跡・遺構」
90	20040722	大阪府立弥生文化博物館	B	藤崎遺跡第3次調査遺物6号方形溝溝蓋遺品	2	0	0	2	20040727 平成16年度夏季特別展「3・4世紀の倭人社会(仮称)」
91	20040723	Atlantic Productions	E	光学機器室分析風景・収蔵庫など	0	0	0	0	20040804 テレビ番組「蒙古襲来」
92	20040707	九州大学大学院	B	箱崎遺跡第18次調査写真など	6	0	0	6	20040707 「中世都市研究」第9号
93	20040728	国立歴史民俗博物館	B	博多遺跡瓦式住居跡遺物など	5	0	0	5	20040729 「歴博」126号
94	20040711	春日市奴国の丘歴史資料館	B	赤穂ノ浦遺跡銅鐸など	12	0	0	12	20040728 「大奴国展」
95	20040711	春日市奴国の丘歴史資料館	A	赤穂ノ浦遺跡銅鐸など	21	0	0	21	20041024 「大奴国展」
96	20040730	九州国立博物館設立準備室	B	卯内尺古墳後方部瓦葺遺物	5	0	0	5	20040730 西日本新聞連載企画「いにしへの旅」
97	20040804	(株)学習研究社	D	板付遺跡石包丁・石斧	0	0	0	0	— 小学生向け学習教材
98	20040728	文化財整備課	B	金隈遺跡発掘調査遺品ほか	6	0	0	6	20040807 小学館「金隈遺跡」のリーフレット
99	20040803	下関市立考古博物館	B	大原D遺跡瓦式住居など	10	0	0	10	20040806 「定住のはじまり—1万年前の社会—」展
100	20040803	下関市立考古博物館	A	柏原遺跡群E遺跡弥生土器など	17	0	0	17	200409中甸 「定住のはじまり—1万年前の社会—」展
101	20040804	下関市立考古博物館	D	柏原遺跡群E遺跡弥生土器など	0	0	0	0	— 「定住のはじまり—1万年前の社会—」展
102	20040812	飯塚市歴史資料館	A	雀屋遺跡土製短甲製土器	1	0	0	1	20040928 「甲冑—一人のいたち—」展
103	20040813	(有)海鳥社	D	博多遺跡第62次「大綱」墨書磁器	1	0	0	1	20040813 読売新聞西武本社編「博多商人」
104	20040813	(有)海鳥社	B	博多遺跡第17次調査sk22出土状況	1	0	0	1	20040813 読売新聞西武本社編「博多商人」
105	20040813	国立歴史民俗博物館	D	雀屋遺跡出土土器集合写真	0	0	0	0	— 「弥生農耕の起源と東アジア—農業年代測定による高精度年代体系の構築—」
106	20040814	大坂歴史博物館・北九州市立自然史・歴史博物館	B	非A席第8次調査風景鳥獣写真	1	0	0	1	20040817 特別展「古代都市誕生—飛鳥時代の仏教と国づくり—」

件数	受付月日	申請者	区分	資料名	点数				貸出日	備考
					遺物	写真	他	計		
107	20040814	テレビ西日本	E	特別収蔵庫内資料				0	—	TVニュース「TNCスーパーニュース」
108	20040820	福岡市老公民館	C	手回しロクロ回転台			10	10	20040824	公民館主催事業(陸芸体験)
109	20040824	福岡市博物館	A	博多遺跡第1111次出土メダイなど	9			9	20040907	戦国時代の博多展6〜キリシタンの世紀〜
110	20040824	福岡市博物館	B	博多遺跡第1111次出土メダイ類型など		2		2	20040826	戦国時代の博多展6〜キリシタンの世紀〜
111	20040818	(株)岩波書店	D	今宿五郎江津路第4次大工製小玉など				0	—	大野晋氏「弥生文明と南インド」
112	20040824	東京法令出版(株)	D	雀居遺跡-橋本一丁田遺跡出土土器				0	—	「朝顔ビジュアル日本史」高校生向け教科書副読本
113	20040824	東京法令出版(株)	B	藤崎遺跡第13次遺跡-拾六ツヅ遺跡		2		2	20040824	「朝顔ビジュアル日本史」高校生向け教科書副読本
114	20040824	春日市奴国の丘歴史資料館	B	板付遺跡風景-雑納遺跡石刻・石鏡		2		2	20040827	「大奴国展」
115	20040824	春日市奴国の丘歴史資料館	A	雑納遺跡第15次調査3号木棺蓋石刻など	11			11	20041025	「大奴国展」
116	20040825	第19回国民文化祭春日実行委員会	B	板付遺跡出土遺物鳥取等		9		9	20040825	シボゾウム邪馬台国の時代「奴国」
117	20040825	第19回国民文化祭春日実行委員会	D	那珂八幡古墳出土三角縁五神四獣鏡				0	—	シボゾウム邪馬台国の時代「奴国」
118	20040826	片岡安二	B	西新遺跡第10次ST017など		3		3	20040826	福岡女学院大学刊「(仮題)博多文化学」
119	20040826	片岡安二	E	諸岡遺跡朝鮮系無文土器				0	20040826	福岡女学院大学刊「(仮題)博多文化学」
120	20040826	片岡安二	D	田村遺跡縄文土器				0	—	福岡女学院大学刊「(仮題)博多文化学」
121	20040826	(株)平凡社	B	板付遺跡初期水田発掘作業風景	1			1	20040826	日本歴史地名体系-第41巻「福岡県の地名」
122	20040902	埋蔵文化財研究会	A	博多遺跡第30次調査弥生土器類など	43			43	20040903	第53回埋蔵文化財研究会集「弥生中期土器の併行関係」
123	20040903	大分市歴史資料館	B	板付遺跡小銅鏡		4		4	20040905	特別展「吉の響き-時代を彩った楽器-」
124	20040831	(株)東邦インテック	D	鴻巣館遺跡陶磁器-城ノ原遺跡朱彩塗				0	—	改訂版「日本の考古ガイドブック」
125	20040914	(株)新学社・(有)新創社	B	博多遺跡第40次発掘				1	20040914	(株)新学社発行の「ワイド版歴史資料集」
126	20040915	山口県埋蔵文化財センター	D	橋本一丁田遺跡出土土器				0	—	「古文化叢書」52巻
127	20040911	(株)文芸春秋	B	雑納遺跡第15次調査15号木棺蓋石刻など		1		1	20040916	「社会科作業帳6年」
128	20040909	佐賀県立名古居城博物館	A	井原B遺跡第3次調査出土百五系新丸瓦	9			9	20041022	「陸奥の栄光の百済-一統軍王とその時代-」
129	20040916	(財)松山市生涯学習振興財団	A	吉武遺跡-比恵遺跡-那珂河君休遺跡	4			4	20040927	平成16年度特別展「首長の大型建築物をみる」
130	20040916	(財)松山市生涯学習振興財団	B	比恵遺跡-那珂河君休遺跡		2		2	20040916	平成16年度特別展「首長の大型建築物をみる」
131	20040916	(財)松山市生涯学習振興財団	D	吉武遺跡想定模型				0	—	平成16年度特別展「首長の大型建築物をみる」
132	20040918	(株)アイジーピー	B	板付遺跡		8		8	20040921	中学社会歴史ビデオ教材「日本の歴史」
133	20040914	福岡市博物館	A	老古墳出土銅鏡2面	1			1	20040920	代替資料として
134	20040924	(有)東邦プランニング	D	拾六町ツヅ遺跡-那珂河君休遺跡など				0	—	(株)新学社刊行「社会科資料集 6年生」
135	20040928	大坂書籍(株)	D	板付遺跡水田跡				0	—	「中学校社会 歴史的分野」
136	20040928	(株)小学館	B	板付遺跡復元集落鳥取写真	45			45	20040930	「考古資料大観 第10巻 弥生・古墳時代 遺構・遺跡」
137	20040928	(株)小学館	C	福岡市発掘調査報告書			3	3	20040930	「考古資料大観 第10巻 弥生・古墳時代 遺構・遺跡」
138	20040928	(株)小学館	D	博多遺跡出土鉄鍬つづり輪郭口				0	—	「考古資料大観 第10巻 弥生・古墳時代 遺跡・遺構」
139	20040929	大坂歴史博物館 北九州市立自然・歴史博物館	A	鴻巣館跡出土土器磁器瓦葺きなど	16			16	20041008	「古代都市誕生-飛鳥時代の仏教伝と国づくり-」
140	20040930	国立歴史民俗博物館	A	柏原遺跡出土土器	85			85	20041112	「弥生農耕の起源と東アジア」における年代測定研究の一環
141	20041006	文化財整備課	B	福岡城赤坂門跡		1		1	20041006	講座資料
142	20041001	(株)岩波書店	D	宮ノ前遺跡出土土器当て具				0	—	大野晋氏著「弥生文明と南インド」
143	20041002	(有)ヴェー企画	B	丸隈山古墳石室		1		1	20041002	ビデオ「古代の日本」の解説冊子「遺跡めぐりガイド」
144	20041002	国立歴史民俗博物館	A	博多遺跡出土銭貨銅鏡ほか	2			2	20041006	展示資料の収集
145	20090930	埋蔵文化財センター	B	四箇遺跡		39		39	20040930	大学講義資料
146	20041007	市長室市長秘書	A	西新町遺跡出土土器ほか	4			4	20041007	市長応接室に展示
147	20041008	埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ			1	1	20041008	撮影
148	20041015	埋蔵文化財センター	B	板付遺跡外	21			21	20041015	大学講義資料
149	20041022	埋蔵文化財センター	B	吉武高木遺跡外	46			46	20041022	大学講義資料
150	20041029	埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ			1	1	20041029	大学講義資料
151	20041102	福岡市博物館	A	天神森遺跡出土板付式土器ほか	32			32	20041109	「弥生時代はいつ始まったか-考古学と年代測定-」展
152	20041102	福岡市博物館	B	板付遺跡環濠写真ほか	4			4	20041109	「弥生時代はいつ始まったか-考古学と年代測定-」展
153	20041105	埋蔵文化財センター	B	鍋崎古墳外		39		39	20041105	大学講義資料
154	20041112	埋蔵文化財センター	B	比恵遺跡外		44		44	20041112	大学講義資料
155	20041116	文化庁	A	板付遺跡出土土器外(借用期間延長)	20			20	—	「日本の考古-曙光の時代-」
156	20041112	朝日新聞東京本社研究本部	D	雀居遺跡出土土器ほか				0	—	河合信和氏著「朝日総研レポートAIR21」
157	20041118	埋蔵文化財センター	B	大原遺跡外		23		23	20041118	大学講義資料
158	20041120	経済振興局集客交流部	A	瓜石古墳群出土台付長頸壺ほか	25			25	20041119	第59回国際青年会議所世界会議福岡大会会場にて使用
159	20041130	日本シネセル(株)	E	有田遺跡出土土器ほか				0	20041122	「探検!身近な放射線(仮題)」
160	20041130	マクローツク エンカルタ 総合大百科 2006年版〜2010年版	D	全環遺跡の壘形墓				0	—	「マクローツク エンカルタ 総合大百科 2006年版〜2010年版」
161	20041112	瀬戸市歴史民俗博物館	B	博多遺跡出土板付写真ほか		3		3	20041201	「瀬戸の歩み」における解説パネル等
162	20041130	福岡市教育委員会	A	比恵遺跡出土丹塗/磨研袋状口縁壺ほか	2			2	20041201	教育長室に展示
163	20041026	(有)大洋出版社	B	吉武高木遺跡木棺墓全景写真		1		1	20041027	「地上の星塵」
164	20041203	埋蔵文化財センター	B	博多遺跡外	18			18	20041203	大学講義資料
165	20041204	埋蔵文化財センター	B	下月隈C遺跡	11			11	20041204	講座資料
166	20041210	埋蔵文化財センター	B	築港線外	45			45	20041210	大学講義資料
167	20041210	埋蔵文化財センター	B	埋文センター-遺物		1		1	20041210	教育要覧
168	20041210	鴻巣館跡	A	銅鏡	1			1	20041210	指導委員会資料
169	20041210	朝日新聞東京本社編集局	D	拾六町ツヅ遺跡出土ヘラ状木製品				0	—	森浩一著作「日記の考古学」
170	20041211	日本シネセル(株)	D	雀居遺跡出土土器				0	—	ビデオ「探検!身近な放射線(仮題)」
171	20041214	(有)海鳥社	B	板付遺跡出土土器ほか	7			7	20041215	佐藤伸雄著「酒と器」
172	20041214	(有)海鳥社	D	板付遺跡出土土器ほか				0	—	佐藤伸雄著「酒と器」
173	20041214	(株)雄山閣	B	鍋崎古墳石室発掘写真	1			1	20041218	佐藤伸雄著「酒と器」
174	20041215	別府大学文化財研究所	A	香椎B遺跡出土木札ほか	9			9	20040427	大学における教材研究に使用
175	20041216	埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ			1	1	20041216	大学講義資料
176	20041217	埋蔵文化財センター	B	元寇防壁	2			2	20041217	大学講義資料
177	20041217	国立歴史民俗博物館	B	博多鳥取写真ほか	5			5	20041217	「東アジア中世海道-海商・港・沈没船-」
178	20041215	国立歴史民俗博物館	E	博多遺跡出土青白磁人形ほか				0	20041217	「東アジア中世海道-海商・港・沈没船-」
179	20041221	埋蔵文化財センター	B	よみがえる中世博多		1		1	20041221	大学講義資料
180	20041221	佐賀県立博物館	A	橋本一丁田出土土器外	26			26	20050124	「くらしを映す土器 - 古代の木工 -」
181	20041221	佐賀県立博物館	B	雀居遺跡土器出土状況		4		4	20051222	「くらしを映す土器 - 古代の木工 -」
182	20050114	埋蔵文化財センター	A	三宅宗寺軒瓦	3			3	20050114	研究会
183	20050114	埋蔵文化財センター	A	元岡遺跡	50			50	20050114	研究会
184	20050115	(株)学習研究社	D	比恵遺跡出土土器				0	—	「日本の成り立ち」②
185	20050120	国立歴史民俗博物館・大坂歴史博物館他	A	博多遺跡群第40次出土銅鏡ほか	152			152	20050301	企画展示「東アジア中世海道-海商・港・沈没船-」
186	20050126	(株)学習研究社	B	城ノ原遺跡出土土器		1		1	20050127	出版物「新やまの基礎知識」
187	20050129	(株)小学館	D	板付遺跡出土土器集合写真ほか				0	—	「曙光-ドーンに開かれた日本考古展」
188	20050129	仙台市富沢遺跡	E	鴻巣館跡調査出土資料など				0	20050205	17年度企画展示「グルムの考古学」
189	20041204	埋蔵文化財センター	B	吉武遺跡群第9次	32			32	20050129	報告書作成
190	20050205	(株)プランデット	D	金原遺跡				0	20050215	「大学受験講座 センター実演練習パック」8月号
191	20050204	九州大学大学院人文学科研究部	D	老古墳出土銅片ほか				0	—	「史跡」第142号「破鏡の伝説と銅片-穿孔事例の観察から-」
192	20050218	議会事務局	A	鴻巣館跡出土青磁又耳壺など	2			2	20050218	議長・副議長室に展示
193	20050105	文化財整備課長	A	京の隠れ埋出土品		24		24	20050201	第59回国際青年会議所世界会議福岡大会会場にて使用
194	20050301	ふるさと歴史再発見調査事業	B	板付遺跡水田跡など	3			3	20050301	福岡県ホームページ制作事業「ふるさと再発見」
195	20050203	埋蔵文化財センター	C	ビデオカメラ			1	1	20050203	大学における教材研究に使用
196	20050219	八女市教育委員会	A	博多遺跡117次出土鉄製刀子		1		1	20050222	企画展「鉄から鉄器へ」
197	20050219	八女市教育委員会	B	保存処理作業状況		6		6	20050222	企画展「鉄から鉄器へ」の説明パネルおよび印刷物
198	20050303	文化財整備課長	A	京の隠れ埋出土品	24			24	20050316	平成16年度福岡市新指定文化財および文化財展
199	20050303	文化財整備課	B	老古墳遺跡		47		47	20050303	企画展
200	20050308	(株)岩波書店	D	板付遺跡G-5区井戸				0	—	「報告伝来」先日本史を復元する④-弥生時代のくらしと文化
201	20050308	凸版印刷(株)西日本事業本部	B	丸隈山古墳石室ほか	2			2	20050308	福岡県ホームページ制作事業「ふるさと再発見」
202	20050310	(株)岩波書店	D	比恵遺跡第6次調査出土土器ほか				0	—	雑誌「先史日本を復元する」4「報告伝来」
203	20050304	国立歴史民俗博物館	D	隠兵遺跡3次調査出土土器付層状物				0	—	弥生農耕の起源と東アジア-炭素年代測定による高精度年表の構築-
204	20050316	NHKエデュケーション	D	板付遺跡出土土器類ほか				0	—	日本史「弥生時代-稲作・金属器と小国家」
205	20050318	読売新聞東京本社	D	雀居遺跡12次調査出土土器	1			1	20050319	親子でわかる図解シリーズ「縄文vs弥生」
206	20050324	大規模事業担当	C	藤崎遺跡第32次調査			2	2	20050324	図面整理追加
207	20050325	根津美術館	A	博多遺跡42次出土茶入れほか	14			14	20050402	春期特別展「唐物茶入と鑑賞の茶入」
208	20050325	根津美術館	B	博多遺跡42次出土茶入れほか		3		3	20050330	春期特別展「唐物茶入と鑑賞の茶入」
209	20050319	福岡市博物館	A	大原D遺跡第3次調査出土深鉢ほか	5			5	20050323	「港湾都市-今津-」
210	20050319	福岡市博物館	B	大原E古墳ほか	2			2	20050323	「港湾都市-今津-」
211	20050329	コムゼット	B	東光寺遺跡古墳石室写真ほか	6			6	20050402	平凡社刊「別冊太陽」「古代九州」号
212										

5. 入館者数

(1) 年報用入館者数報告（年度末使用）

区分 (日)		4月 26	5月 26	6月 26	7月 27	8月 26	9月 26	10月 27	11月 25	12月 23	1月 23	2月 24	3月 27	合計(人) 306	比率(%)
個人	一般	129	138	168	155	154	131	129	207	169	151	369	580	2,480	0.7%
	男	48	76	90	81	81	45	64	67	51	46	74	100	823	21.8%
	女	177	214	258	236	235	176	193	274	220	197	443	680	3,303	87.4%
	小学生	17	18	2	17	44	7	7	7	2	4	1	5	131	3.5%
	中学生	13	6	0	3	13	1	2	2	0	0	3	0	43	1.1%
	高校生	1	4	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4	13	0.3%
	大学生	12	12	11	6	34	48	25	38	19	10	7	16	238	6.3%
	その他	6	6	7	4	8	3	4	2	5	3	3	2	53	1.4%
	小計	49	46	20	30	99	61	39	49	26	18	14	27	478	12.6%
	合計(a)	226	260	278	266	334	237	232	323	246	215	457	707	3,781	100.0%
団体	一般	50	278	192	331	97	213	156	307	173	104	158	107	2,166	64.4%
	(団体数)	4	4	5	6	4	4	3	8	4	2	4	3	51	
	小学生	272	160	276	0	0	0	0	47	0	9	0	0	764	22.7%
	(団体数)	3	2	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	10	
	中学生	0	0	38	324	0	0	0	22	0	0	0	0	384	11.4%
	(団体数)	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0	0	0	7	
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学生	0	0	0	0	0	21	0	0	26	0	0	0	47	1.4%
	(団体数)	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	4	
合計(b)	322	438	506	655	97	234	156	376	199	113	158	107	3,361	100.0%	
(団体数計)	7	6	9	11	4	6	3	10	6	3	4	3	72		
総計(a+b)	548	698	784	921	431	471	388	699	445	328	615	814	7,142		

(2) 個人入館者年齢区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	40	29	7	26	67	13	14	13	7	6	7	11	240	6.4%
20～29才	19	31	31	44	50	66	62	59	36	43	99	147	687	18.2%
30～39才	31	42	59	77	74	73	75	131	82	73	153	258	1,128	29.8%
40～49才	76	76	104	57	90	50	34	60	70	55	84	141	897	23.7%
50～59才	37	51	47	23	35	19	27	35	32	23	89	125	543	14.4%
60～69才	18	22	23	29	16	13	14	17	16	10	22	21	221	5.8%
70～79才	5	9	5	10	2	2	6	8	3	4	3	4	61	1.6%
80才以上	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4	0.1%
計	226	260	278	266	334	237	232	323	246	215	457	707	3,781	100.0%

(3) 個人入館者住所区分

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
福岡市	129	125	130	92	195	140	108	184	117	124	256	385	1,985	52.5%
福岡県内	62	89	103	131	74	54	62	72	78	66	160	273	1,224	32.4%
県外	35	46	45	42	59	40	62	59	50	23	40	40	541	14.3%
国外	0	0	0	1	6	3	0	8	1	2	1	9	31	0.8%
計	226	260	278	266	334	237	232	323	246	215	457	707	3,781	100.0%

6. 平成16年度当初予算

(1) 歳入

2,531千円（国補助金2,000千円、使用料及び手数料166千円、諸収入365千円）

(2) 歳出

99,994千円（管理運営費79,315千円、事業費20,679千円）

Ⅱ 埋蔵文化財センターの概要

1. 組織と職員

(1) 福岡市文化財行政の組織

教育委員会－教育長－教育次長－文化財部長

文化財整備課	管理係	部の総括、予算・決算、庶務・経理、文化施設の管理
	整備係	文化財の指定、史跡の保存・整備
課長	主査	鴻臚館跡の調査担当
埋蔵文化財課	調査第1係	課の庶務、南・城南・早良・西区に係る埋蔵文化財の発掘調査
	調査第2係	国庫補助事業及び中央・博多・東区に係る埋蔵文化財の発掘調査
	事前審査係	公共及び民間開発事業の埋蔵文化財に係る事前審査
課長	主査	大規模事業等担当
埋蔵文化財センター	管理係	施設の管理運営、考古学的資料の収集・保存・展示

(2) 埋蔵文化財センターの職員（平成16年度）

所長 二宮 忠司	運営係長 内田 寿生	文化財主事 瀧本 正志	嘱託 片多 雅樹 (保存処理指導員) 柳田 純孝 (専門調査員)
		文化財主事 比佐陽一郎	
	主任文化財主事 常松 幹雄	事務吏員 矢野 昌治	

2. 施設

(1) 施設の概要

当センターは敷地面積4,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建（建設面積1,015㎡、延床面積1,992㎡）の規模で昭和57年2月開館した。その後、昭和61年3月に収蔵庫を主とした増築（建設面積1,000㎡、延床面積1,994㎡）を行った。さらに平成9年度から大規模な増築・改造を実施し、平成11年4月にリニューアルオープンの運びとなった。

(2) 地震被害

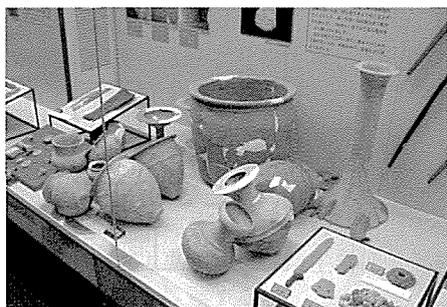
福岡県西方沖地震における被害は展示室の展示土器および収蔵庫の甕棺が中心で、本震の平成17年3月20日(日)では58点、4月20日(水)の余震では14点の土器が転倒による自損で壊れた。収蔵棚からのコンテナの飛び出し落下が認められなかったのは、各棚に取り付けてあった落下防止安全装置が効果を示したものである。



金隈遺跡展示館



センター収蔵庫



センター第2展示室

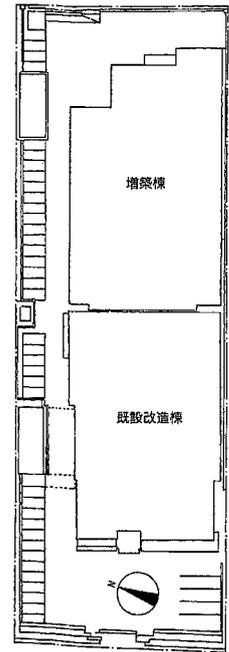


センター収蔵庫

(2) 主な施設

施設区分	室名	床面積(m ²)
教育普及	第1展示室	167.00
	第2展示室	127.00
	第3展示室	61.00
	研修室	140.00
	図書室・図書コーナー	181.00
	貸出準備室	85.00
	資料閲覧室	58.00
収蔵	収蔵庫	5,601.00
	特別収蔵庫	547.00
	記録類収蔵庫	192.00
	荷解・搬入室	65.00
	消毒室	23.00

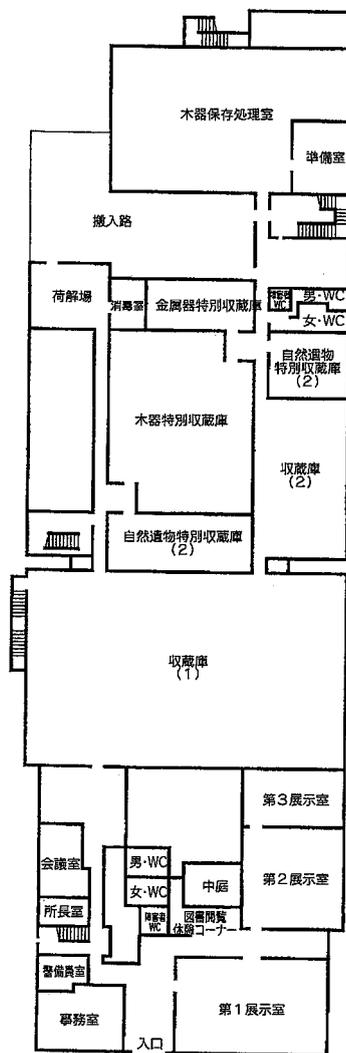
施設区分	室名	床面積(m ²)
保存処理	木器保存処理室	426.00
	金属器処理室	156.00
	分析室	154.00
資料整理	洗浄室	37.00
	資料整理室	235.00
	写場・暗室	63.00
管 理	倉庫	58.00
	事務・会議室等	140.00
	警備・機械室等	258.00
	通路・エレベーター等	1,434.00
その他	疵・トラックヤード等	505.00
計		10,713.00



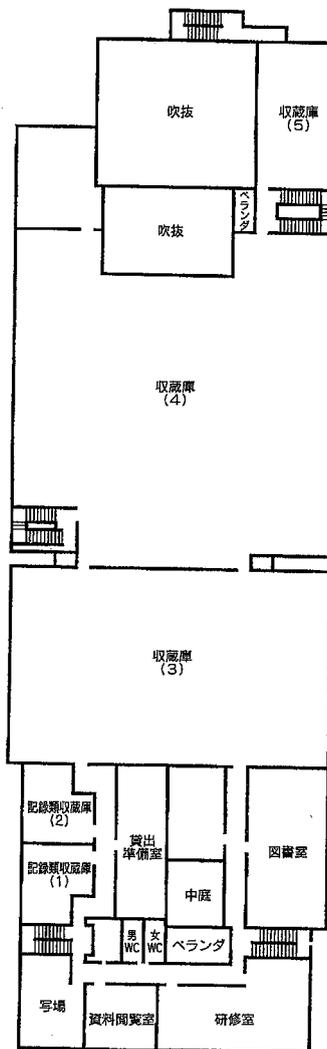
建物配置図 ▶

正面入口

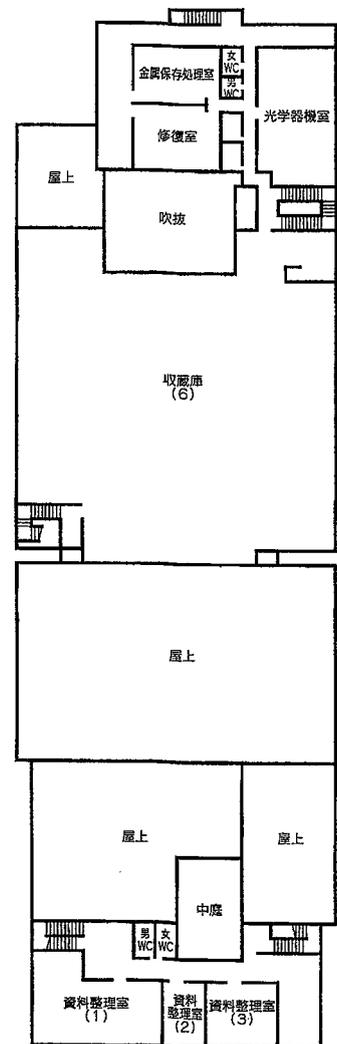
▼ 施設平面図



{1階}



{2階}



{3階}

付1 福岡市埋蔵文化財センター条例等

福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日
条例第66条)

(設置)

第1条 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田2丁目に設置する。

(事業)

第2条 センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センター設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

第3条 センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号いずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

(2) センターの管理上支障があると認められる者(資料の貸出し)

第5条 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

第6条 資料の観覧者または貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、センターの管理に必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、交付の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定めた日から施行する。

(昭和57年規則第3号により
昭和57年2月22日から施行)

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和56年1月25日
教育委員会規則第4号)

改正 昭和61年一教規則2、平成4一教規則7、
平成4一教規則3

(趣旨)

第1条 この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の事業を行うため、センターに管理係を置く。

(職員)

第3条 センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

3 所長、係長、主任文化財主事、文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

4 係長又は主任文化財主事のうちから統括係長を命ずることができる。

5 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係りの事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6 主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

(職務権限の代行)

第4条 所長に事故がある場合、又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係りに属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化財部長が行う。

(開館時間)

第5条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合は、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 センターの休館日は次のとおりとする。ただし、教育長は、必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

第7条 センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し又は火

気を使用しないこと。

(2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 所定の場所以外に立ち入らないこと。

(6) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出)

第8条 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育長に提出

しなければならない。

(寄贈等)

第9条 センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員長に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委任)

第10条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和37年2月22日から施行する。

保存処理設備機器の外部使用許可基準

1. 基本的使用許可基準

外部に対する保存処理設備機器の使用許可に際しては、下記要件を満たすものであることを原則とする。

(1) 本市の保存処理業務に支障をきたすおそれがないこと。

(2) 文化財保護の観点から重要性があり、本市の文化財保護行政に寄与するものであること。

2. その他の許可基準

(1) 使用は、センター職員の指導・助言のもと、原則として外部担当職員が行うものとする。

(2) 使用に際して必要となる原材料・作業員等は使用者側(外部)の負担とする。

(3) 一括委託等請負的な処理は許可しないこととする。

(4) 民間業者等営利を目的とする団体からの依頼については許可しないこととする。

(5) 緊急性のある場合や特殊なものを除いて、通常の保存処理については受け付けないものとする。

(6) 使用に際しては、事前にセンター職員と協議のうえ申請書を提出し、許可を得ることを必要とする。

(7) 使用にあたってはセンター職員の指示に従うこと。また指示以外の行為により機器を破損した場

合は、使用者側の責任において原状回復すること。

3. 対象機器一覧

本基準を適用する保存処理機器は、別紙一覧表の通りとする。

4. 許可基準の理由(略)

本基準は平成12(2000)年3月1日より施行する。

(別紙) *主な保存処理機器の品名のみを列記

大型PEG含浸槽、一体型PEG含浸槽、真空凍結乾燥機、小型真空凍結乾燥機、有機遺物処理装置、減圧含浸装置、工業用電子天秤、偏光顕微鏡、実体顕微鏡、ビデオマイクロスコープ、赤外線カメラ、画像ファイリング装置、分析用電子天秤、赤外線分水計、大型滑走式マイクロトム、蛍光X線分析装置、微小部蛍光X線分析装置、X線回析装置、走査電子顕微鏡、顕微赤外分光光度計、透過X線撮影装置、分析用試料作成装置、マグネチックスターラー、ドラフトチャンバー、精密噴射加工機(エアブラシ)、精密グラインダー、送風定温乾燥機、大型送風定温乾燥機、真空乾燥機、卓上電気炉、純水製造装置、超音波洗浄機、真空デシケーター、攪拌機、真空脱泡用デシケーター、シーラー、バキュームシーラー、ホットエアガン

埋蔵文化財センターにおける有料複写サービス取り扱い要項

(目的)

第1 この要領は、教育委員会文化財部埋蔵文化財センターにおいて、埋蔵文化財センター図書室所蔵の発掘調査報告書等行政資料のサービスを行う際の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(複写サービスの申し込み)

第2 複写サービスの申し込みは、口頭で受けるものとする。

(複写手数料)

第3 複写サービスについては、福岡市手数料条例(昭和35年条例第11号)第2条第2項に基づき実費を徴収するものとし、その複写サービス料金は次の通りとする。なお、手数料については利用者が見やすいところに掲示するものとする。

(1) 用紙の規格は日本工業規格B列5番からA列3

番までとし、1枚につき10円とする。

(複写手数料の納入等)

第4 行政資料複写の申し込みがあった場合は、申込者に対して複写手数料の金額を告知し、現金による納入を受けた後、金銭登録機で打出した領収票又は現金領収帳による領収書を交付するものとする。

付 則

この要項は平成12年4月5日から施行する。

この要項は平成14年8月1日から施行する。

この要項は平成15年1月7日から施行する。

付2 平成16年度刊行福岡市埋蔵文化財調査報告書

- 833集 兜塚古墳2～飯氏古墳群A-1号墳 墳丘確認調査～(調査番号0325)
- 834集 井尻B遺跡13～井尻B遺跡第17次調査(B区)の報告～市道御供所井尻線建設に伴う発掘調査報告Ⅲ(調査番号0027)
- 835集 今山遺跡第8次調査～石斧製作址と縄文時代前期から平安時代までの遺構・遺物の調査～(調査番号9951)
- 836集 蒲田部木原7次(調査番号0328)
- 837集 久保園遺跡3第3次調査報告～空港線関係埋蔵文化財発掘調査報告書4～
- 838集 鴻臚館鴻臚館跡15～平成14年度発掘調査報告書～(調査番号0218)
- 839集 下月隈C遺跡V～福岡空港周辺整備工事に伴う下月隈C遺跡第6次発掘調査報告～(調査番号0018)～本文編・図版編～
- 840集 次郎丸高石2～次郎丸高石遺跡第6次調査報告～(調査番号0315)
- 841集 那珂37～那珂遺跡群第66次調査報告～(調査番号9818)
- 842集 那珂38～那珂遺跡群第93次調査報告～(調査番号0348)
- 843集 那珂39～那珂遺跡群第94次調査報告～(調査番号0361)
- 844集 那珂40～那珂遺跡群第96次調査報告～(調査番号0413)
- 845集 長垂大谷遺跡～長垂大谷遺跡第1次調査報告～(調査番号0307)
- 846集 西新町遺跡8～西新町遺跡第16次調査報告書～(調査番号0322)
- 847集 博多101～博多遺跡群第126次調査報告～(調査番号0030)
- 848集 博多102～博多遺跡群第142次調査の概要～(調査番号0332)
- 849集 博多103～博多遺跡群第143次調査報告～(調査番号0333)
- 850集 博多104～博多遺跡群第144次調査報告～(調査番号0334)
- 851集 博多105～博多遺跡群第145次調査報告～(調査番号0342)
- 852集 箱崎22～箱崎遺跡第22次調査報告(2)～宮崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅳ(調査番号0022)
- 853集 箱崎23～箱崎遺跡第26次調査報告(2)～宮崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅴ(調査番号0108)
- 854集 箱崎24～箱崎遺跡第39・41・44次調査～(調査番号第39次0302・第41次0343・第44次0368)
- 855集 比恵38～比恵遺跡群第83次調査報告～(調査番号0312)
- 856集 比恵39～比恵遺跡群第85次調査報告～(調査番号0321)
- 857集 比恵40～比恵遺跡群第87次調査報告～(調査番号0353)
- 858集 比恵41～比恵遺跡群第90次調査の概要～(調査番号0364)
- 859集 麦野A4～麦野A遺跡群第14次調査報告～(調査番号0367)
- 860集 元岡・桑原遺跡群4～第12・15・24次調査の報告～九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号第12次9902・第15次9923・第24次0034)
- 861集 元岡・桑原遺跡群5～第13・17・25・29・37次調査の報告～九州大学統合移転用地内埋蔵文化財発掘調査報告書(調査番号第13次9903・第17次9904・第25次0052・第29次0204・第37次0365)
- 862集 浦江古墳群1号墳～彩色壁画を有する古墳の調査～浦江遺跡第5次調査3(調査番号0144)
- 863集 浦江遺跡第5次調査2～甕棺墓地区の内容確認調査報告～(調査番号0144・9138)
- 864集 吉武遺跡群XⅦ～飯盛・吉武圃場整備関係調査報告書11～古墳時代生活遺構編2(調査番号8535)
- 865集 広瀬遺跡2～広瀬遺跡第1次調査1～(調査番号0326)
- 866集 金武2～金武地区農村振興総合整備統合補助事業関係調査報告2～浦江遺跡第5次調査4・城田遺跡第2次調査1(調査番号浦江0144・城田0329)
- 867集 中南部(8)～麦野A遺跡第6・7・11・13次調査・麦野C遺跡第4・7～9次調査・雑餉隈遺跡第11・13次調査・寺島遺跡第2次調査～(調査番号麦野A第6次9824・第7次9972・第11次0139・第13次0156・麦野C第4次9628・第7次0304・第8次0305・第9次0306・雑餉隈第11次9916・第13次0234・寺島遺跡第2次0208)
- 868集 雑餉隈遺跡5～第14・15次調査～(調査番号0243・0349)

福岡市埋蔵文化財年報vol.18 —平成15(2003)年度版—

福岡市埋蔵文化財センター年報 第24号

2005年9月28日

発行 福岡市教育委員会
福岡市博多区井相田2-1-94

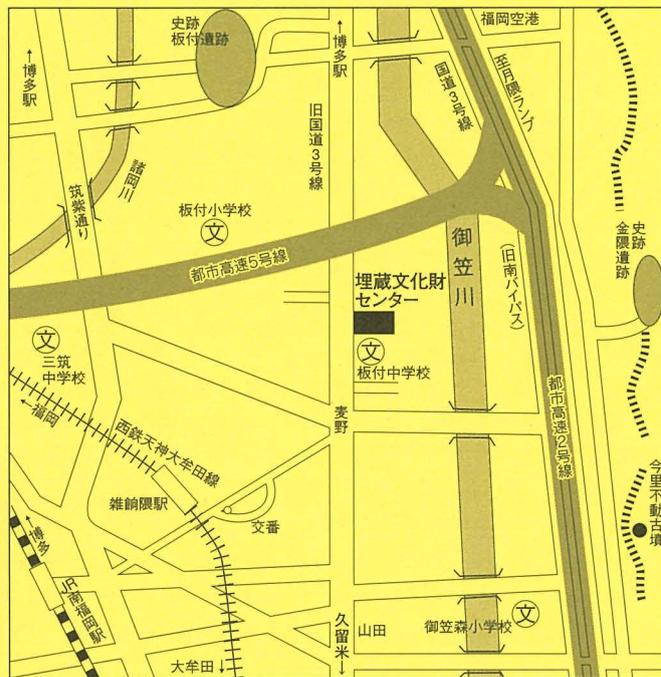
印刷 九州チューエツ株式会社
福岡市博多区東比恵2-9-1

FUKUOKA CITY ARCHAEOLOGY CENTER

Annual Report

No. 24

2005



福岡市埋蔵文化財センター

- 所在地 福岡県福岡市博多区井相田2丁目1-94 (〒816-0081)
- 電話 (192) 571-2921 Fax. (092) 571-2825
- 開館時間 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日・年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料 (ただし団体で見学の場合は事前に連絡が必要)
- 交通手段 ■西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅ざっしよくまから徒歩15分
■JR鹿児島本線 南福岡駅なんふくおかから徒歩25分
■西鉄バス 博多駅交通センターから41番雑餉隈営業所行ざっしよくまに乗車約30分
板付中学校前いたづけ (埋蔵文化財センター前) 下車すぐ

<http://www.city.fukuoka.jp/maibun/>